

尼崎市
**子ども・子育て支援事業計画策定に
係るニーズ調査結果速報**

平成 25 年 11 月

目 次

I	調査の概要	1
1	1 調査目的	1
2	2 実施要領	1
3	3 報告書の見方	1
II	就学前児童保護者対象調査結果	2
1	1 回答者の属性	2
2	2 家族の状況	3
3	3 居住地域等	5
4	4 子ども・子育て支援新制度について	7
5	5 保護者の就労状況	9
6	6 定期的な教育・保育事業の利用状況	21
7	7 子育て支援事業の利用状況	39
8	8 不定期の教育・保育事業及び一時預かり等の利用状況	42
9	9 小学校就学後の放課後の過ごし方	49
10	10 母親の妊娠・出産等	54
11	11 子育ての不安と悩み	55
12	12 子育てに関する情報・サービス・支援体制	58
13	13 施策全般	60
14	14 その他	64
III	小学生保護者対象調査結果	68
1	1 回答者の属性	68
2	2 家族の状況	69
3	3 居住地域等	72
4	4 保護者の就労状況	74
5	5 放課後の過ごし方	84
6	6 居住地域との関わり	90
7	7 子どもの成長	93
8	8 子育ての不安と悩み	97
9	9 子育てに関する情報・サービス・支援体制	100
10	10 施策全般	102
11	11 その他	107

I 調査の概要

1 調査目的

本市では、平成27年度から本格施行される予定である「子ども・子育て支援新制度」に向けて、「尼崎市子ども・子育て審議会」を設置し、子ども・子育て支援事業計画の策定など、新制度に向けた準備を進めているところです。

この度、本市では、計画策定に係る基礎資料として、就学前児童・小学生の保護者の方を対象に子育て状況、教育・保育ニーズ、子育て支援サービスの利用状況等を把握するため、「子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査」を実施しました。

2 実施要領

- 調査地域 尼崎市全域
- 調査対象 尼崎市内在住の「未就学児」のいる世帯・保護者（就学前児童調査）2,000人
尼崎市内在住の「小学生」のいる世帯・保護者（小学生調査）2,000人
- 調査期間 平成25年9月13日～10月7日
- 調査方法 住民基本台帳を基に対象児童のいる世帯を無作為抽出し、郵送配布・郵送回収
- 回収結果 就学前児童調査 1,132件（回収率：56.6%）
小学生調査 1,082件（回収率：54.1%）
調査合計 2,214件（回収率：55.4%）

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の「N数（number of case）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II 就学前児童保護者対象調査結果

1 回答者の属性

問1 調査票記入者（単数回答）

- 調査票記入者は、「母親」が最も高くなっています（92.7%）。

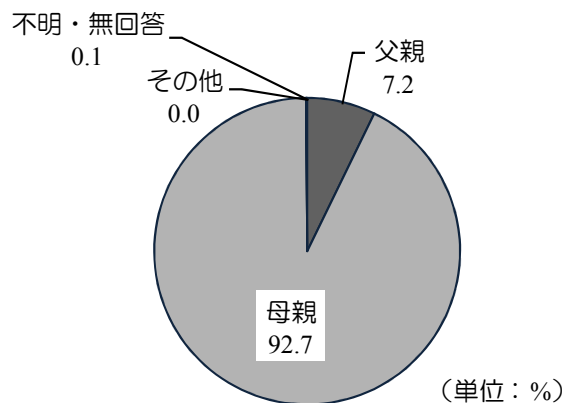


図 1 調査票記入者 (N=1,132)

問2 調査票記入者の配偶者の有無（単数回答）

- 調査票記入者の配偶者の有無は、95.6%の方が「配偶者がいる」と回答しています。

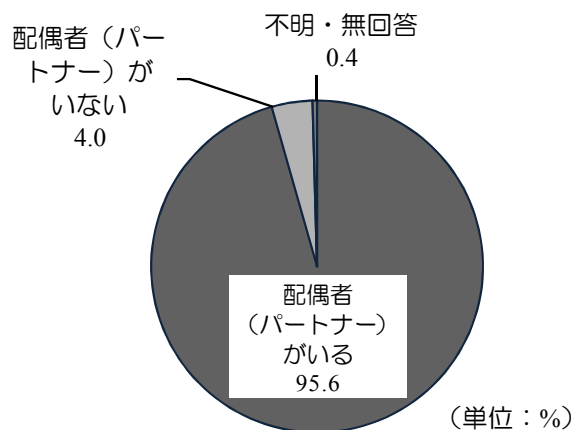


図 2 調査票記入者の配偶者の有無 (N=1,132)

2 家族の状況

問3 対象の子どもの年齢（数量回答）

- 子どもの年齢は、「3歳（H21.10~H22.9）」が最も高くなっています（16.9%）。

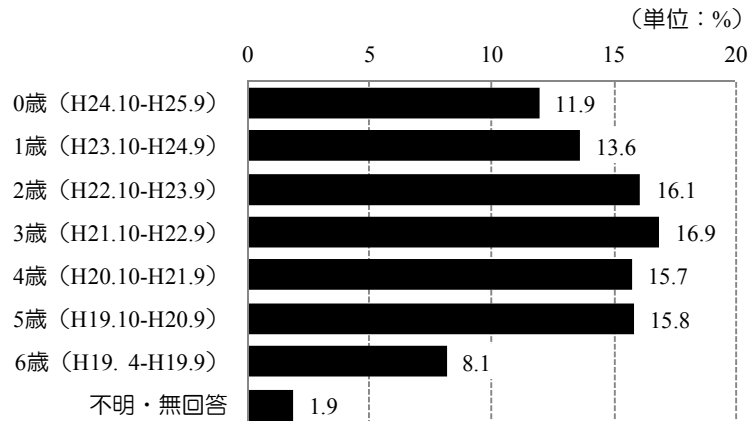


図 3 子どもの年齢 (N=1,132)

問4 子どもの人数及び末子の年齢（数量回答）

- 子どもの人数は、「1人」が最も高くなっています（48.4%）。
- 2人以上の場合、末子の年齢は、「1歳（H23.10~H24.9）」が最も高くなっています（21.4%）。

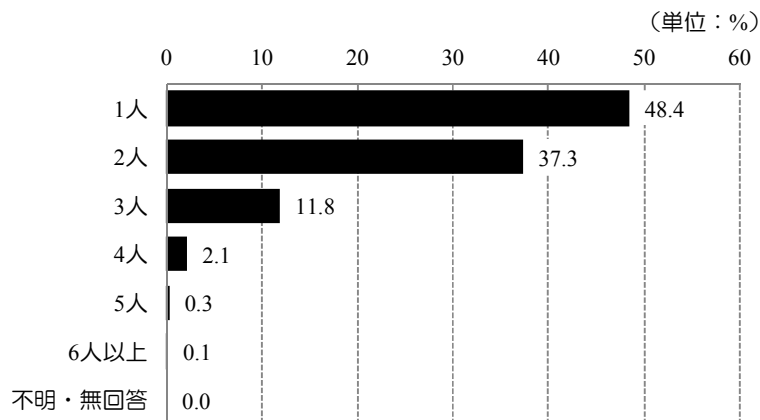


図 4 子どもの人数 (N=1,132)

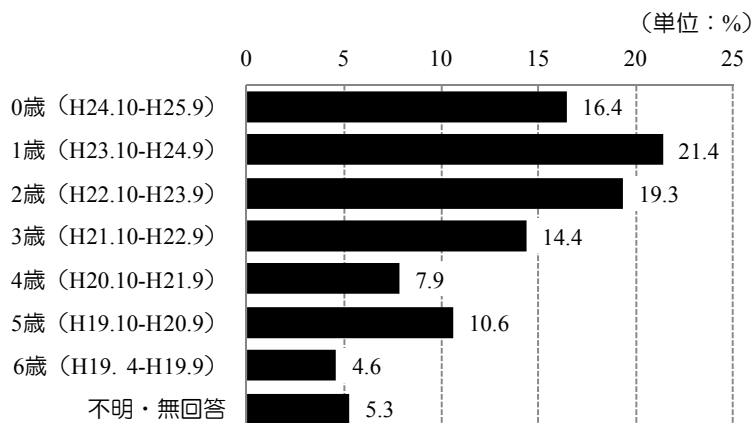


図 5 末子の年齢 (N=584)

問5 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人（単数回答）

- 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人は、「主に母親」が最も高くなっています。（51.6%）。

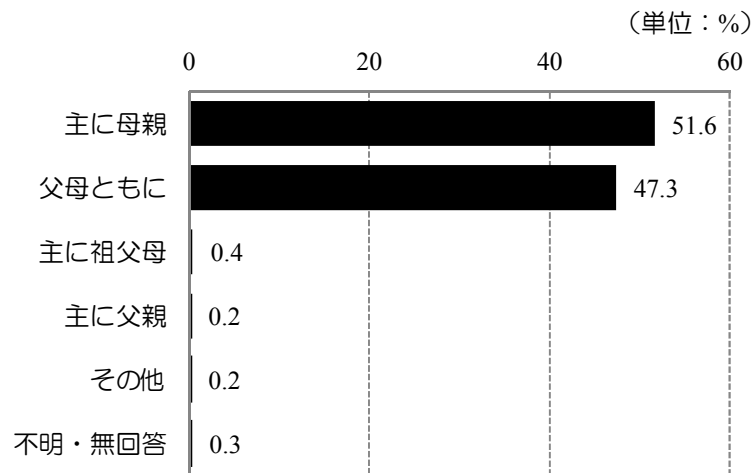


図 6 子どもの子育てを主に行っている人 (N=1,132)

3 居住地域等

問6 居住地区（単数回答）

- 居住地区は、「立花地区」が最も高く（26.3%）、次いで「園田地区」（22.0%）、「武庫地区」（17.1%）となっています。

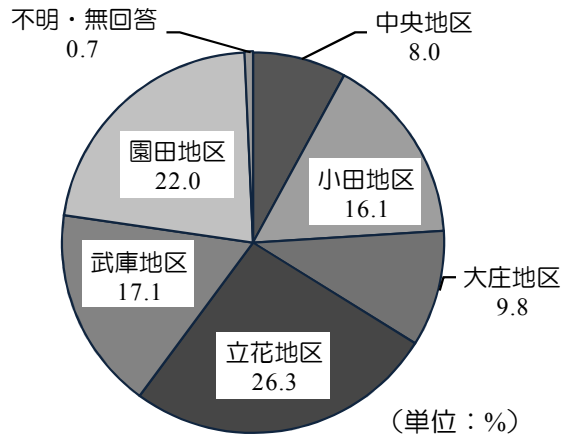


図 7 居住地区 (N=1,132)

問7 居住年数（単数回答）

- 居住年数は、「5年以上10年未満」が最も高く（34.8%）、次いで「20年以上」（30.8%）となっています。

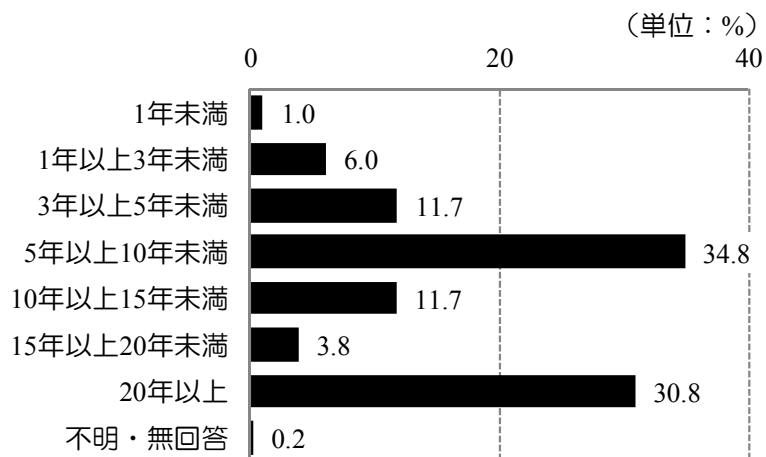


図 8 居住年数 (N=1,132)

問8 住宅の所有形態（単数回答）

- 住宅の所有形態は、約6割（61.9%）の方が「持ち家」と回答しています。

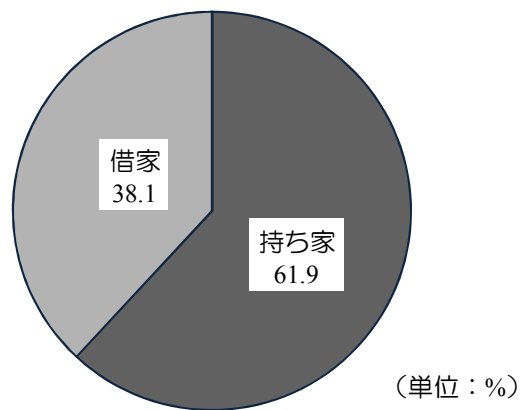


図9 住宅の所有形態 (N=1,132)

問9 緊急時・用事の際に、子どもをみてくれる人の有無（複数回答）

- 緊急時等に、子どもをみてくれる人の有無は、「祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高くなっています（76.4%）。

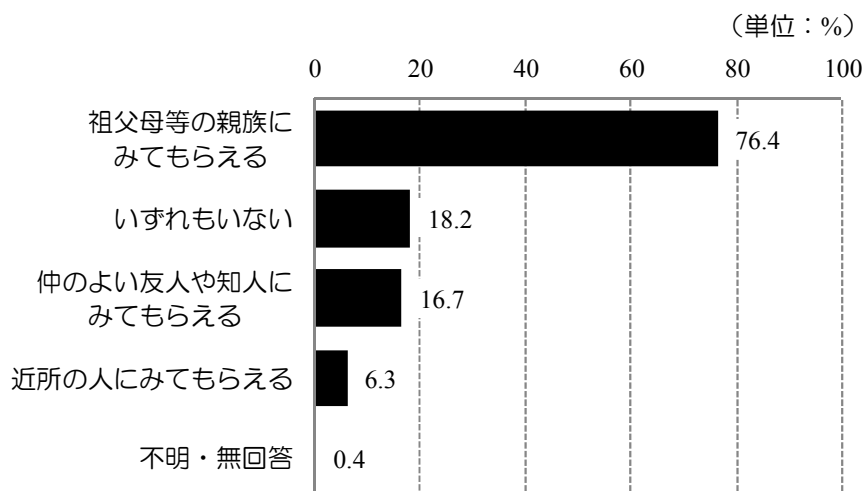


図10 子どもをみてくれる人の有無 (N=1,132)

4 子ども・子育て支援新制度について

問10 「認定こども園」「子ども・子育て支援新制度」の認知度（単数回答）

- 「認定こども園」の認知度は、「なんとなく知っていた」が最も高くなっています(29.6%)。
- 「子ども・子育て支援新制度」の認知度は、「全く知らなかった」が最も高くなっています(42.3%)。

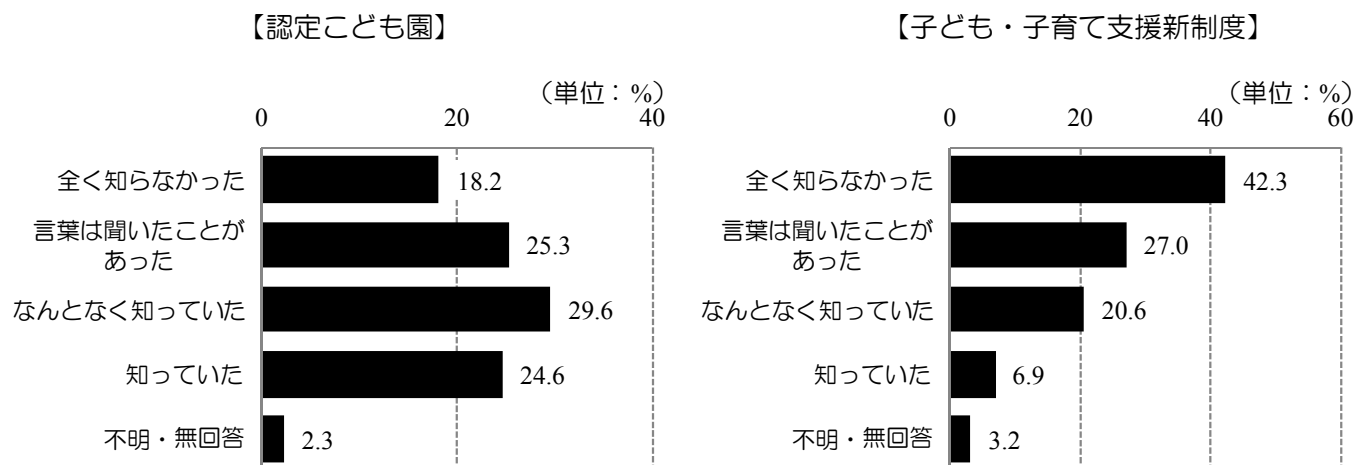


図 11 認知度 (N=1,132)

問11 「認定こども園」について思うこと（複数回答）

- 「認定こども園」について思うことは、「親の就労状況に関わらず、子どもが同じ施設に通うことができる」が最も高く(47.3%)、次いで「保育所(園)の待機児童の解消が期待できる」(44.7%)となっています。

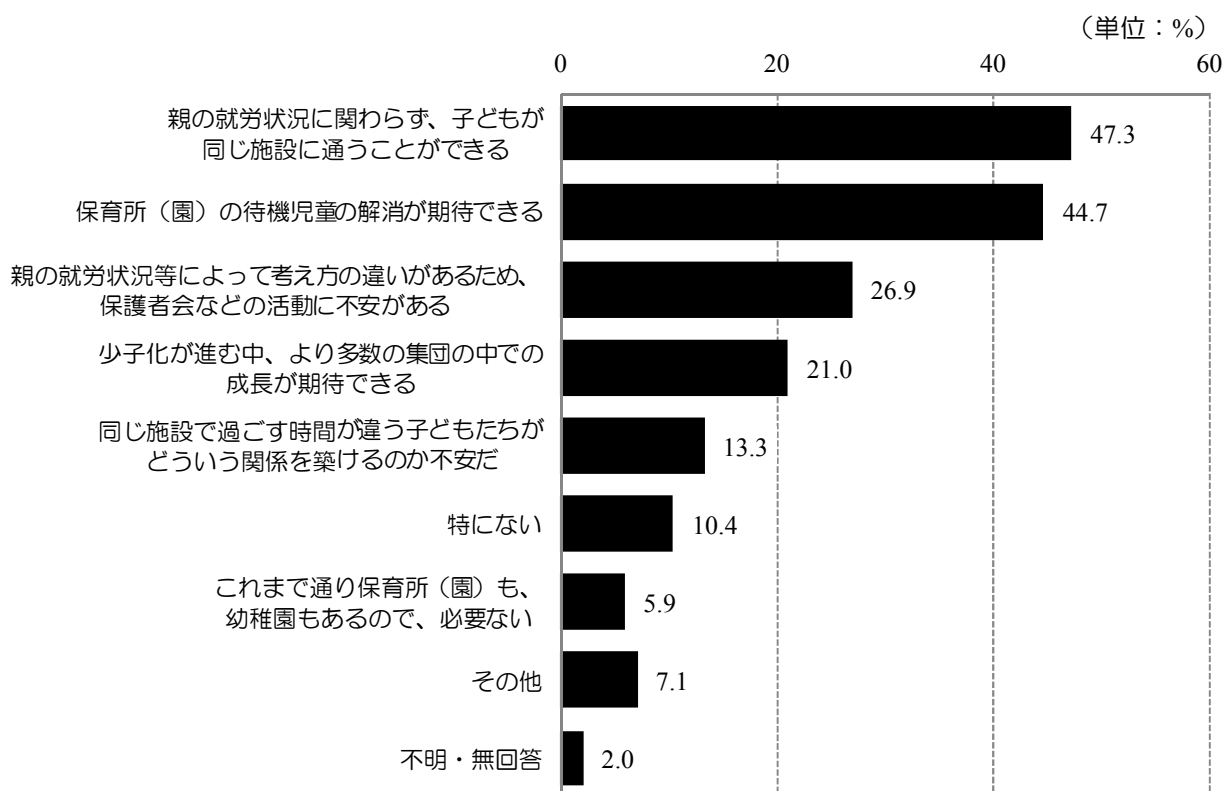


図 12 「認定こども園」について思う事 (N=1,132)

問12 「子ども・子育て支援新制度」について期待すること（複数回答）

- 「子ども・子育て支援新制度」に期待することは、「地域の子ども・子育て支援の充実」が最も高く（39.2%）、次いで「教育・保育の量的な拡大」（34.5%）、「教育・保育の質の向上」（30.7%）となっています。

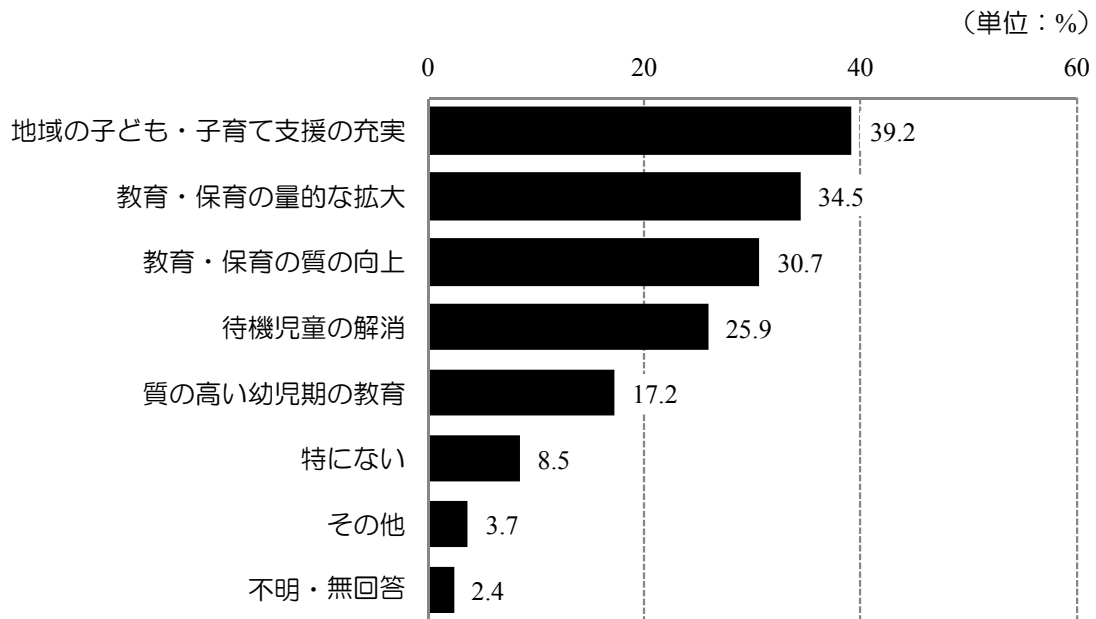


図 13 「子ども・子育て支援新制度」について期待すること (N=1,132)

5 保護者の就労状況

問13 母親・父親の就労状況（単数回答）

- 母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も高くなっています（45.6%）。
- 父親の就労状況は、「フルタイムで就労中」が最も高くなっています（91.4%）。

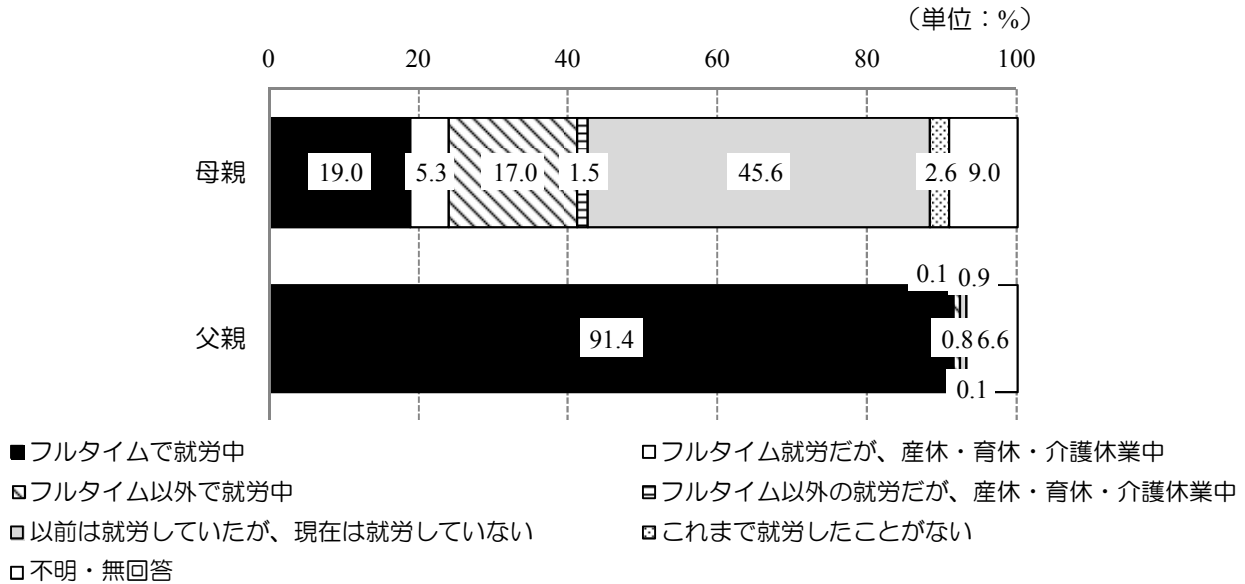


図 14 就労状況[母親 (N=1,124)、父親 (N=1,085)]

問13-1 勤務地と通勤時間

※ 問13で「フルタイムで就労中」「フルタイム就労だが産休・育休・介護休業中」「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計

①勤務地（単数回答）

- 母親の勤務地は、約5割（53.0%）が「尼崎市内」となっています。
- 父親の勤務地は、約6割（63.3%）が「尼崎市外」となっています。

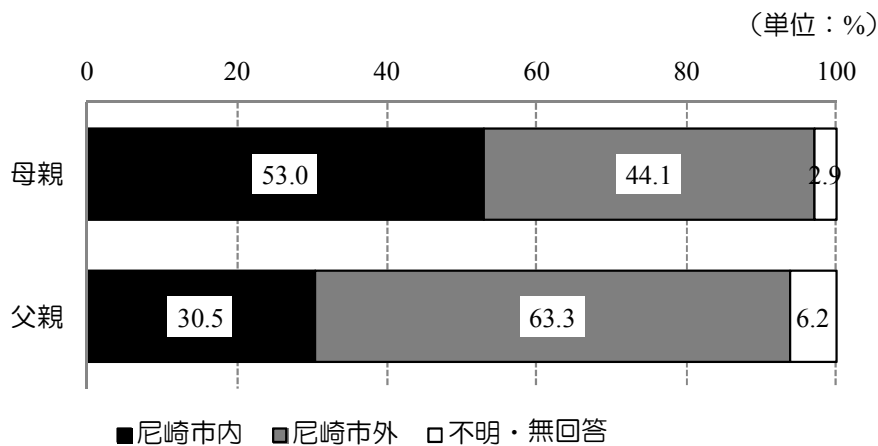


図 15 勤務地[母親 (N=481)、父親 (N=1,003)]

回答者全体のうち、父親の回答は7.2%で、かつ9割以上がフルタイム就労であり、フルタイム以外の就労の回答数は極めて少ないため、問13-1及び問13-2の就労形態別の分析は、母親に限ってしています。

表 1 母親の就労形態別勤務地

上段：回答数 下段：%	尼崎市内	尼崎市外	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=213)	101 47.4	109 51.2	3 1.4
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=60)	20 33.3	40 66.7	0 0.0
フルタイム以外で就労中 (N=191)	129 67.5	56 29.3	6 3.1
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=17)	5 29.4	7 41.2	5 29.4

②市外勤務地（自由記述）

- 母親の市外勤務地は、「大阪市」が最も高く（44.3%）、次いで「神戸市」（12.7%）、「伊丹市」「西宮市」（11.3%）となっています。
- 父親の市外勤務地は、「大阪市」が最も高く（49.4%）、次いで「神戸市」（11.7%）、「大阪府内その他市町」（10.7%）となっています。

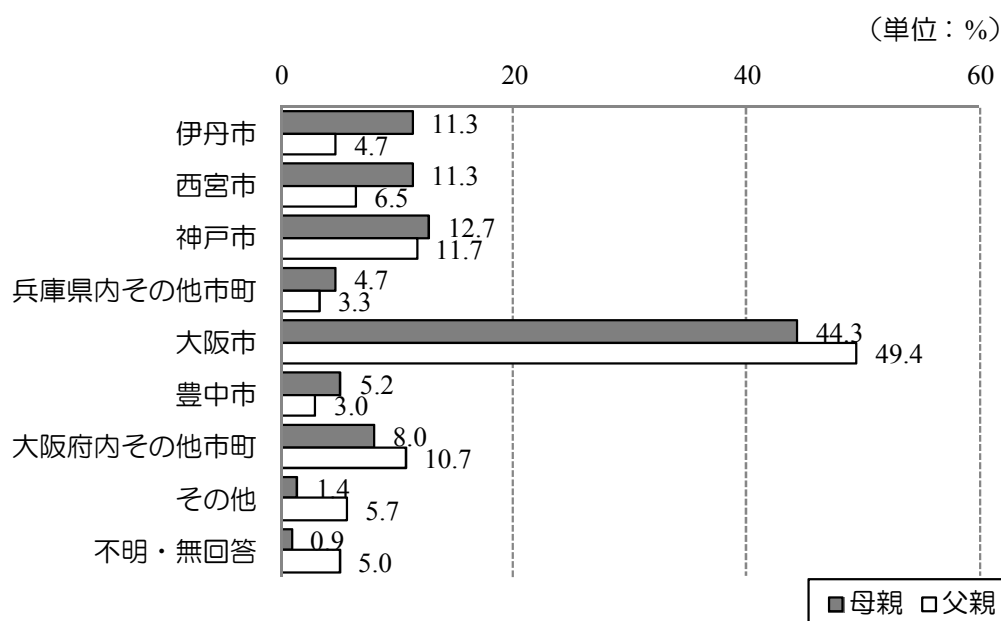


図 16 市外の勤務地[母親 (N=212)、父親 (N=635)]

③通勤（片道）時間（数量回答）

- 母親の通勤（片道）時間は、「30分以上45分未満」が最も高く（27.0%）、次いで「15分以上30分未満」（24.7%）、「15分未満」（19.1%）となっています。
- 父親の通勤（片道）時間は、「30分以上45分未満」が最も高く（30.5%）、次いで「1時間以上1時間30分未満」（22.2%）、「15分以上30分未満」（15.5%）となっています。

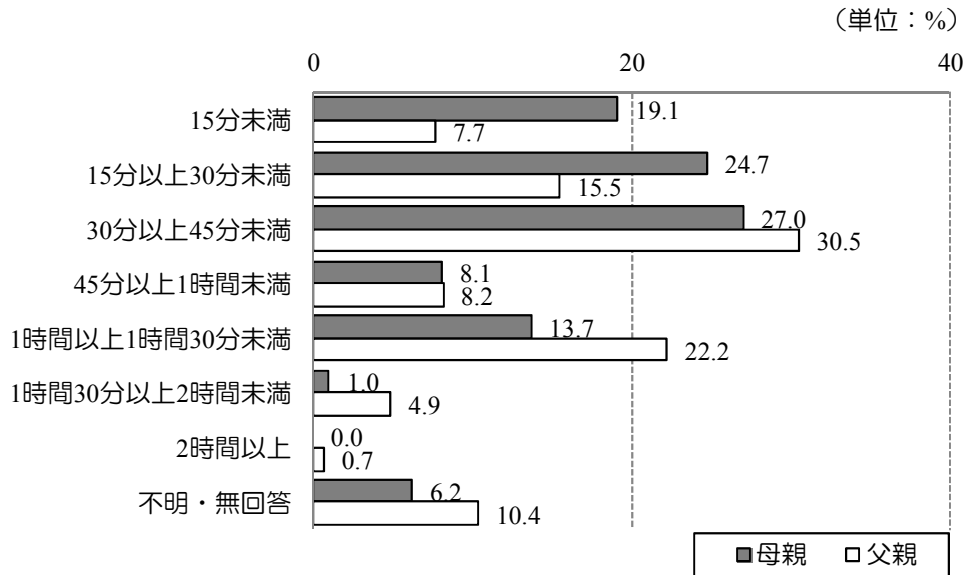


図 17 通勤時間[母親 (N=481)、父親 (N=1,003)]

表 2 母親の就労形態別通勤時間

上段：回答数 下段：％	15分未満	15分以上30分未満	30分以上45分未満	45分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上2時間未満	2時間以上	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=213)	24 11.3	54 25.4	62 29.1	24 11.3	38 17.8	5 2.3	0 0.0	6 2.8
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=60)	6 10.0	5 8.3	26 43.3	6 10.0	14 23.3	0 0.0	0 0.0	3 5.0
フルタイム以外で就労中 (N=191)	58 30.4	59 30.9	38 19.9	8 4.2	12 6.3	0 0.0	0 0.0	16 8.4
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=17)	4 23.5	1 5.9	4 23.5	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	5 29.4

問 13-2 就労日数/週、土曜・日曜就労の有無、就労時間/日、出宅時間

※ 問 13 で「フルタイムで就労中」「フルタイム就労だが産休・育休・介護休業中」「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計
 ①就労日数/週（数量回答）

- 母親の 1 週当たりの就労日数は、「5 日」が最も高く（63.4%）、次いで「6 日」（12.5%）、「4 日」（9.6%）となっています。
- 父親の 1 週当たりの就労日数は、「5 日」が最も高く（60.1%）、次いで「6 日」（32.7%）、「7 日」（1.7%）となっています。

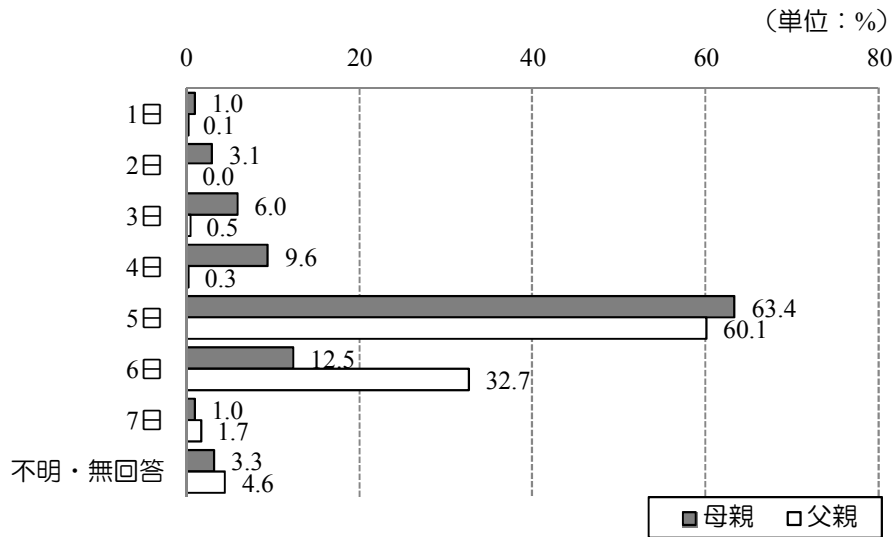


図 18 就労日数/週[母親 (N=481)、父親 (N=1,003)]

表 3 母親の就労形態別就労日数/週

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=213)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.4	169 79.3	39 18.3	1 0.5	1 0.5
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=60)	1 1.7	0 0.0	1 1.7	0 0.0	49 81.7	6 10.0	0 0.0	3 5.0
フルタイム以外で就労中 (N=191)	4 2.1	14 7.3	27 14.1	41 21.5	81 42.4	14 7.3	4 2.1	6 3.1
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=17)	0 0.0	1 5.9	1 5.9	2 11.8	6 35.3	1 5.9	0 0.0	6 35.3

②土曜・日曜就労の有無（複数回答）

- 母親の土曜・日曜就労は、「土曜日」（44.9%）、「日曜日」（18.9%）となっています。
- 父親の土曜・日曜就労は、「土曜日」（53.3%）、「日曜日」（25.9%）となっています。

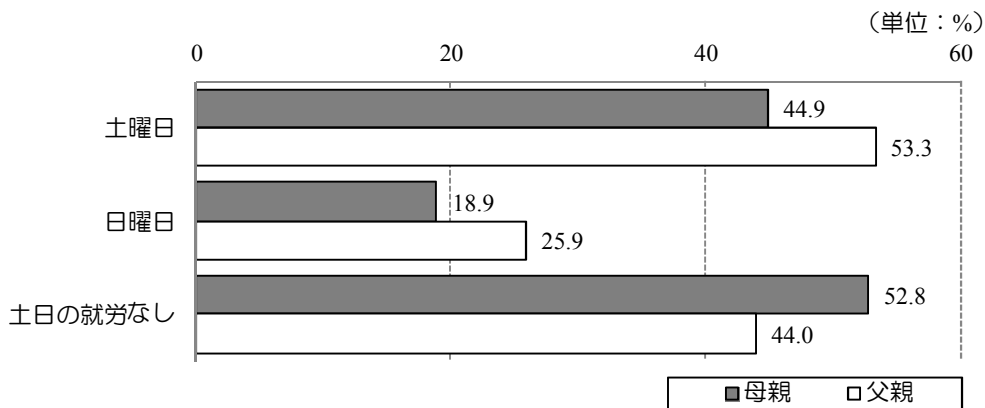


図 19 土曜・日曜就労の有無[母親 (N=481)、父親 (N=1,003)]

表 4 母親の就労形態別土曜・日曜就労の有無

上段：回答数 下段：%	土曜日	日曜日	土日の 就労なし
フルタイムで就労中 (N=213)	102 47.9	34 16.0	107 50.2
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=60)	24 40.0	14 23.3	36 60.0
フルタイム以外で就労中 (N=191)	86 45.0	41 21.5	98 51.3
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=17)	4 23.5	2 11.8	13 76.5

③就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日当たりの就労時間は、「8時間以上」が最も高く（44.3%）、次いで「7時間」（15.2%）、「6時間」（13.9%）となっています。
- 父親の1日当たりの就労時間は、「8時間以上」が最も高くなっています（91.0%）。

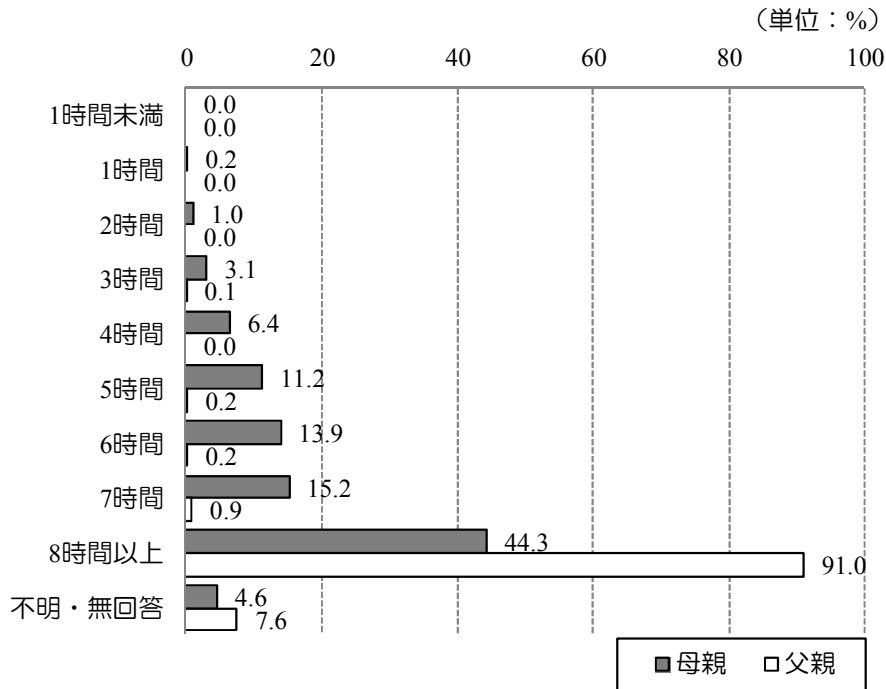


図 20 就労時間/日 [母親 (N=481)、父親 (N=1,003)]

表 5 母親の就労形態別就労時間/日

上段：回答数 下段：%	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=213)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	2 0.9	9 4.2	44 20.7	155 72.8	2 0.9
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=60)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.7	7 11.7	5 8.3	42 70.0	5 8.3
フルタイム以外で就労中 (N=191)	0 0.0	1 0.5	5 2.6	15 7.9	29 15.2	47 24.6	46 24.1	24 12.6	15 7.9	9 4.7
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=17)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	4 23.5	5 29.4	0 0.0	1 5.9	6 35.3

④出宅時間（数量回答）

- 母親の出宅時間は、「8時」が最も高く（38.9%）、次いで「7時」（34.9%）となっています。
- 父親の出宅時間は、「7時」が最も高く（44.1%）、次いで「8時」（21.8%）となっています。

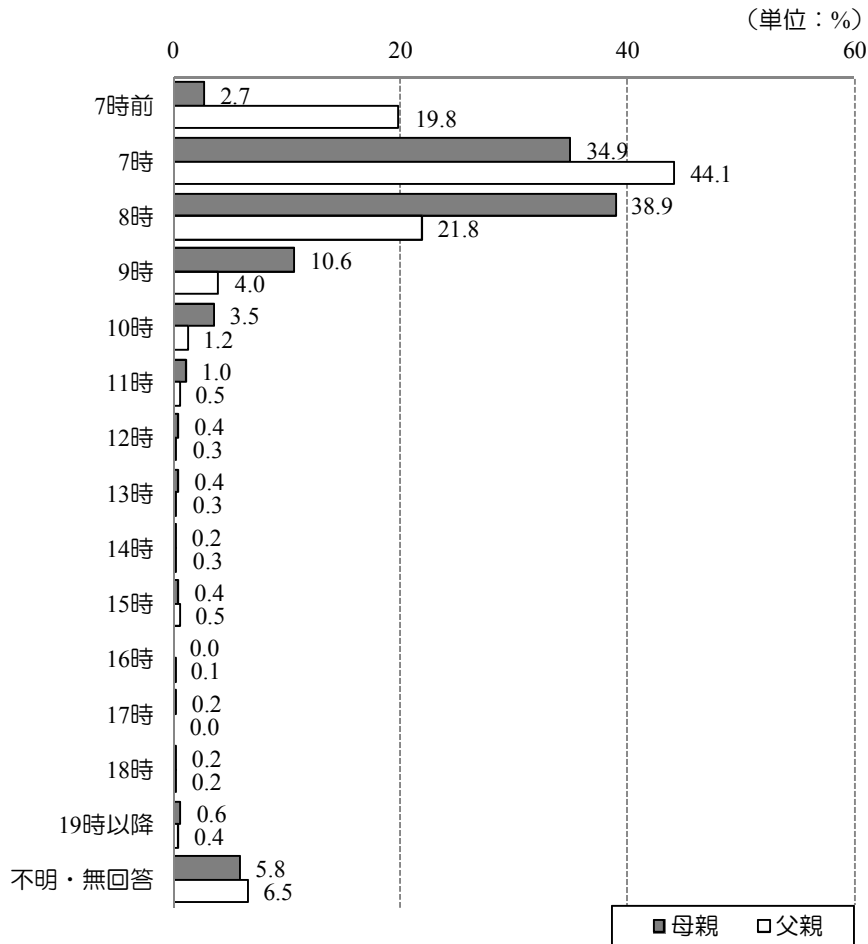


図 21 出宅時間[母親 (N=481)、父親 (N=1,003)]

表 6 母親の就労形態別出宅時間

上段：回答数 下段：%	7時前	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時以降	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=213)	5 2.3	109 51.2	78 36.6	13 6.1	3 1.4	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.4
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=60)	4 6.7	26 43.3	23 38.3	0 0.0	0 0.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 10.0
フルタイム以外で就労中 (N=191)	4 2.1	31 16.2	83 43.5	34 17.8	13 6.8	2 1.0	2 1.0	2 1.0	1 0.5	1 0.5	0 0.0	1 0.5	1 0.5	3 1.6	13 6.8
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=17)	0 0.0	2 11.8	3 17.6	4 23.5	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 35.3

問 13-3 フルタイム就労への転換希望等（単数回答）

※ 問 13 で「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計

- フルタイム就労への転換希望は、「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が母親（52.4%）、父親（50.0%）ともに最も高くなっています。

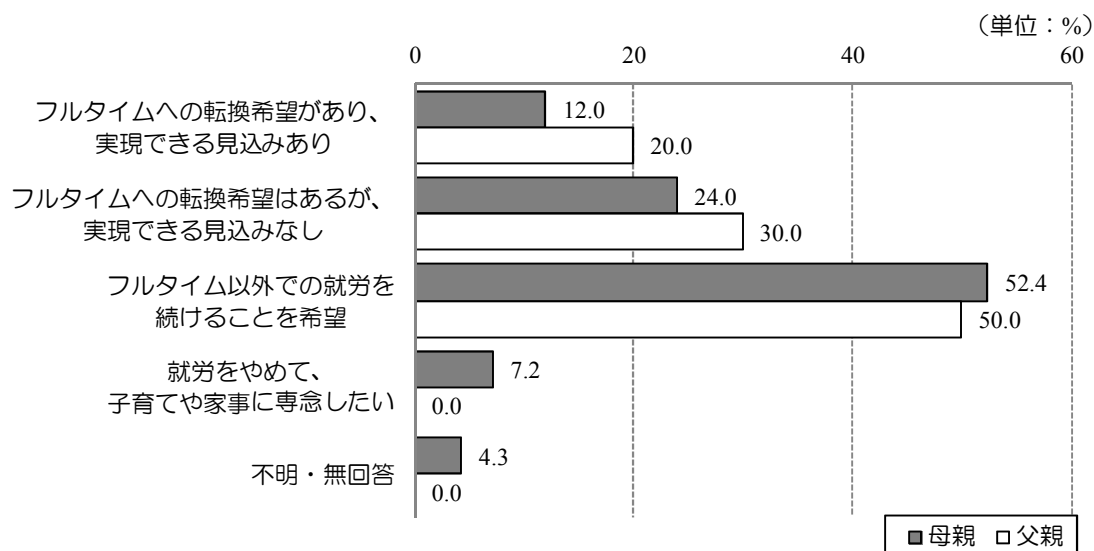


図 22 フルタイム就労への転換希望[母親 (N=208)、父親 (N=10)]

問 14 母親・父親の就労についての希望（単数回答）

※ 問 13 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した方を集計

- 母親の就労希望は、「1年より先、就労したい」が最も高くなっています（45.8%）。
- 父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も高くなっています（80.0%）。

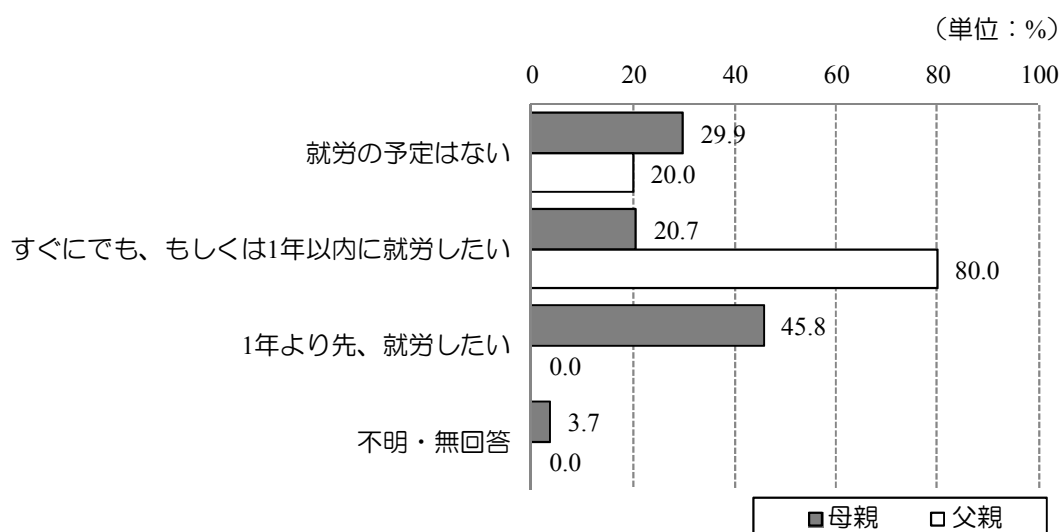


図 23 就労についての希望[母親 (N=542)、父親 (N=10)]

問 14-1 希望就労日数/週、土曜・日曜就労希望の有無、希望就労時間/日

※ 問 14 で「すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい」「1 年より先、就労したい」と回答した方を集計

①希望就労日数/週（数量回答）

- 母親の 1 週当たりの希望就労日数は、「5 日」が最も高く（31.9%）、次いで「3 日」（30.0%）、「4 日」（21.4%）となっています。
- 父親の 1 週当たりの希望就労日数は、「5 日」が最も高くなっています（75.0%）。

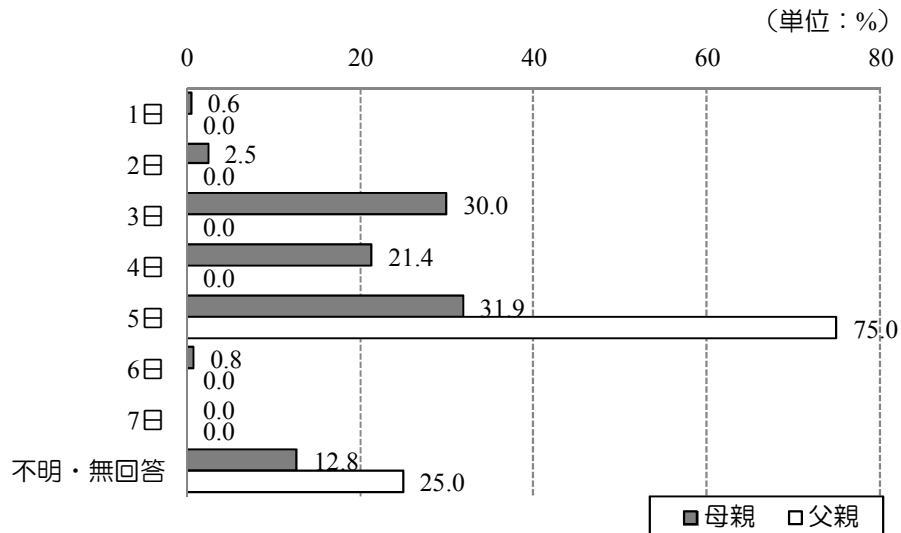


図 24 希望就労日数/週[母親 (N=360)、父親 (N=8)]

②土曜・日曜就労希望の有無（複数回答）

- 母親の土曜・日曜就労希望は、「土曜日」（11.7%）、「日曜日」（6.7%）となっています。
- 父親の土曜・日曜就労希望は、「土曜日」（12.5%）、「日曜日」（0.0%）となっています。

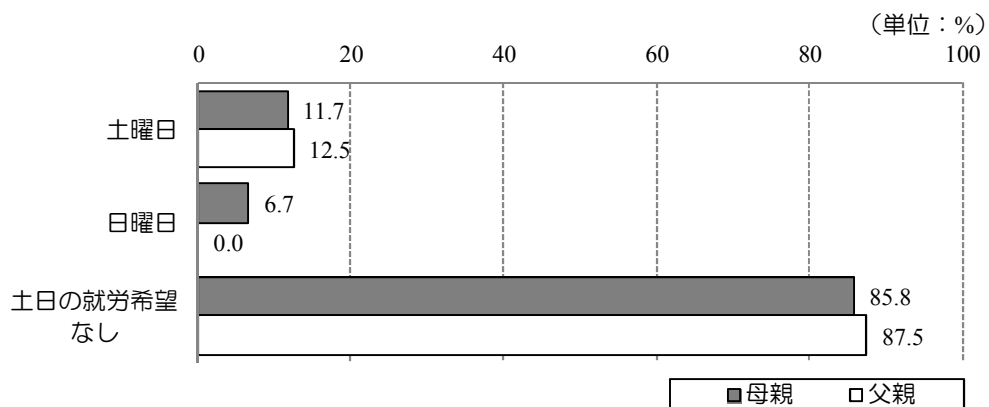


図 25 土曜・日曜就労希望の有無[母親 (N=360)、父親 (N=8)]

③希望就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日当たりの希望就労時間は、「5時間」が最も高く（29.4%）、次いで「4時間」（27.5%）、「8時間以上」（17.2%）となっています。
- 父親の1日当たりの希望就労時間は、「8時間以上」が最も高くなっています（75.0%）。

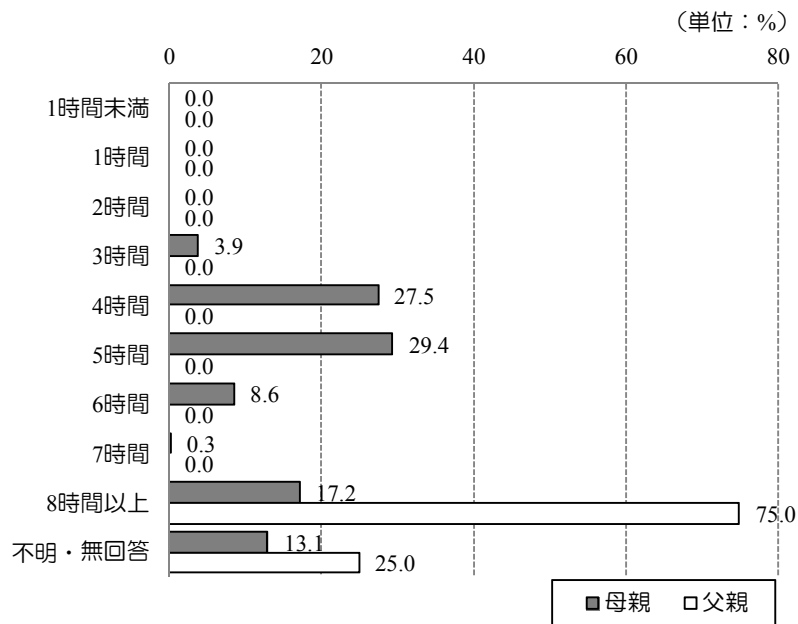


図 26 希望就労時間/日[母親 (N=360)、父親 (N=8)]

問 14-2 就労開始時期（数量回答）

※ 問 14 で「1年より先、就労したい」と回答した方を集計

- 母親の就労開始時期は、子どもの年齢が「3歳」「4歳」が最も高く（20.2%）、次いで「7歳」（18.1%）となっています。※父親は該当者がありません。

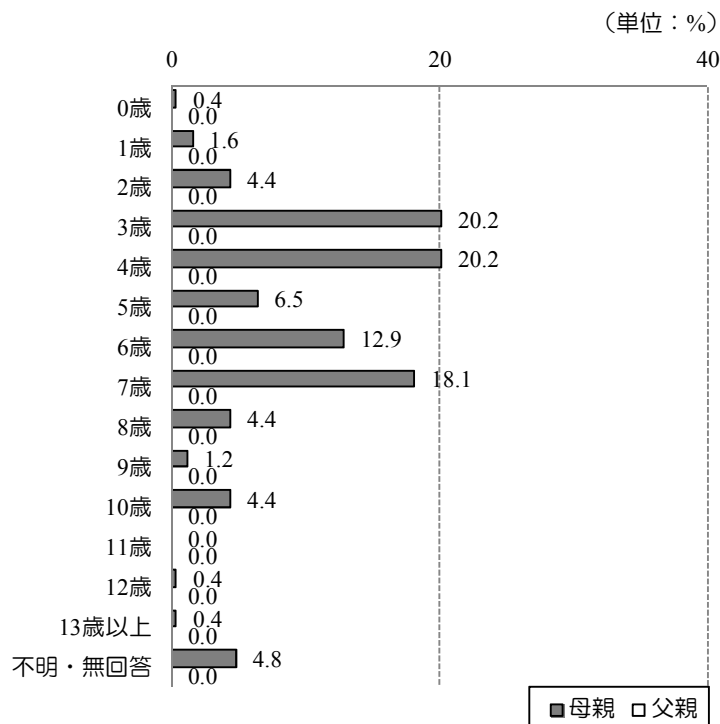


図 27 就労開始時期[母親 (N=248)]

問15 育児休業取得者（単数回答）

- 育児休業取得者は、「父親」0.9%、「母親」98.2%、「父母ともに」0.9%となっています。

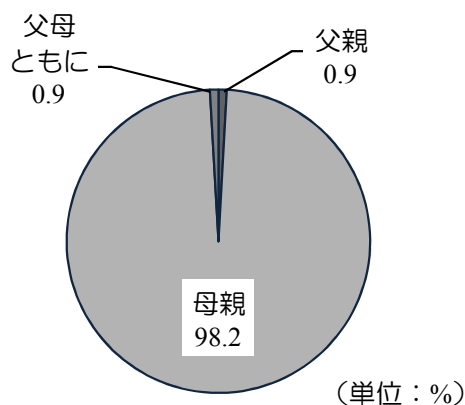


図 28 育児休業取得者 (N=222)

問 15-1 復職時の子どもの月齢（数量回答）

※ 問 15 を回答した方（取得者ごとに対象を絞り）を集計

- 母親の復職時の子どもの月齢は、「1歳～1歳5ヶ月」が最も高く（39.5%）、次いで「6ヶ月～11ヶ月」（34.1%）となっています。
- 父親の復職時の子どもの月齢は、「0～5ヶ月」が最も高くなっています（75.0%）。

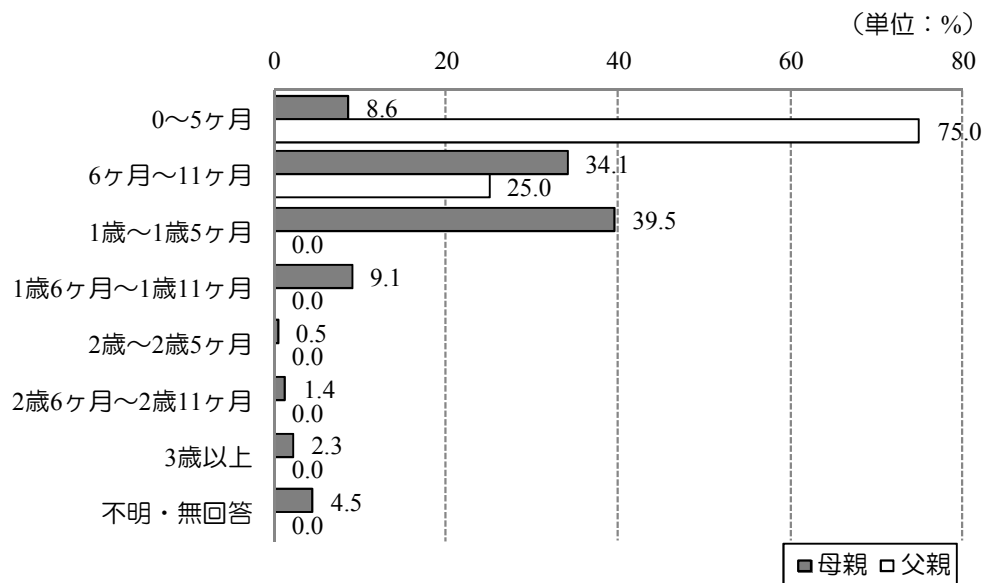


図 29 復職時の子どもの月齢[母親 (N=220)、父親 (N=4)]

問 15-2 復職月（数量回答）

※ 問 15 を回答した方（取得者ごとに対象を絞り）を集計

- 母親の復職月は、「4月」が最も高く（35.9%）、次いで「5月」「7月」（9.5%）となっています。
- 父親の復職月は、「3月」「7月」「8月」「11月」（25.0%）となっています。

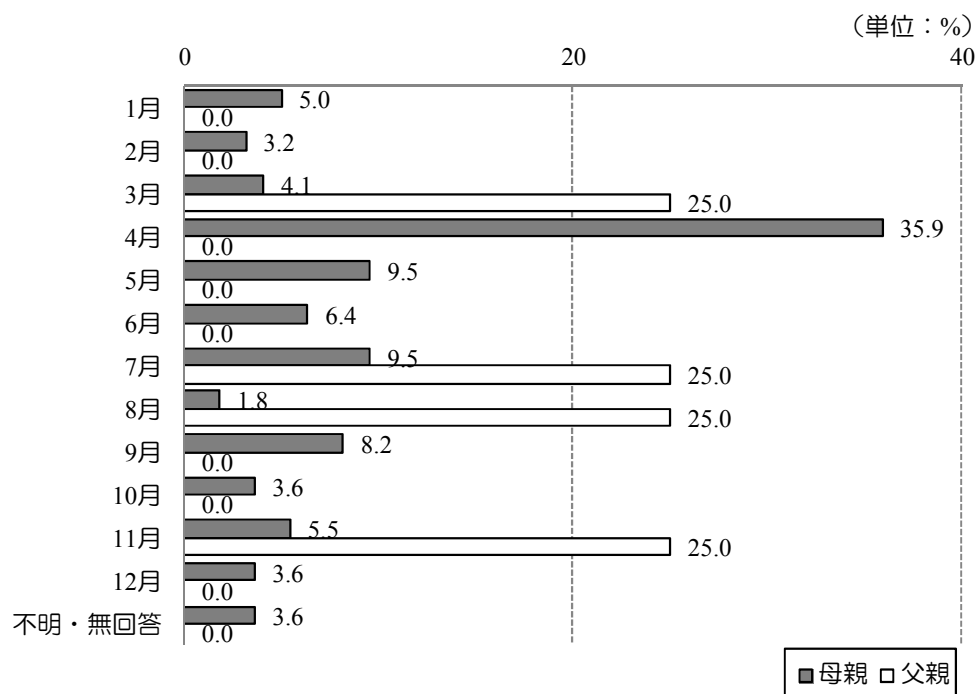


図 30 復職月[母親 (N=220)、父親 (N=4)]

問 15-3 保育サービス利用のために育児休業期間の調整の有無（単数回答）

※ 問 15 を回答した方を集計

- 育児休業期間の調整は、「短くした」（32.9%）、「長くした」（20.3%）、「調整しなかった」（43.7%）となっています。

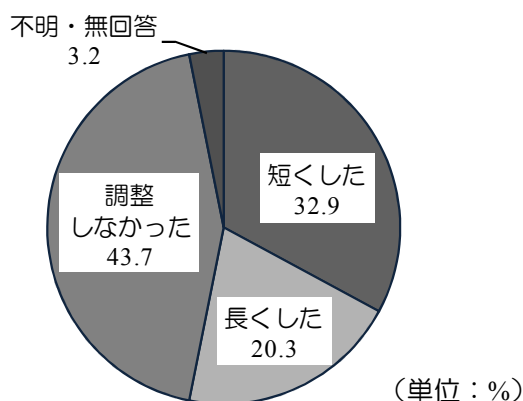


図 31 保育サービス利用のために育児休業期間の調整の有無 (N=222)

6 定期的な教育・保育事業の利用状況

【平日利用】

問16 定期的な教育・保育事業の利用有無

①利用有無（単数回答）

- 定期的な教育・保育事業の利用について「尼崎市内で利用している」と回答した方は、約6割（60.7%）となっています。

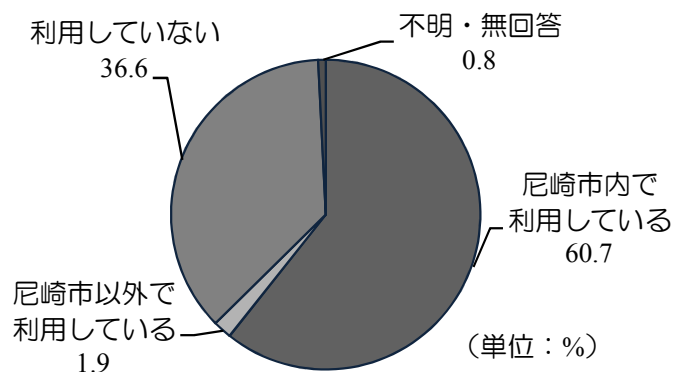


図 32 教育・保育事業の利用有無 (N=1,132)

②市外利用の市町（自由記述）

- 市外利用の市町は、「豊中市」が最も高く（50.0%）、次いで「伊丹市」（27.3%）、「西宮市」（9.1%）となっています。

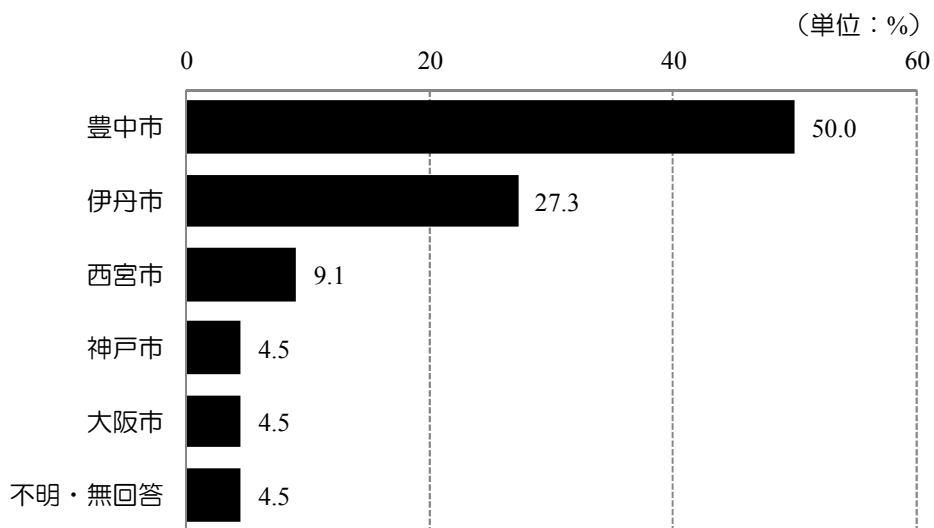


図 33 市外利用の市町 (N=22)

問 16-1 定期的な教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）

※ 問 16 で「利用していない」と回答した方を集計

- 利用していない理由は、「父母のうち一方が就労していないため」が最も高く（45.4%）、次いで「対応できない年齢のため」（29.5%）、「経済的な理由のため」（19.3%）となっています。

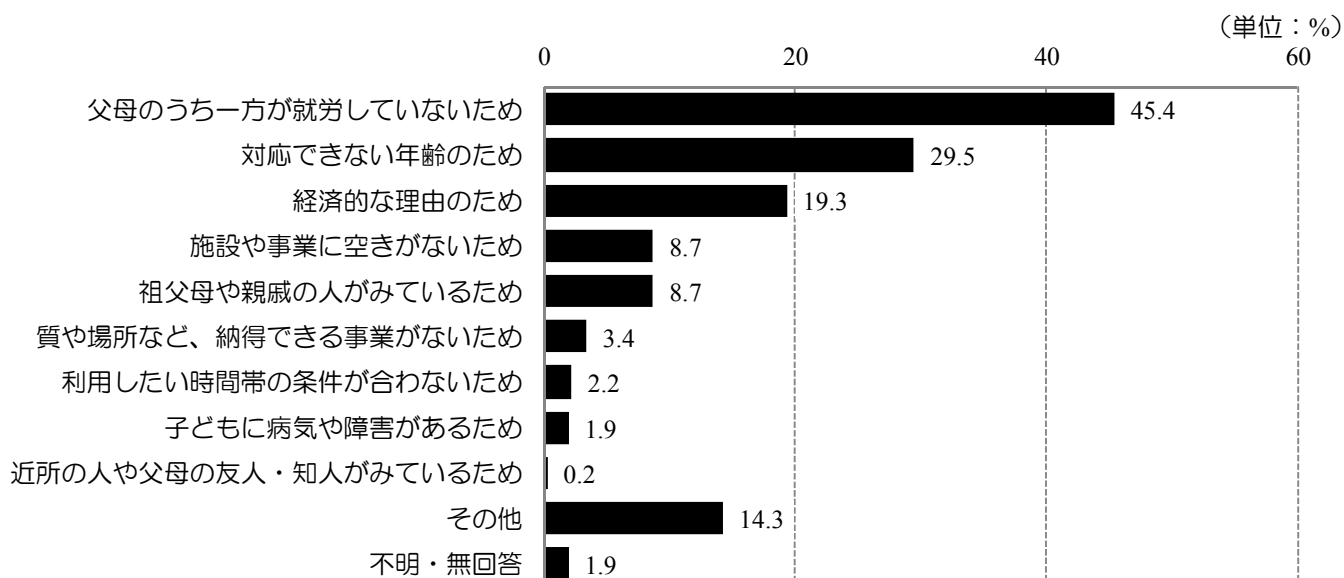


図 34 定期的な教育・保育事業を利用していない理由（N=414）

※ 問 16-2～問 18-2 は、問 16 で「尼崎市内、尼崎市以外で利用している」と回答した方を対象に集計

問 16-2 定期的にご利用している施設・事業（複数回答）

- 定期的にご利用している施設・事業は、「保育所（園）」が最も高く（43.3%）、次いで「幼稚園」（41.6%）となっています。

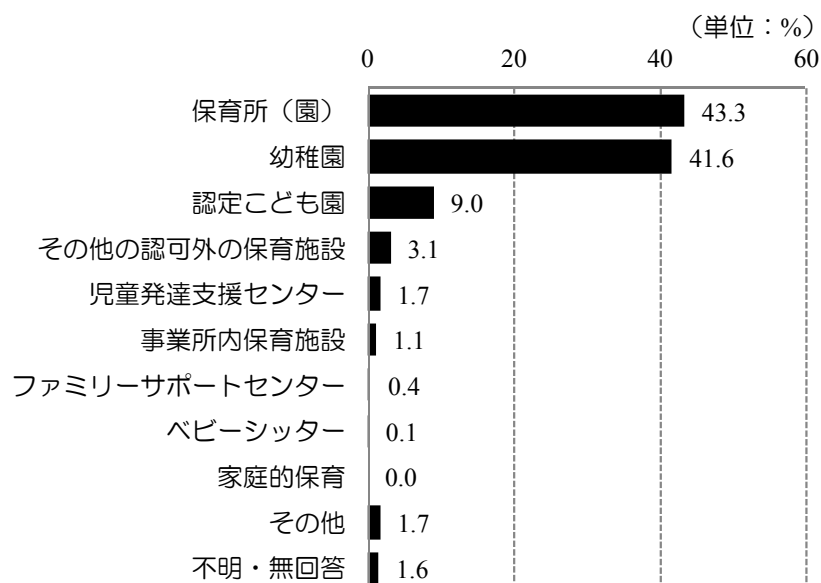


図 35 定期的にご利用している施設・事業（N=709）

問 16-3 利用している日数/週・時間/日・時間帯（現在・希望）

【現在】

①利用日数/週（数量回答）

- 1 週当たりの利用日数は、「5 日」が最も高くなっています（82.5%）。

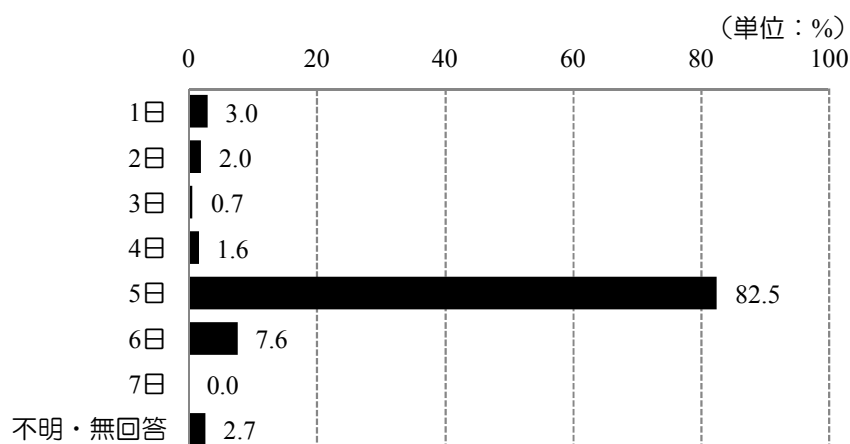


図 36 利用日数/週 現在 (N=709)

②利用時間/日（数量回答）

- 1 日当たりの利用時間は、「5 時間」が最も高く（29.3%）、次いで「10 時間以上」（20.0%）、「9 時間」（11.8%）となっています。「8 時間以上」の長時間利用は、約 4 割（42.5%）となっています。

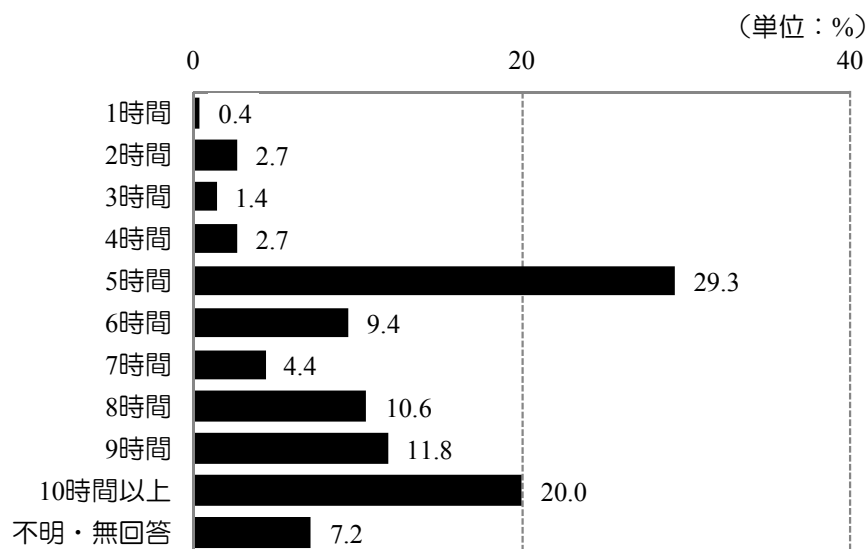


図 37 利用時間/日 現在 (N=709)

③利用時間帯（数量回答）

- 開始時間は「9時」が最も高く（51.2%）、次いで「8時」（27.4%）となっています。
- 終了時間は、「14時」が最も高く（30.6%）、次いで「18時」（21.3%）となっています。

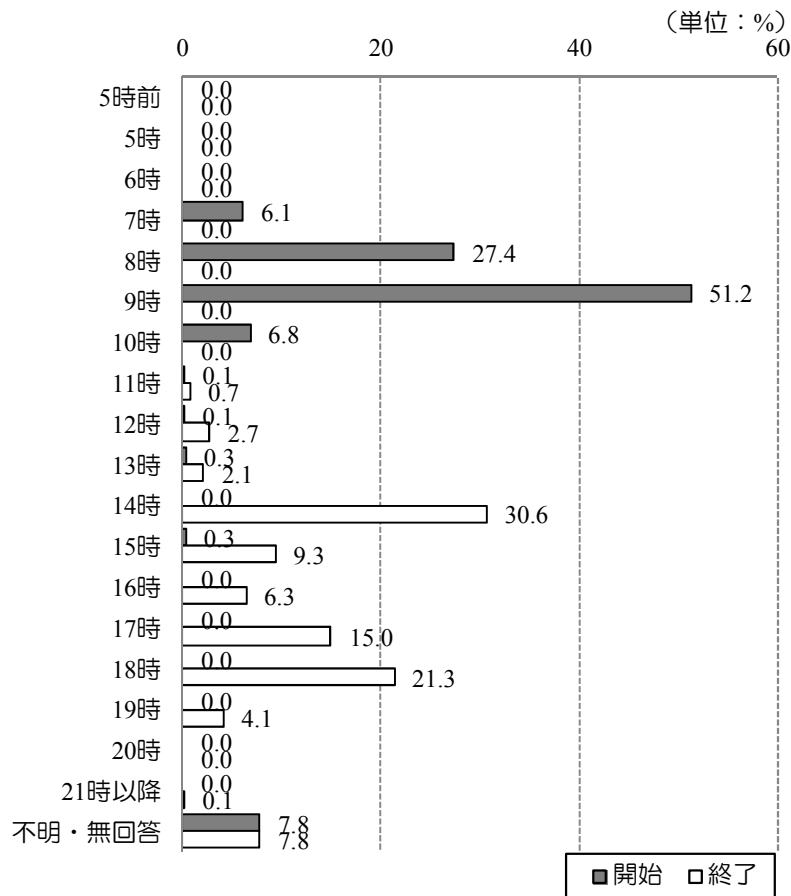


図 38 利用時間帯 現在 (N=709)

【希望】

①利用希望日数/週（数量回答）

- 1週当たりの利用希望日数は、「5日」が最も高くなっています（78.7%）。

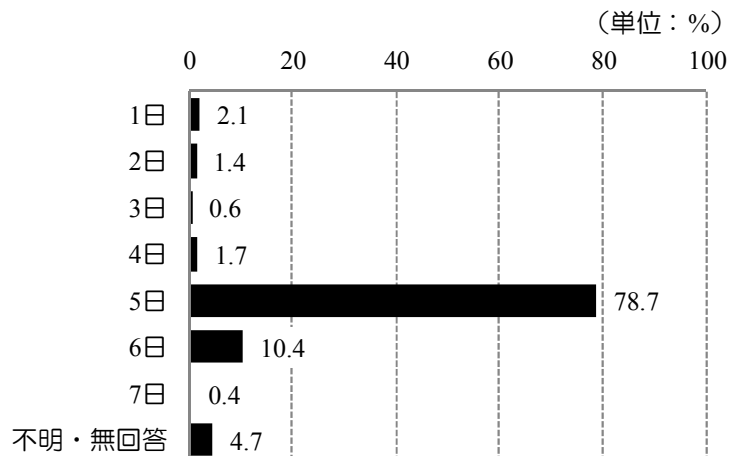


図 39 利用希望日数/週 (N=709)

②利用希望時間/日（数量回答）

- 1日当たりの利用希望時間は、「10時間以上」が最も高く（22.3%）、次いで「5時間」（19.2%）、「6時間」（13.0%）となっています。

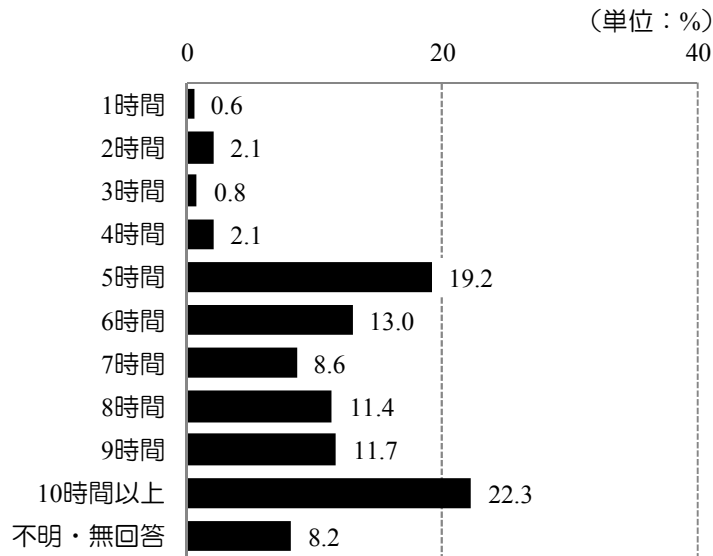


図 40 利用希望時間/日 (N=709)

③利用希望時間帯（数量回答）

- 開始時間は「9時」が最も高く（50.1%）、次いで「8時」（27.2%）となっています。
- 終了時間は、「18時」が最も高く（21.4%）、次いで「14時」（19.5%）となっています。

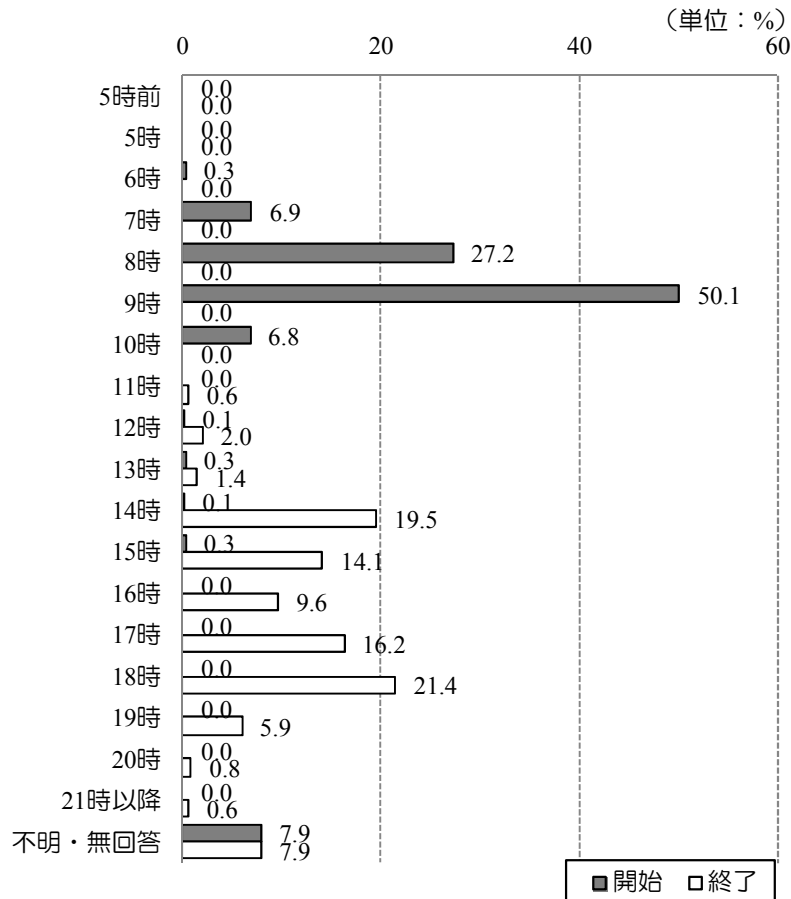


図 41 利用希望時間帯 (N=709)

問 16-4 施設を選ぶ際に重視すること（複数回答）

- 施設を選ぶ際に重視することは、「家から近い」が最も高く（64.2%）、次いで「給食がある」（27.5%）、「保育・教育の方針や内容が充実している」（21.9%）となっています。

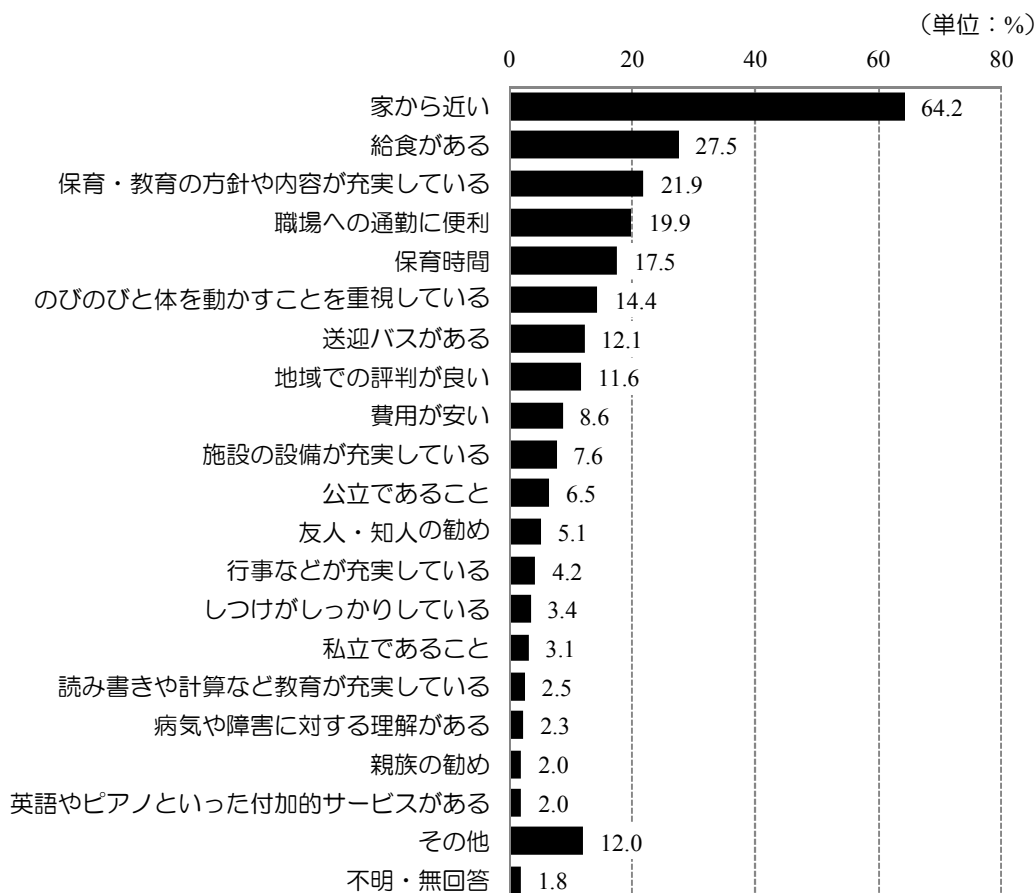


図 42 施設を選ぶ際に重視すること (N=709)

問 16-5 施設・事業の利用にかかる費用（単数回答）

- 施設・事業の利用費用は、「20,000 円以上 30,000 円未満」が最も高く（35.1%）、次いで「30,000 円以上 40,000 円未満」（15.9%）、「40,000 円以上 50,000 円未満」（10.3%）となっています。

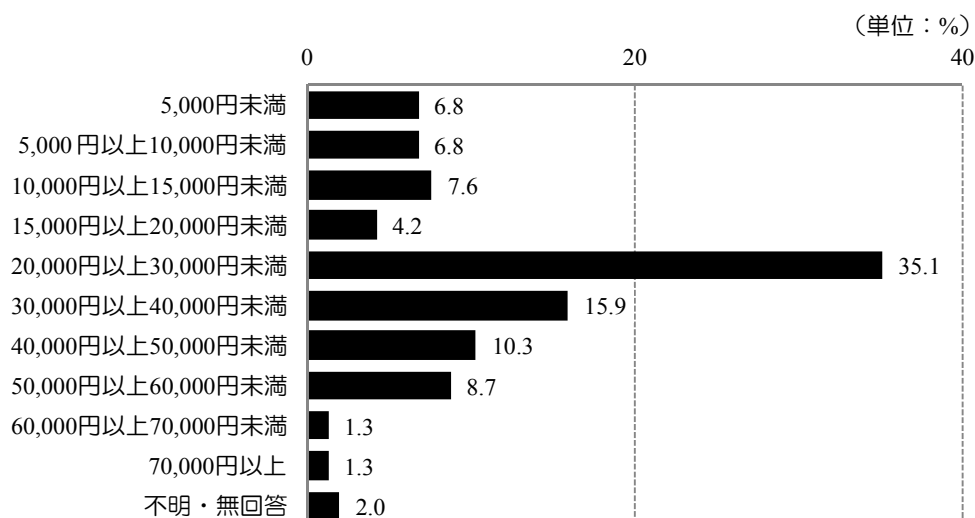


図 43 施設・事業の利用にかかる費用 (N=709)

問 16-6 費用の負担感（単数回答）

- 費用の負担感は、「とても感じる」が最も高く（41.7%）、次いで「まあ感じる」（38.2%）、「あまり感じない」（14.2%）となっています。

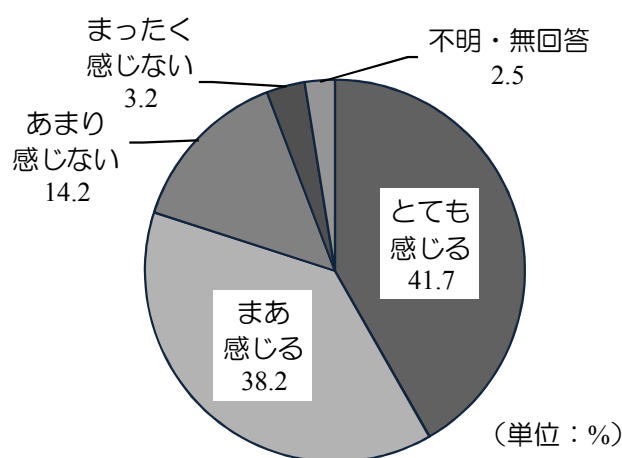


図 44 費用の負担感 (N=709)

【病気の際の対応】

問 17 この 1 年間に病気やケガで通常どおりに定期的な教育・保育事業を利用できなかったことがあるか（単数回答）

- 定期的な教育・保育事業を利用している方の約 6 割（61.1%）が「あった」と回答しています。

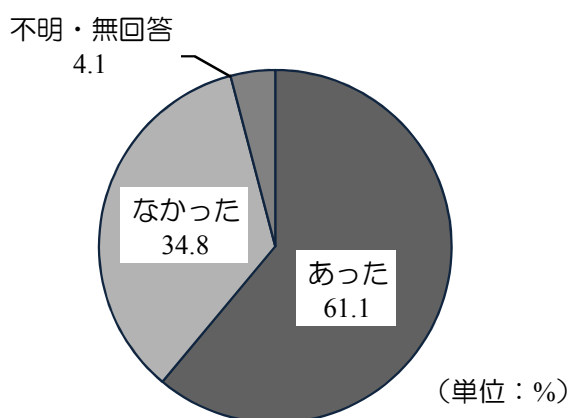


図 45 病気やケガで通常どおりに定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと (N=709)

問 17-1 利用できなかった場合の対処方法

※ 問 17 で「あった」と回答した方を集計

① 対処方法（複数回答）

- 対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が最も高く（59.6%）、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」（35.6%）、「（同居者を含む）親族に子どもをみてもらった」（35.3%）となっています。

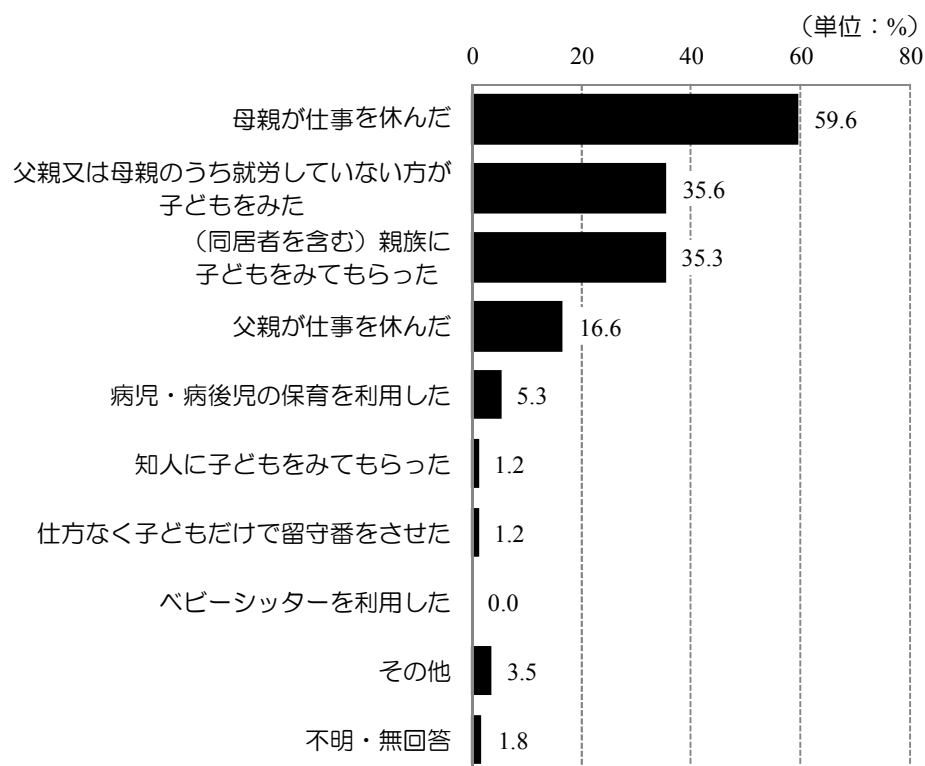


図 46 対処方法 (N=433)

② 対処日数合計（数量回答）

- 対処日数合計は、「1～5日」が最も高く（34.4%）、次いで「6～10日」（33.7%）となっています。

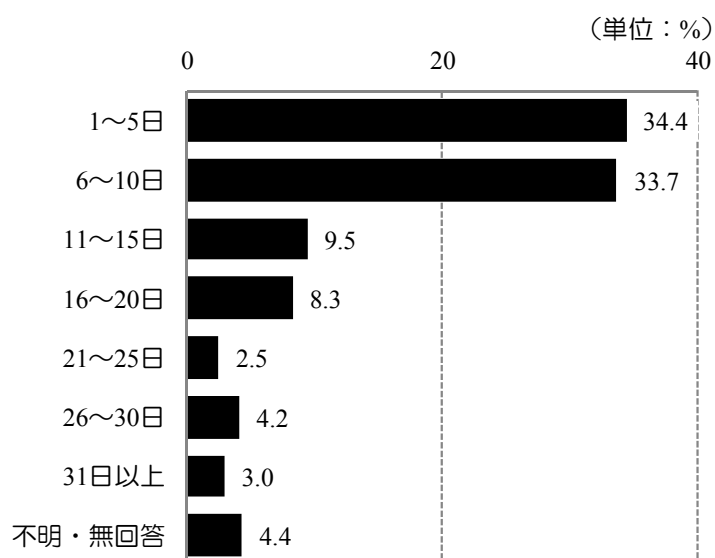


図 47 対処日数 (N=433)

③対処方法別日数（数量回答）

表 7 対処方法別日数

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた(N=154)	15 9.7	21 13.6	18 11.7	10 6.5	29 18.8	4 2.6	8 5.2	5 3.2
父親が仕事を休んだ(N=72)	16 22.2	11 15.3	15 20.8	6 8.3	12 16.7	1 1.4	1 1.4	2 2.8
母親が仕事を休んだ(N=258)	21 8.1	27 10.5	33 12.8	14 5.4	41 15.9	2 0.8	14 5.4	11 4.3
(同居者を含む) 親族に子どもをみてもらった(N=153)	18 11.8	26 17.0	18 11.8	14 9.2	23 15.0	2 1.3	6 3.9	2 1.3
知人に子どもをみてもらった(N=5)	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
病児・病後児の保育を利用した(N=23)	4 17.4	2 8.7	6 26.1	1 4.3	5 21.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ベビーシッターを利用した(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた(N=5)	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(N=15)	0 0.0	4 26.7	1 6.7	2 13.3	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0

上段：回答数 下段：%	9日	10日	11～ 20日	21～ 30日	31日 以上	不明・ 無回答
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた(N=154)	3 1.9	15 9.7	14 9.1	5 3.2	4 2.6	3 1.9
父親が仕事を休んだ(N=72)	0 0.0	3 4.2	1 1.4	2 2.8	0 0.0	2 2.8
母親が仕事を休んだ(N=258)	3 1.2	36 14.0	32 12.4	8 3.1	4 1.6	12 4.7
(同居者を含む) 親族に子どもをみてもらった(N=153)	2 1.3	23 15.0	9 5.9	2 1.3	0 0.0	8 5.2
知人に子どもをみてもらった(N=5)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
病児・病後児の保育を利用した(N=23)	0 0.0	1 4.3	1 4.3	0 0.0	1 4.3	2 8.7
ベビーシッターを利用した(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた(N=5)	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(N=15)	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3

問 17-2 子どもが病気やケガの時の対応（単数回答）

- 子どもが病気やケガの時の対応は、「できる限り保護者がみたい」が最も高く（54.0%）、次いで「できる限り保護者か親族でみたい」（34.2%）となっています。

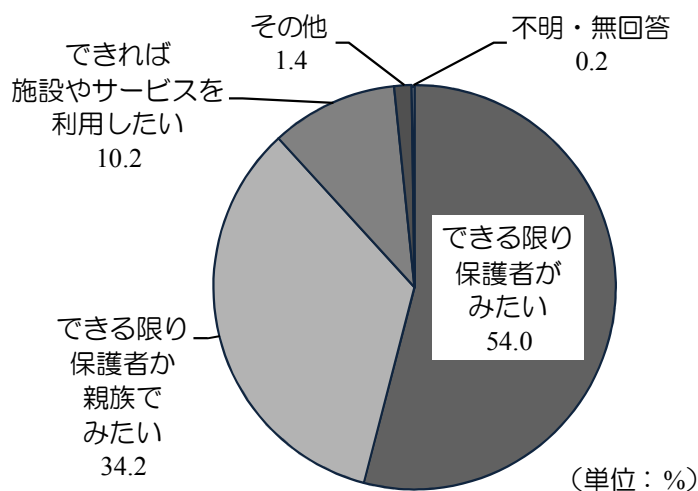


図 48 子どもが病気やケガの時の対応 (N=433)

問 17-3 子どもが病気やケガの時の保護者の状況（単数回答）

- 子どもが病気やケガの時の保護者の状況は、「子どもが病気やケガの場合は、父母のどちらかがある程度は仕事を休むことができる」が最も高く（41.6%）、次いで「普段から就労していない親族等が自宅かその付近にいる」（32.6%）となっています。

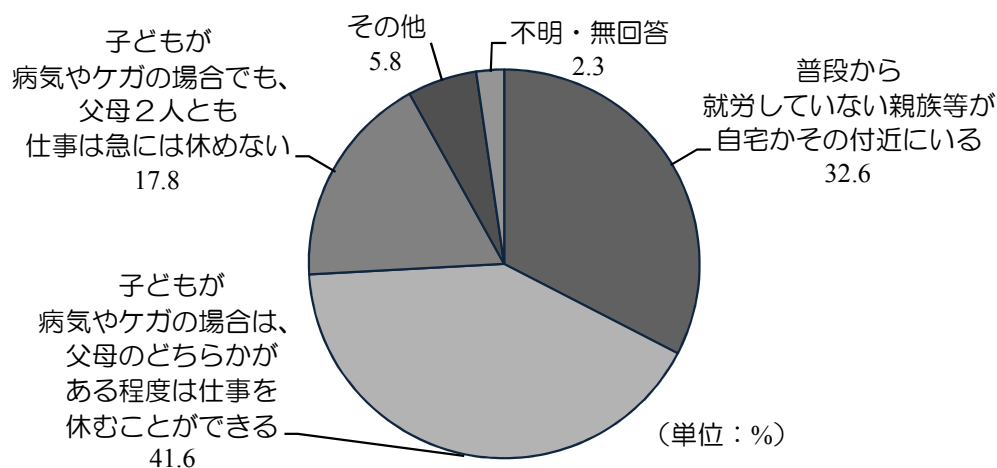


図 49 子どもが病気やケガの時の保護者の状況 (N=433)

問 17-4 病児・病後児保育の利用希望

※ 問 17-1 で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」と回答した方を集計

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、約 4 割（38.3%）の方が「できれば利用したい」と回答しています。

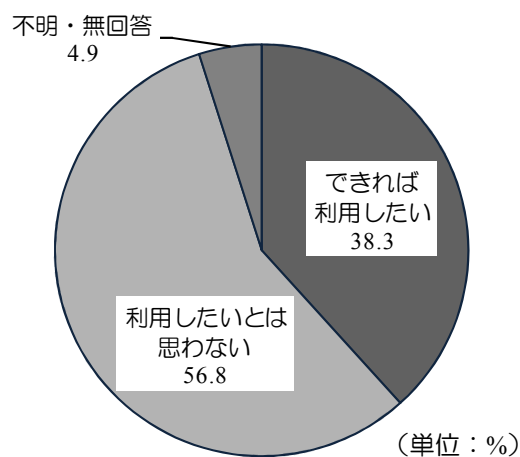


図 50 病児・病後児保育の利用希望 (N=264)

②利用希望日数（数量回答）

- 利用希望日数は、「5 日」が最も高く（20.8%）、次いで「10 日」（16.8%）、「11～20 日」（9.9%）となっています。

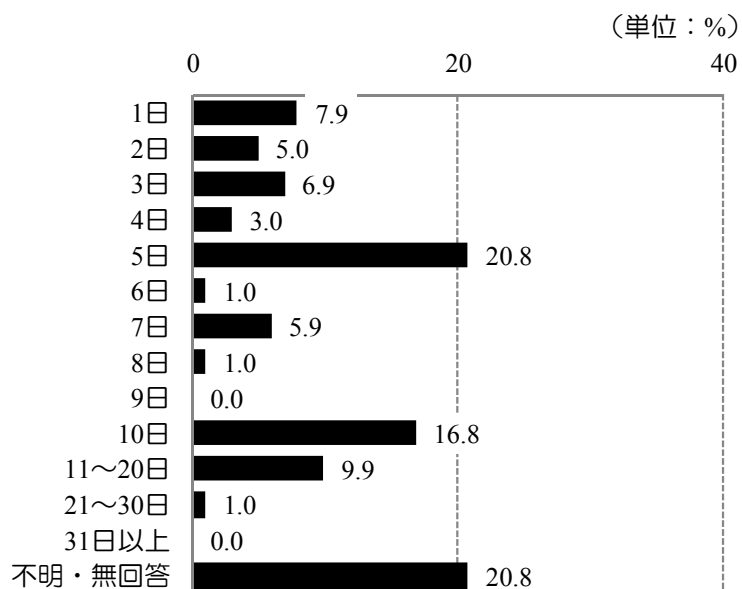


図 51 病児・病後児保育の利用希望日数 (N=101)

【幼稚園の預かり保育】

問 18 「幼稚園の預かり保育」を週 4 日以上で定期利用しているか（単数回答）

※ 問 16-2 で「幼稚園」利用と回答した方を集計

- 約 1 割（8.8%）の方が「はい」と回答しています。

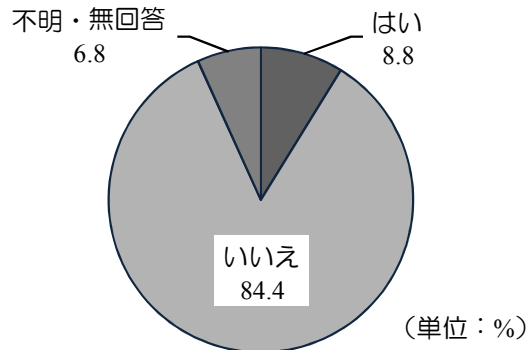


図 52 「幼稚園の預かり保育」を週 4 日以上で定期利用しているか (N=295)

問 18-1 「幼稚園の預かり保育」を利用している主な理由（単数回答）

※ 問 18 で「はい」と回答した方を集計

- 「幼稚園の預かり保育」を利用している主な理由は、「就労しているため」が最も高くなっています（80.8%）。

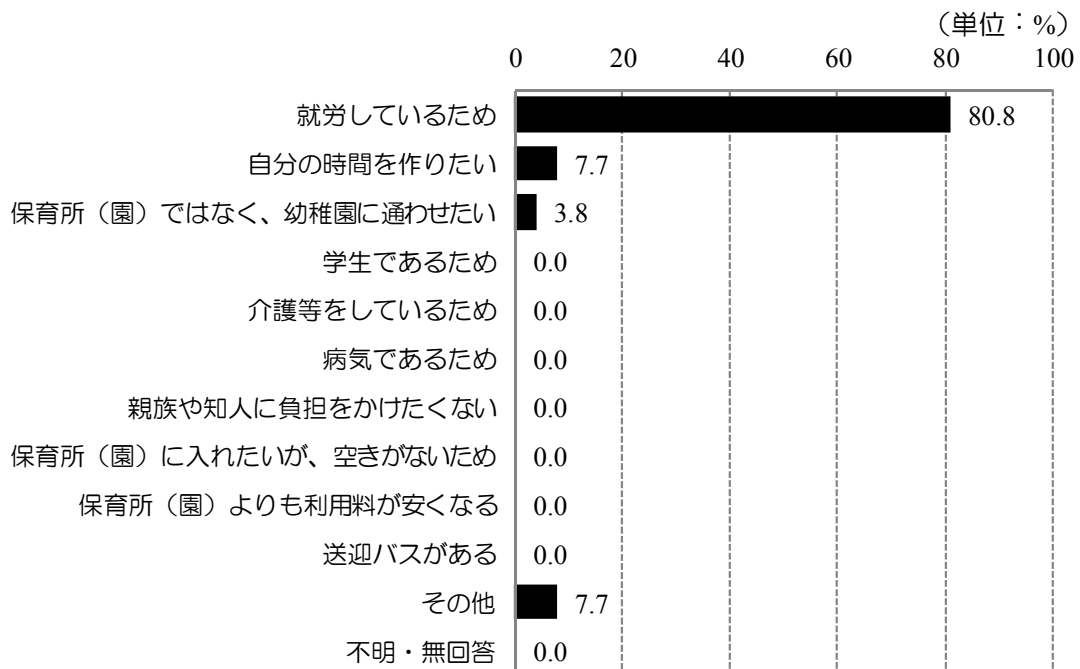


図 53 利用している主な理由 (N=26)

問 18-2 長期休暇中の預かり保育の利用希望

※ 問 18 で回答した方を集計

①利用希望（単数回答）

- 長期休暇中の預かり保育の利用希望について、「利用する必要はない」（44.7%）、「休みの期間中、週3日以内で利用したい」（30.9%）となっています。

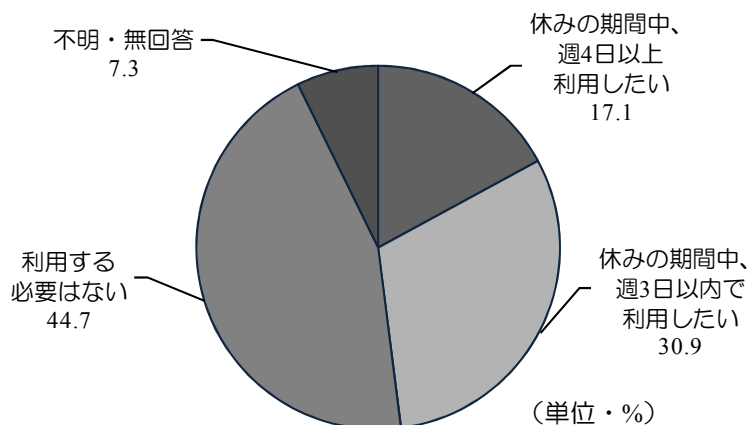


図 54 預かり保育の利用希望 長期休暇中 (N=275)

②利用希望時間帯（数量回答）

- 開始時間は「9時」が最も高く（65.9%）、次いで「8時」（22.7%）となっています。
- 終了時間は、「15時」「17時」が最も高く（21.2%）、次いで「18時」（17.4%）となっています。

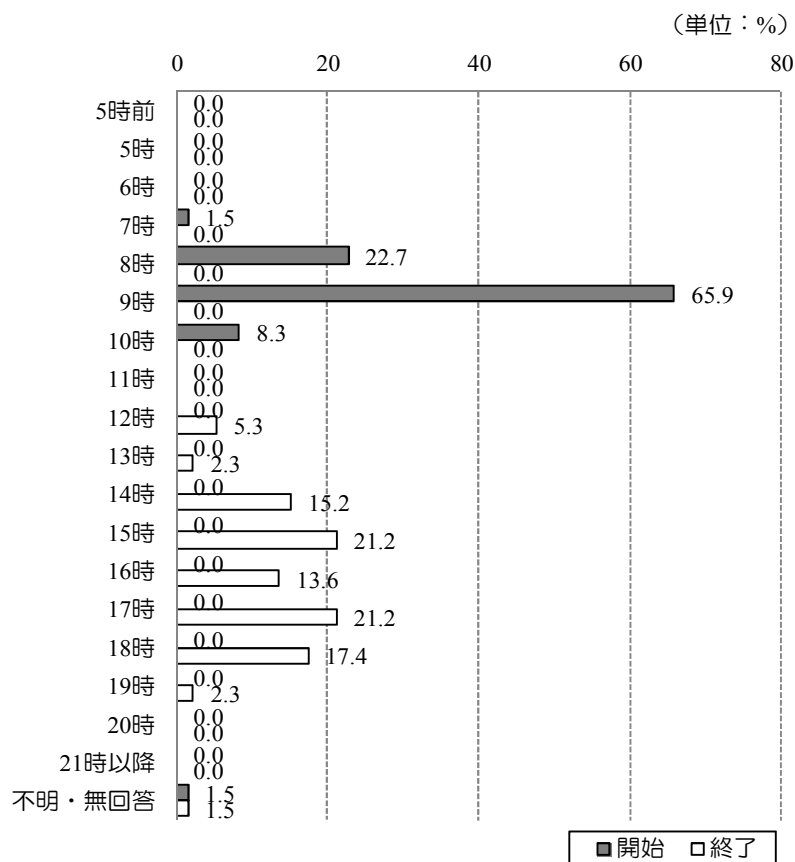


図 55 預かり保育の利用希望時間帯 長期休暇中 (N=132)

問19 定期的に利用したい平日の教育・保育の施設・事業（複数回答）

- 定期的に利用したい平日の教育・保育の施設・事業は、「幼稚園（預り保育あり）」が最も高く（46.0%）、次いで「保育所（園）」（44.5%）、「認定こども園」（26.0%）となっています。

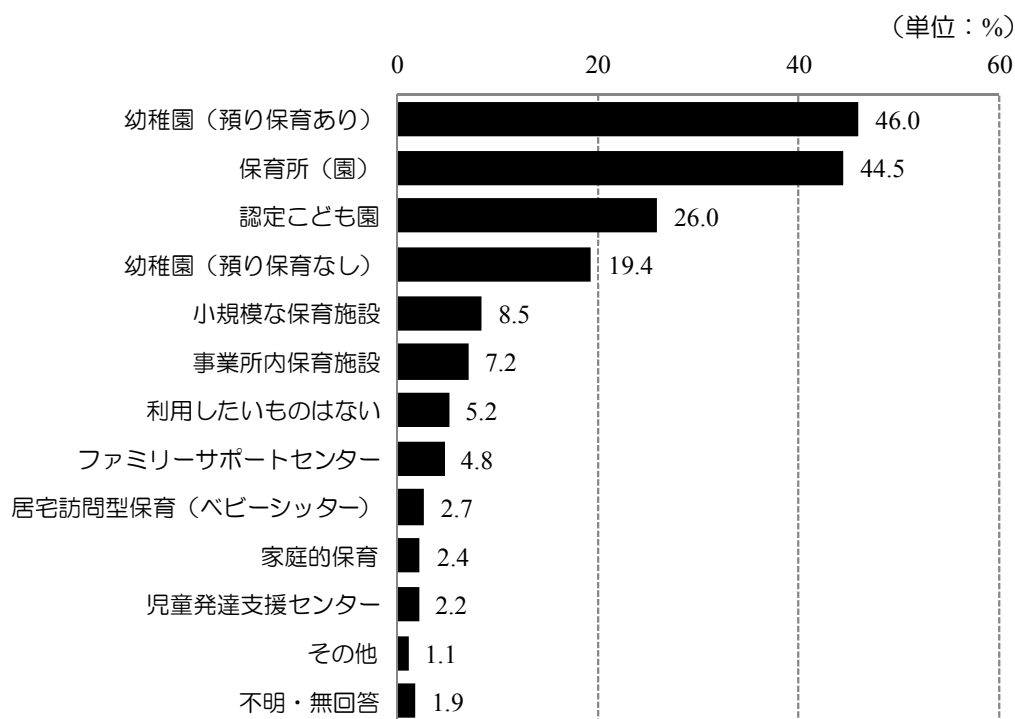


図 56 定期的に利用したい平日の教育・保育の施設・事業（N=1,132）

問 19-1 利用したい場所

※ 問 19 で「利用したいものはない」を除いて回答した方を集計

①利用場所（単数回答）

- 利用したい場所は、「尼崎市内で利用したい」が最も高くなっています（97.6%）。

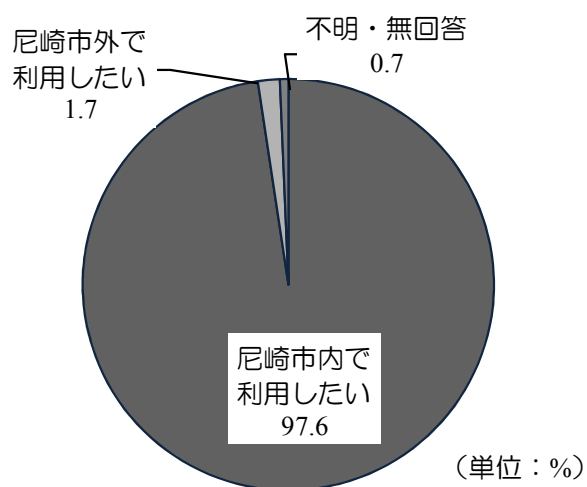


図 57 利用したい場所（N=1,052）

※ 問 19-1 で「尼崎市外で利用したい」と回答した方を集計

②市外の利用場所（自由記述）

- 尼崎市外の利用場所は、「西宮市」が最も高く（38.9%）、次いで「伊丹市」（33.3%）、「豊中市」（27.8%）となっています。

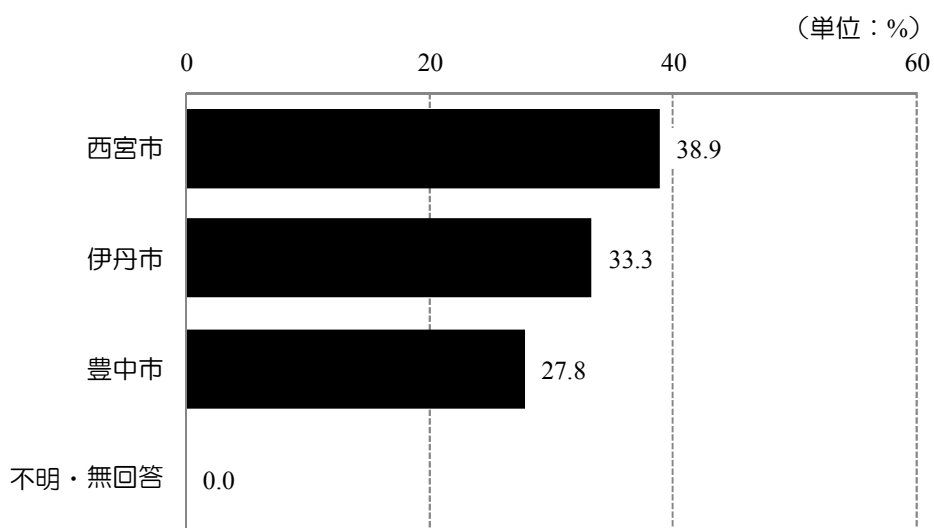


図 58 市外の利用したい場所 (N=18)

問 20 教育や教材、習い事等にかかる費用（単数回答）

- 教育や教材、習い事等にかかる費用は、「1,000 円以上 5,000 円未満」が最も高く（33.9%）、次いで「5,000 円以上 10,000 円未満」（22.3%）、「1,000 円未満」（22.0%）となっています。

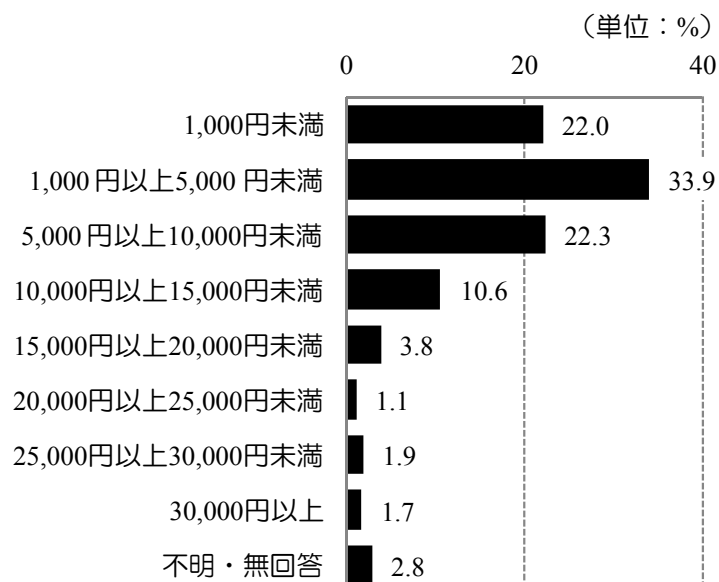


図 59 教育や教材、習い事等にかかる費用 (N=1,132)

問21 子どもの教育・保育等にもっと費用をかけたいか（単数回答）

- 子どもの教育・保育等にもっと費用をかけたいかは、「ややそう思う」が最も高く（36.1%）、次いで「あまり思わない」（34.9%）、「そう思う」（21.6%）となっています。

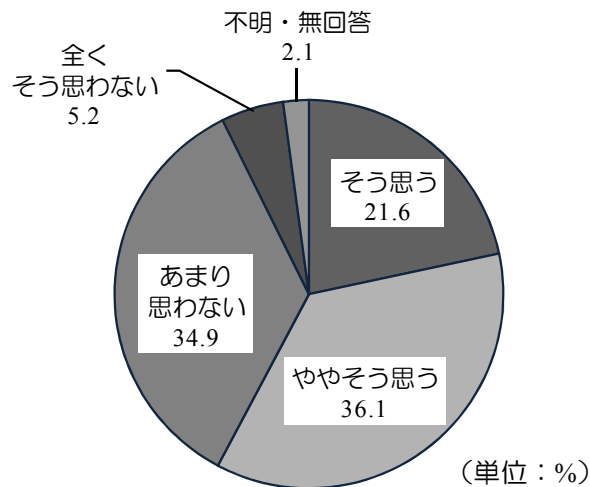


図 60 子どもの教育・保育等にもっと費用をかけたいか (N=1,132)

【土曜・日曜の利用希望】

問22 土曜、日曜・祝日における教育・保育施設の利用希望

【土曜日】

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（58.7%）。

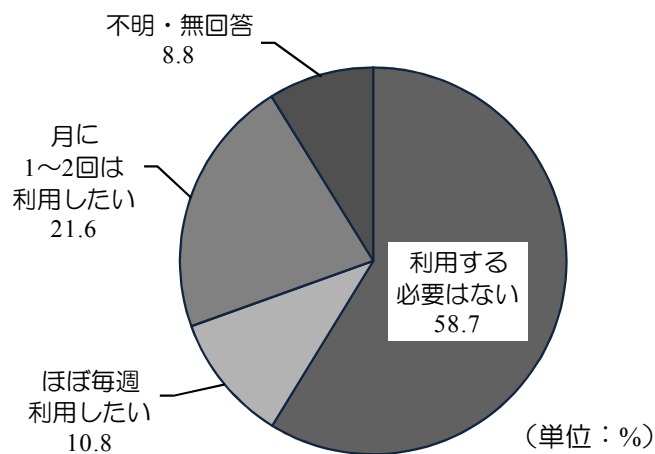


図 61 利用希望 土曜日 (N=1,132)

②利用希望時間帯（数量回答）

※ 「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「9時」が最も高く（45.2%）、次いで「8時」（36.0%）となっています。
- 終了時間は、「18時」が最も高く（30.0%）、次いで「17時」（25.3%）となっています。

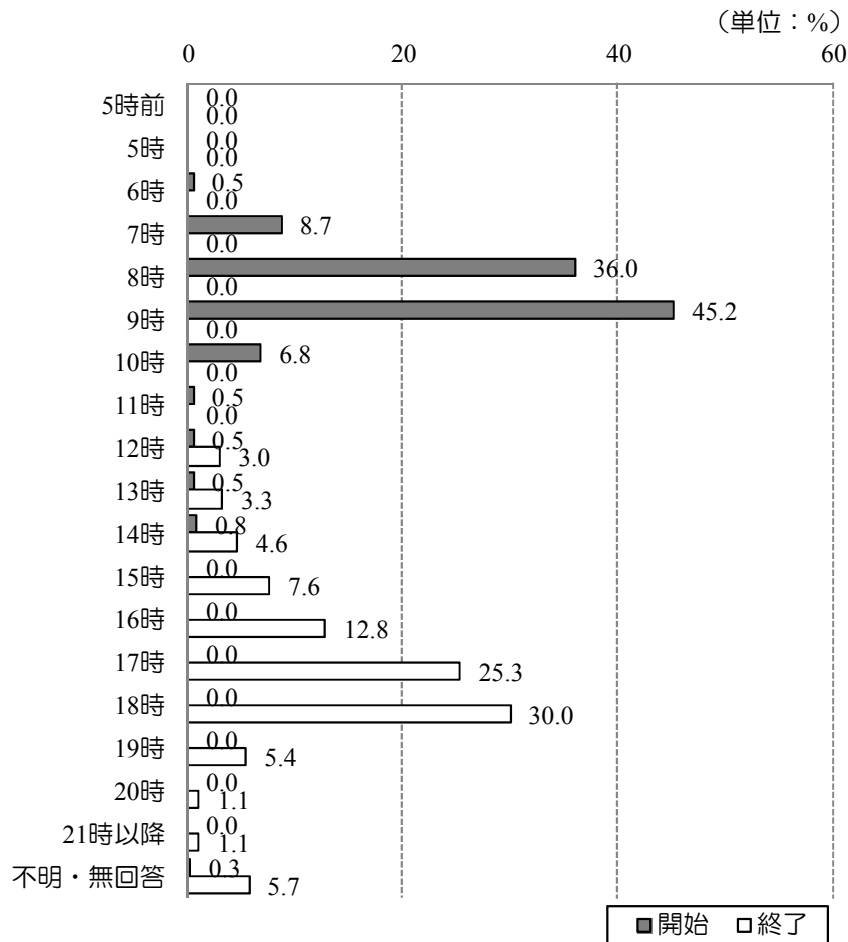


図 62 利用希望時間帯 土曜日 (N=367)

【日曜・祝日】

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（61.7%）。

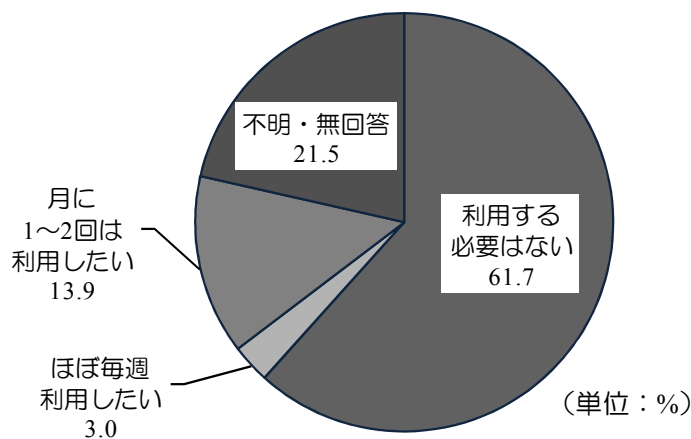


図 63 利用希望 日曜・祝日 (N=1,132)

②利用希望時間帯（数量回答）

※ 「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「9時」が最も高く（35.6%）、次いで「8時」（34.0%）となっています。
- 終了時間は、「18時」が最も高く（36.6%）、次いで「17時」（24.1%）となっています。

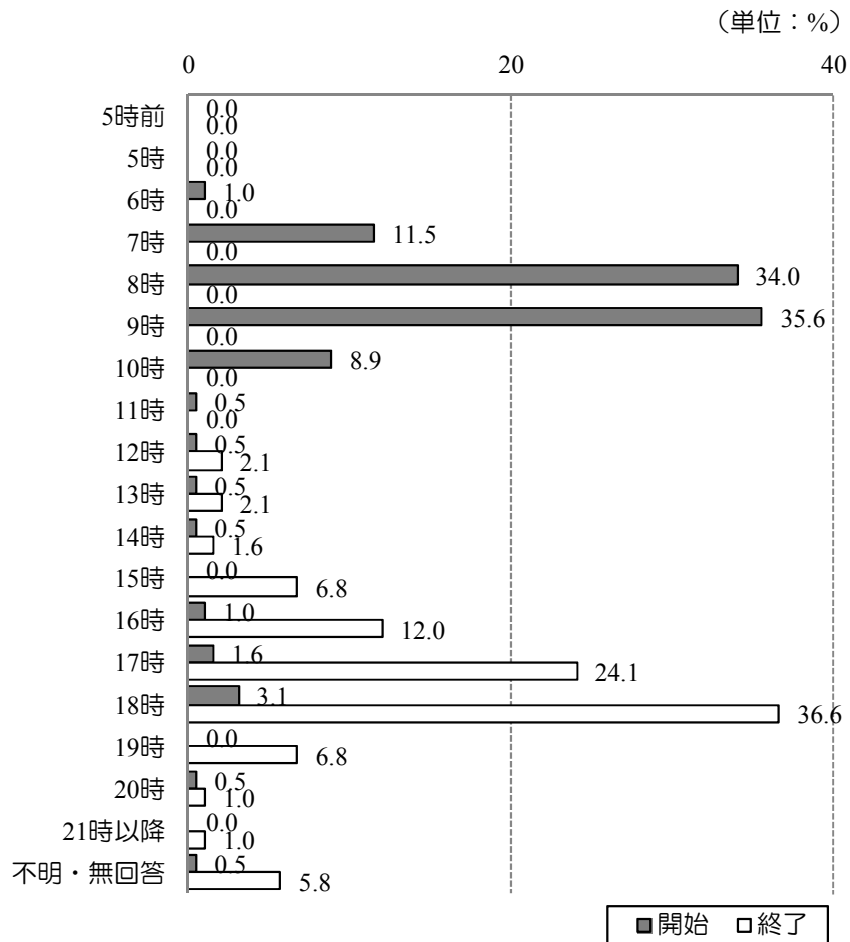


図 64 利用希望時間帯 日曜・祝日 (N=191)

7 子育て支援事業の利用状況

問23 子育て支援事業の利用状況

①利用状況（複数回答）

- 利用状況は、「利用していない」が最も高くなっています（84.6%）。

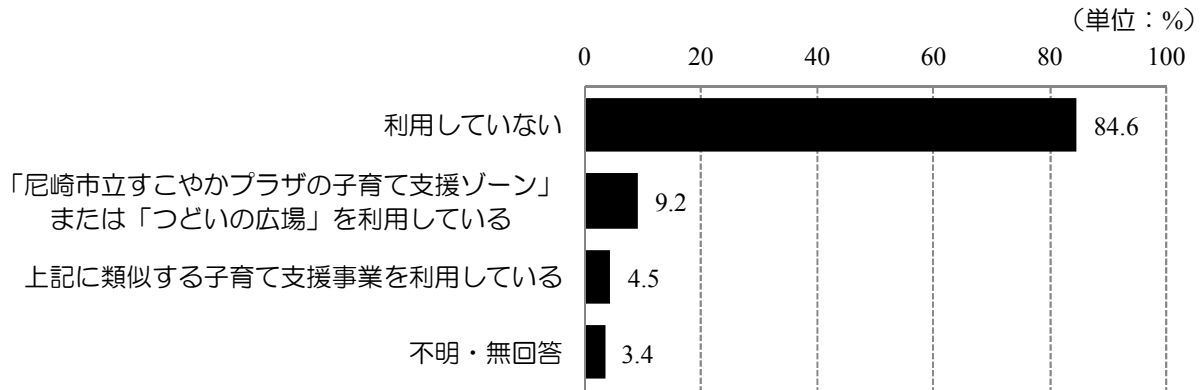


図 65 利用状況 (N=1,132)

②利用回数 「尼崎市立すこやかプラザの子育て支援ゾーン」又は「つどいの広場」（数量回答）/月

- 1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が最も高く（44.2%）、次いで「2回」（17.3%）、「3回」（9.6%）となっています。

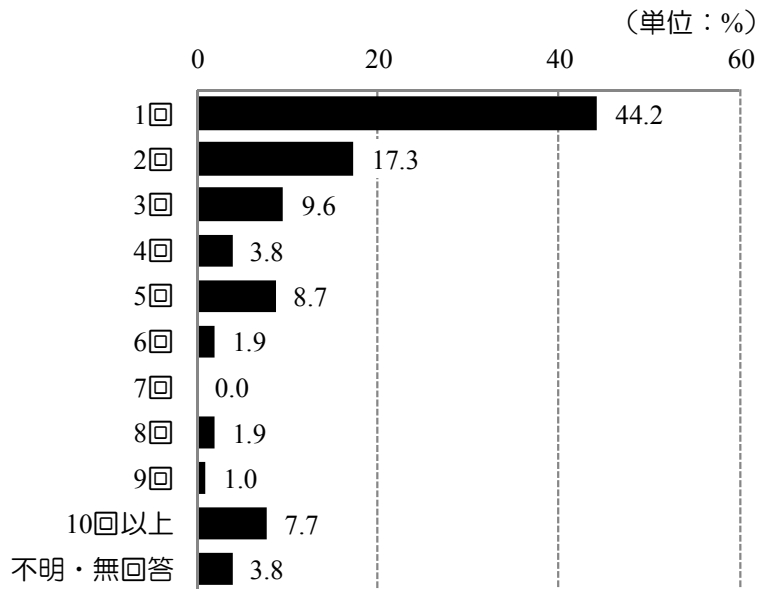


図 66 利用回数/月 (N=104)

③利用回数 類似する子育て支援事業（数量回答）/月

- 1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が最も高く（21.6%）、次いで「2回」「4回」（17.6%）となっています。

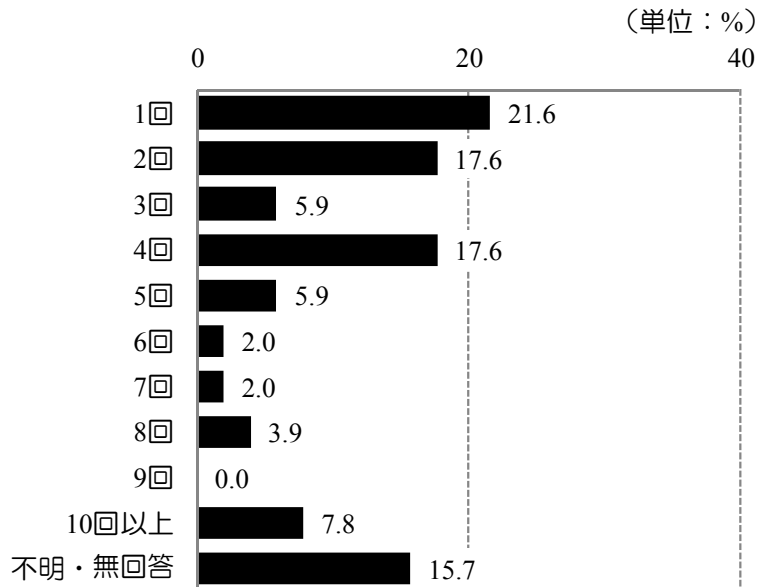


図 67 利用回数/月 (N=51)

問 23-1 利用していない理由（単数回答）

※ 問 23 で「利用していない」と回答した方を集計

- 利用していない理由は、「普段は通っている施設があるので必要がない」が最も高く（28.0%）、次いで「特に理由はない」（17.0%）、「自宅から遠いから」（16.8%）となっています。

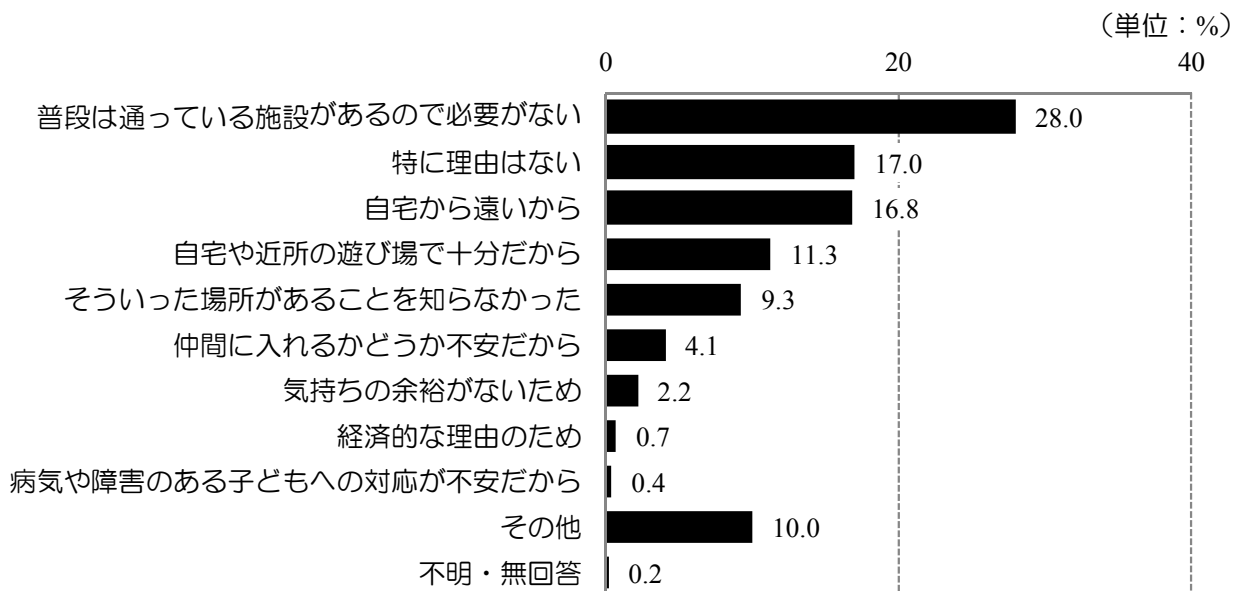


図 68 利用していない理由 (N=958)

問24 今後の子育て支援事業の利用希望

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「今のままでよい」が最も高くなっています（67.2%）。

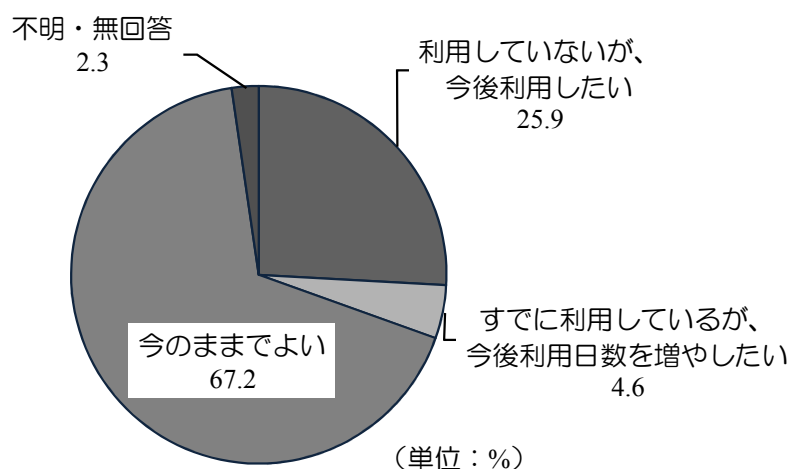


図 69 今後の利用希望 (N=1,132)

②利用回数 「利用していないが、今後利用したい」（数量回答）/月

- 1ヶ月当たりの利用回数は、「4回」が最も高く（28.3%）、次いで「2回」（22.2%）、「1回」（19.5%）となっています。

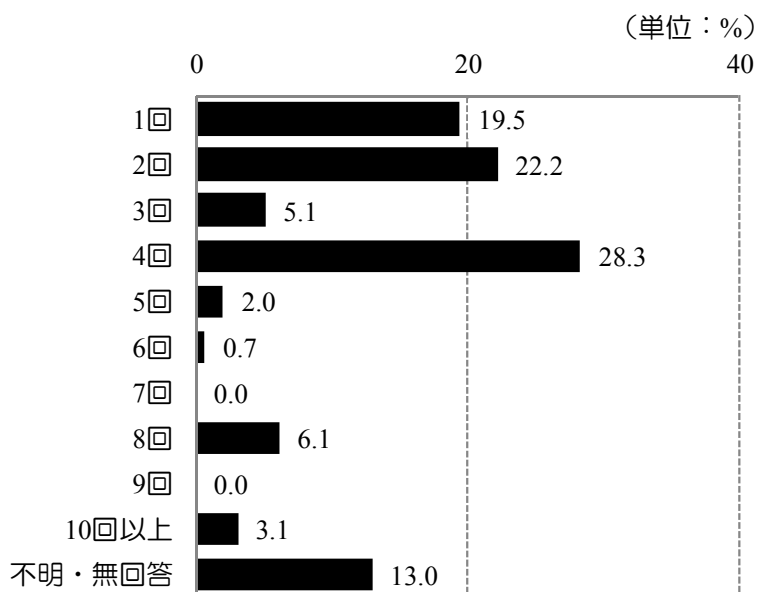


図 70 利用回数/月 (N=293)

③利用回数 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(数量回答) /月

- 1ヶ月当たりの増やしたい利用回数は、「4回」が最も高く(30.8%)、次いで「2回」(25.0%)、「10回以上」(17.3%)となっています。

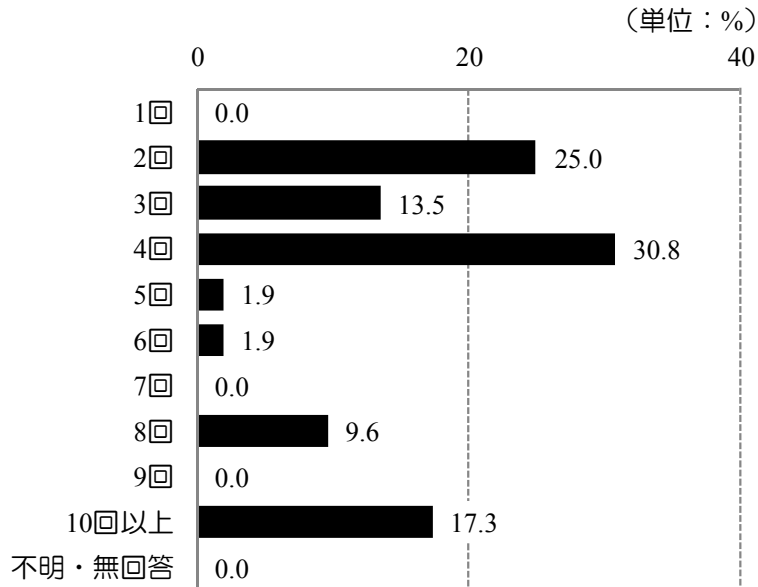


図 71 利用回数/月 (N=52)

8 不定期の教育・保育事業及び一時預かり等の利用状況

問 25 不定期で利用している事業

①利用状況(複数回答)

- 利用状況は、「利用していない」が最も高くなっています(77.8%)。利用している事業では「幼稚園の預かり保育」が最も高くなっています(11.3%)。

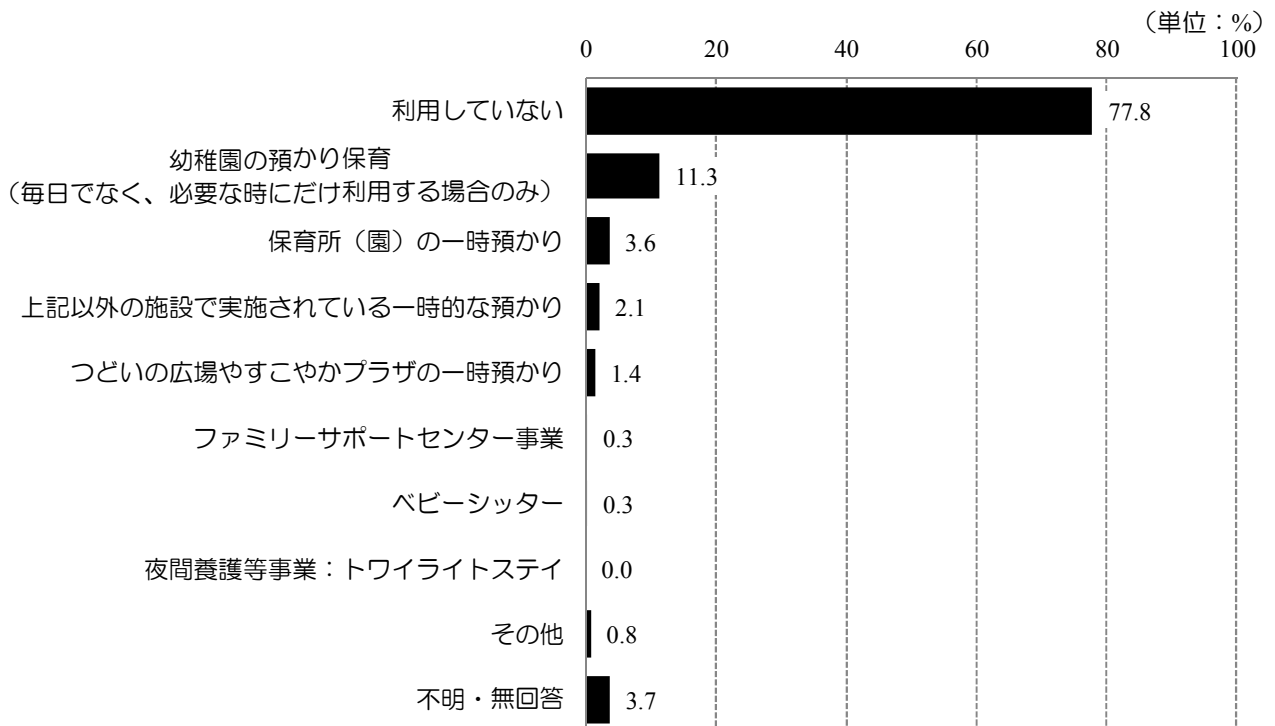


図 72 利用状況 (N=1,132)

②施設・事業別利用日数（数量回答）

表 8 施設・事業別利用日数

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
保育所（園）の一時預かり (N=41)	4 9.8	5 12.2	5 12.2	2 4.9	4 9.8	2 4.9	2 4.9	1 2.4
つどいの広場やすこやかプラザ の一時預かり(N=16)	5 31.3	3 18.8	0 0.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0
幼稚園の預かり保育（毎日ではなく、必要な 時にだけ利用する場合のみ）(N=128)	9 7.0	5 3.9	13 10.2	1 0.8	22 17.2	3 2.3	2 1.6	0 0.0
上記以外の施設で実施されてい る一時的な預かり(N=24)	4 16.7	0 0.0	3 12.5	1 4.2	4 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ファミリーサポートセンター事 業(N=3)	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
夜間養護等事業：トワイライトステ イ(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ベビーシッター (N=3)	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他 (N=9)	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：回答数 下段：%	9日	10日	11～ 20日	21～ 30日	31日 以上	不明・ 無回答
保育所（園）の一時預かり (N=41)	0 0.0	2 4.9	6 14.6	4 9.8	3 7.3	1 2.4
つどいの広場やすこやかプラザ の一時預かり(N=16)	0 0.0	2 12.5	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0
幼稚園の預かり保育（毎日ではなく、必要な 時にだけ利用する場合のみ）(N=128)	0 0.0	26 20.3	15 11.7	9 7.0	19 14.8	4 3.1
上記以外の施設で実施されてい る一時的な預かり(N=24)	0 0.0	3 12.5	2 8.3	2 8.3	5 20.8	0 0.0
ファミリーサポートセンター事 業(N=3)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
夜間養護等事業：トワイライトステ イ(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ベビーシッター (N=3)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他 (N=9)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	4 44.4

問 25-1 利用していない理由（単数回答）

※ 問 25 で「利用していない」と回答した方を集計

- 利用していない理由は、「必要がないから」が最も高く（48.1%）、次いで「祖父母等の親族にみてもらえるから」（29.4%）となっています。

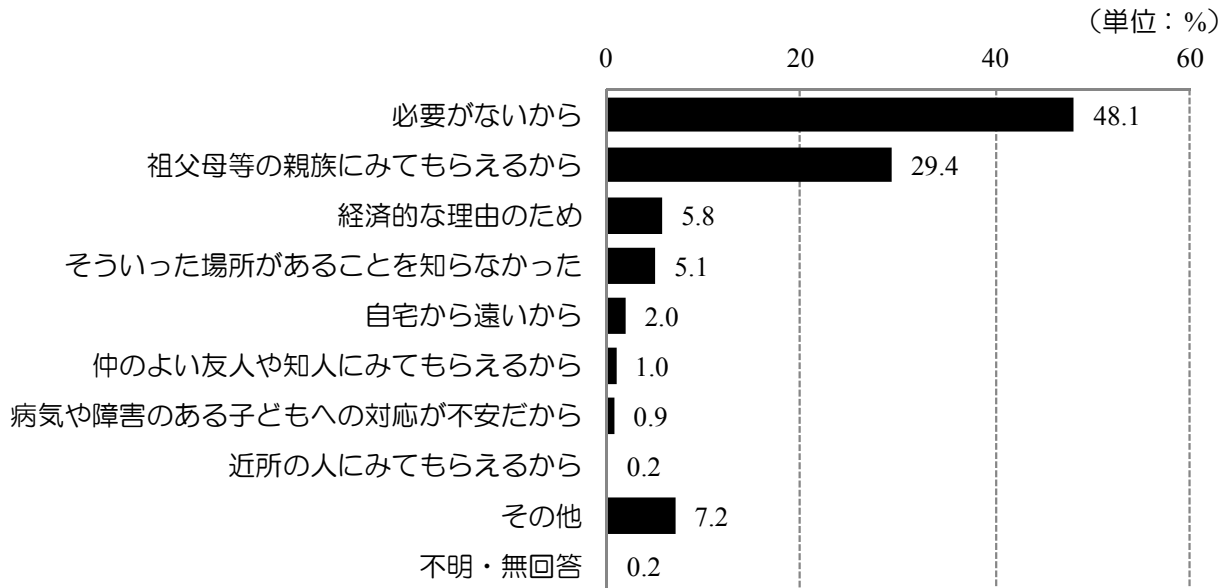


図 73 利用していない理由（N=881）

問 2 6 一時預かり等の利用の必要性

①一時預かり等の利用の必要性（単数回答）

- 一時預かり等の利用の必要性は、「利用する必要はない」（54.1%）が最も高くなっています。

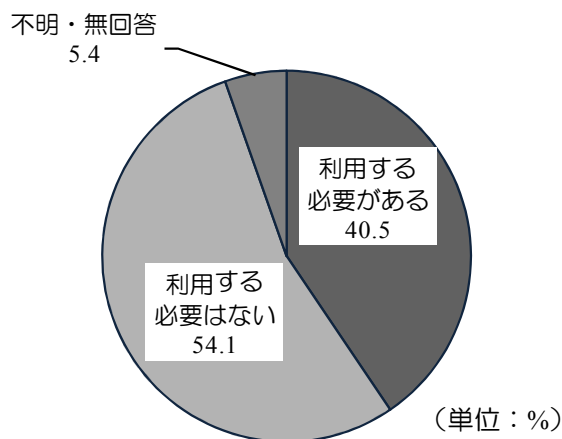


図 74 一時預かり等の利用の必要性（N=1,132）

②一時預かり等の利用目的（複数回答）

- 利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」が最も高く（75.8%）、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（64.3%）となっています。

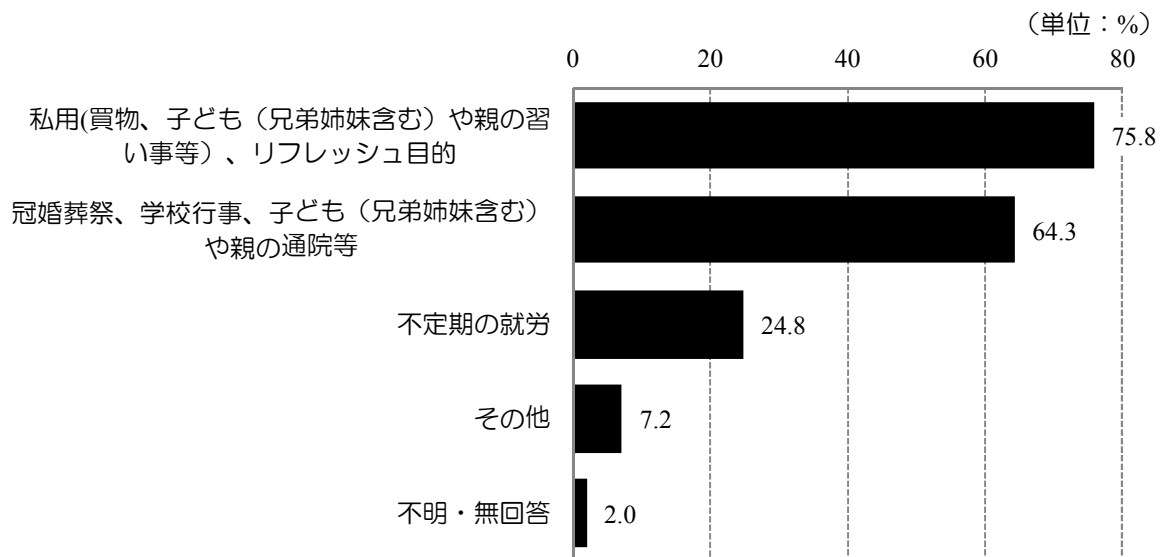


図 75 利用目的 (N=459)

③年間利用希望日数 年間計（数量回答）

- 年間利用希望日数（年間計）は、「6～10日」が最も高く（20.7%）、次いで「1～5日」（20.5%）となっています。

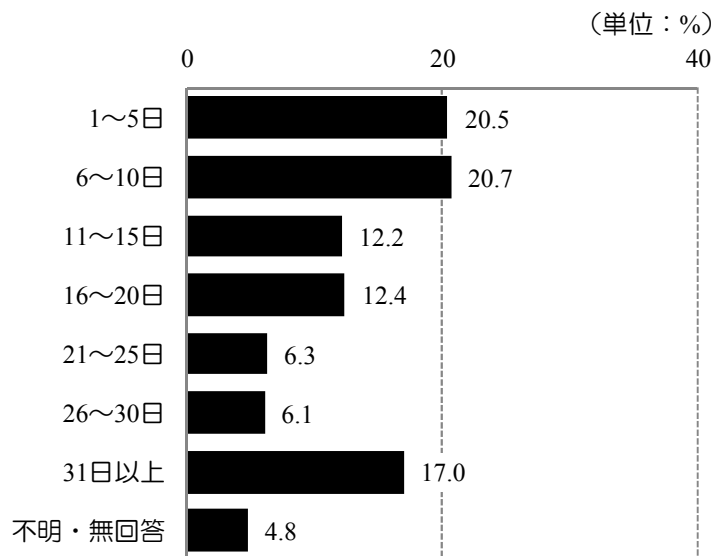


図 76 年間利用希望日数（年間計）(N=459)

④一時預かり等の目的別利用希望日数（数量回答）

表 9 目的別利用希望日数

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
私用(買物、子ども(兄弟姉妹含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的(N=348)	9 2.6	16 4.6	23 6.6	11 3.2	51 14.7	13 3.7	1 0.3	9 2.6
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院等(N=295)	21 7.1	28 9.5	28 9.5	6 2.0	69 23.4	13 4.4	9 3.1	1 0.3
不定期の就労(N=114)	5 4.4	4 3.5	5 4.4	4 3.5	14 12.3	1 0.9	3 2.6	2 1.8
その他(N=33)	0 0.0	2 6.1	3 9.1	2 6.1	4 12.1	0 0.0	0 0.0	1 3.0

上段：回答数 下段：%	9日	10日	11～20日	21～30日	31日以上	不明・無回答
私用(買物、子ども(兄弟姉妹含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的(N=348)	0 0.0	71 20.4	77 22.1	28 8.0	31 8.9	8 2.3
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院等(N=295)	1 0.3	64 21.7	32 10.8	10 3.4	3 1.0	10 3.4
不定期の就労(N=114)	0 0.0	19 16.7	16 14.0	13 11.4	19 16.7	9 7.9
その他(N=33)	0 0.0	5 15.2	5 15.2	1 3.0	3 9.1	7 21.2

問27 この1年間に保護者の用事により、泊まりがけの外出があったか

①状況（単数回答）

- 保護者の用事により、泊まりがけの外出が「あった」（25.1%）と回答しています。

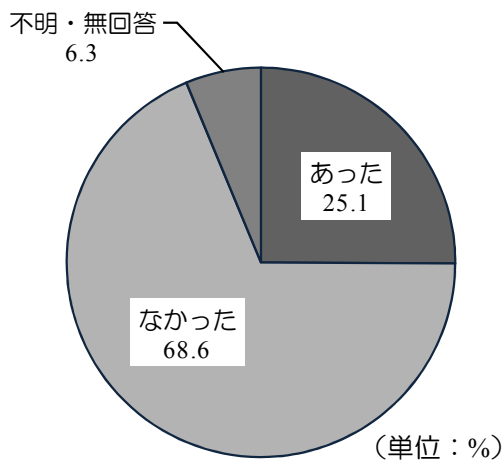


図 77 利用状況 (N=1,132)

②対処方法（複数回答）

※ ①で「あった」と回答した方を集計

- 対処方法は、「(同居人を含む) 親族・知人にみてもらった」が最も高く (52.1%)、次いで「子どもを同行させた」(51.8%) となっています。

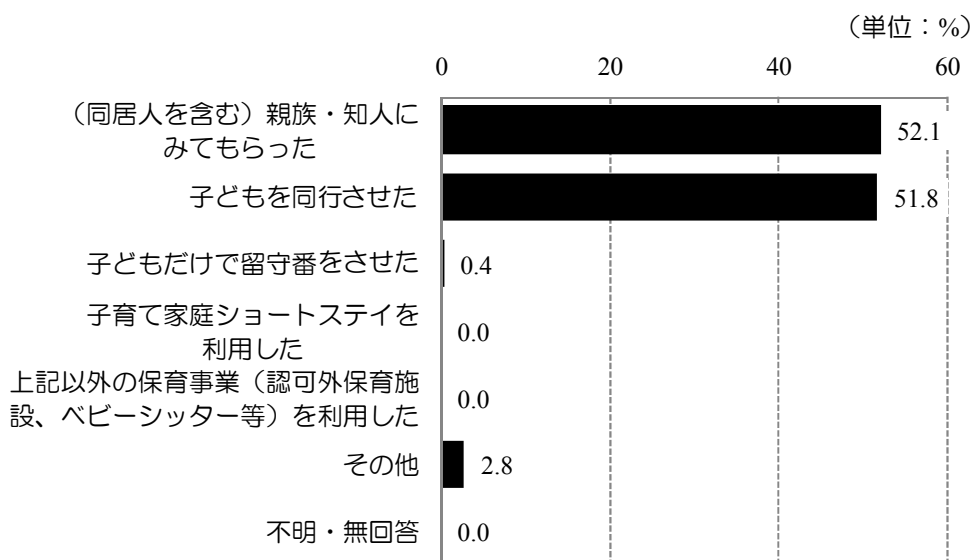


図 78 対処方法 (N=284)

③対処方法別泊数（数量回答）

表 10 対処方法別泊数

上段：回答数 下段：%	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊
（同居人を含む）親族・知人にみてもらった(N=148)	38 25.7	22 14.9	20 13.5	9 6.1	15 10.1	5 3.4	7 4.7	1 0.7
子育て家庭ショートステイを利用した(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上記以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
子どもを同行させた(N=147)	50 34.0	43 29.3	21 14.3	3 2.0	7 4.8	3 2.0	2 1.4	1 0.7
子どもだけで留守番をさせた(N=1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(N=8)	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：回答数 下段：%	9泊	10泊	11～20泊	21～30泊	31泊以上	不明・無回答
（同居人を含む）親族・知人にみてもらった(N=148)	2 1.4	8 5.4	10 6.8	3 2.0	3 2.0	5 3.4
子育て家庭ショートステイを利用した(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上記以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
子どもを同行させた(N=147)	0 0.0	3 2.0	2 1.4	0 0.0	1 0.7	11 7.5
子どもだけで留守番をさせた(N=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(N=8)	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5

9 小学校就学後の放課後の過ごし方

※ 問 28～問 30 は、調査時点で5歳以上の就学前児童の保護者を対象に集計

問 28 小学校就学後における放課後の過ごし方（小学校 1～3 年生の間）

①放課後の過ごし方（複数回答）

- 放課後の過ごし方は、「自宅」が最も高く（48.0%）、次いで「習い事」（44.5%）、「児童ホーム」（34.7%）となっています。

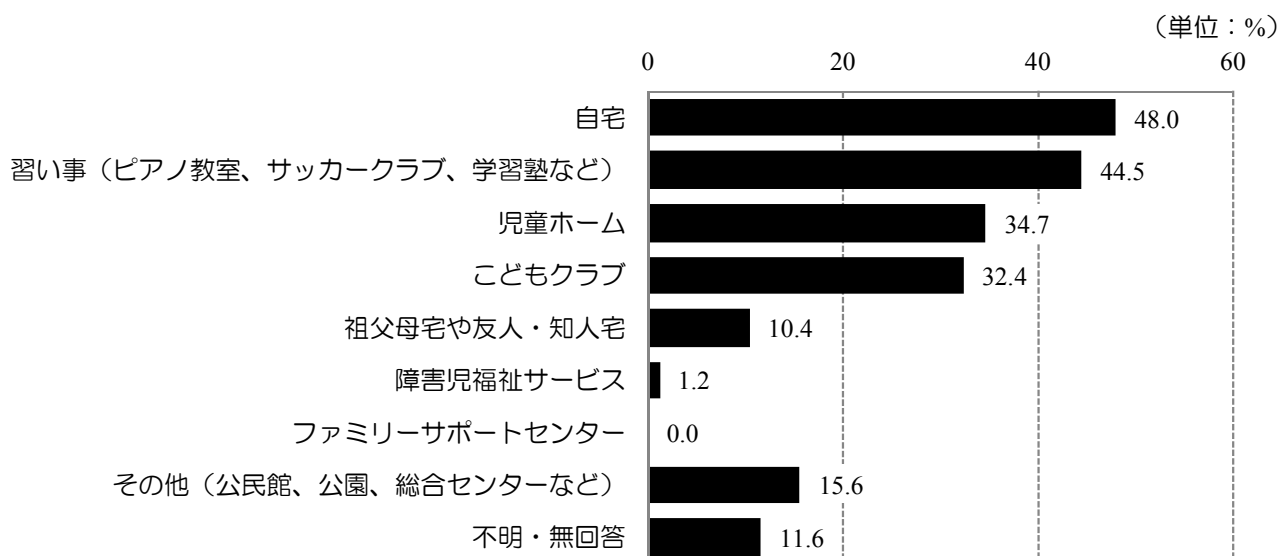


図 79 状況 (N=173)

②放課後の場所別日数/週（数量回答）

表 11 放課後の場所別日数/週（小学校 1～3 年生の間）

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・ 無回答
自宅 (N=83)	13 15.7	17 20.5	21 25.3	7 8.4	18 21.7	0 0.0	1 1.2	6 7.2
祖父母宅や友人・知人宅 (N=18)	11 61.1	2 11.1	0 0.0	0 0.0	3 16.7	0 0.0	0 0.0	2 11.1
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） (N=77)	19 24.7	37 48.1	17 22.1	0 0.0	3 3.9	0 0.0	0 0.0	1 1.3
こどもクラブ (N=56)	12 21.4	9 16.1	11 19.6	4 7.1	11 19.6	4 7.1	0 0.0	5 8.9
児童ホーム (N=60)	3 5.0	1 1.7	7 11.7	4 6.7	38 63.3	3 5.0	0 0.0	4 6.7
ファミリーサポートセンター (N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障害児福祉サービス (N=2)	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他（公民館、公園、総合センターなど） (N=27)	10 37.0	8 29.6	3 11.1	1 3.7	4 14.8	0 0.0	0 0.0	1 3.7

③児童ホームの利用希望時間（数量回答）

- 希望時間は、「17時まで」が最も高く（43.3%）、次いで「18時まで」（41.7%）となっています。

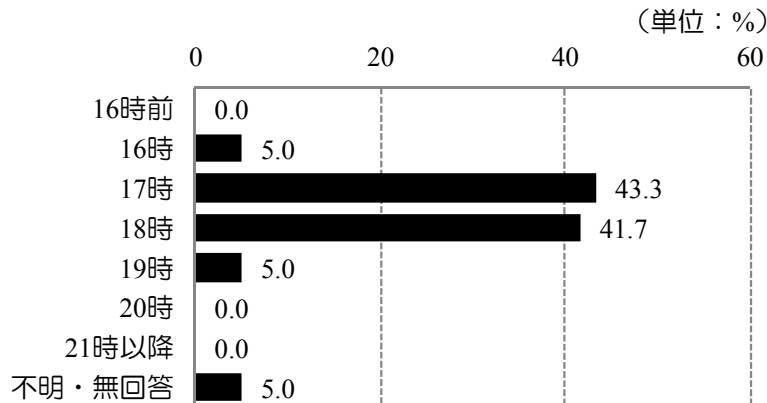


図 80 児童ホームの利用希望時間 (N=60)

問 2 9 小学校就学後における放課後の過ごし方（小学校 4～6 年生の間）

①放課後の過ごし方（複数回答）

- 放課後の過ごし方は、「習い事」が最も高く（61.8%）、次いで「自宅」（54.3%）、「こどもクラブ」（26.0%）となっています。

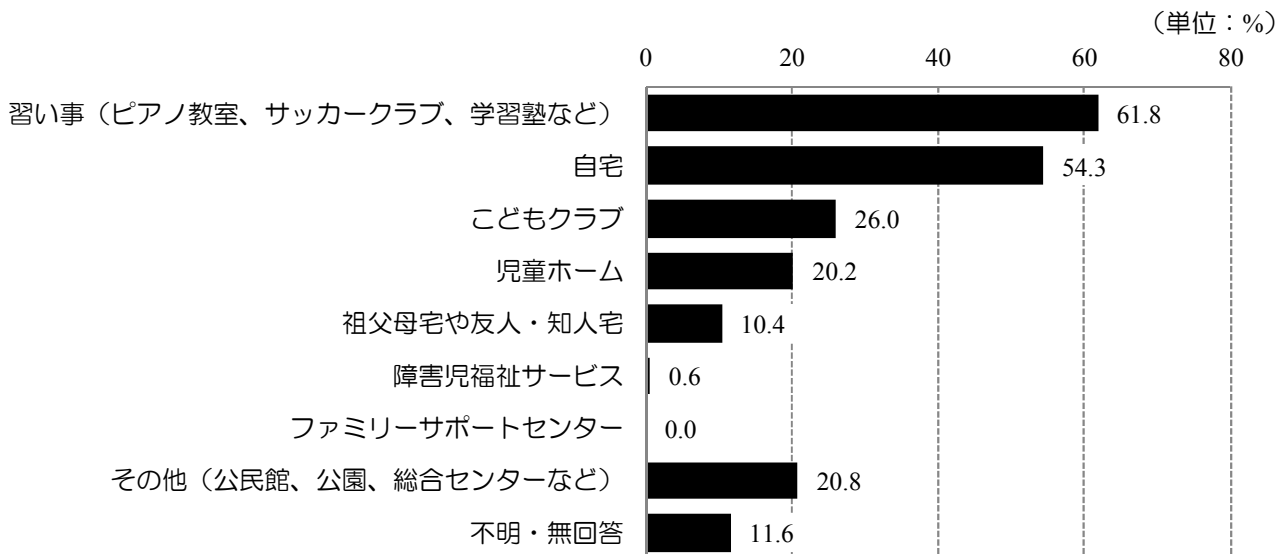


図 81 状況 (N=173)

②放課後の場所別日数/週（数量回答）

表 12 放課後の場所別日数/週（小学校4～6年生の間）

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・ 無回答
自宅 (N=94)	14 14.9	18 19.1	27 28.7	3 3.2	18 19.1	3 3.2	1 1.1	10 10.6
祖父母宅や友人・知人宅 (N=18)	11 61.1	2 11.1	1 5.6	0 0.0	3 16.7	0 0.0	0 0.0	1 5.6
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） (N=107)	12 11.2	57 53.3	24 22.4	8 7.5	4 3.7	0 0.0	0 0.0	2 1.9
こどもクラブ (N=45)	9 20.0	8 17.8	11 24.4	1 2.2	10 22.2	1 2.2	0 0.0	5 11.1
児童ホーム (N=35)	0 0.0	2 5.7	6 17.1	3 8.6	17 48.6	2 5.7	0 0.0	5 14.3
ファミリーサポートセンター (N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障害児福祉サービス (N=1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他（公民館、公園、総合センターなど） (N=36)	12 33.3	12 33.3	5 13.9	1 2.8	5 13.9	0 0.0	0 0.0	1 2.8

③児童ホームの利用希望時間（数量回答）

- 希望時間は、「18時まで」が最も高く（57.1%）、次いで「17時まで」（31.4%）となっています。

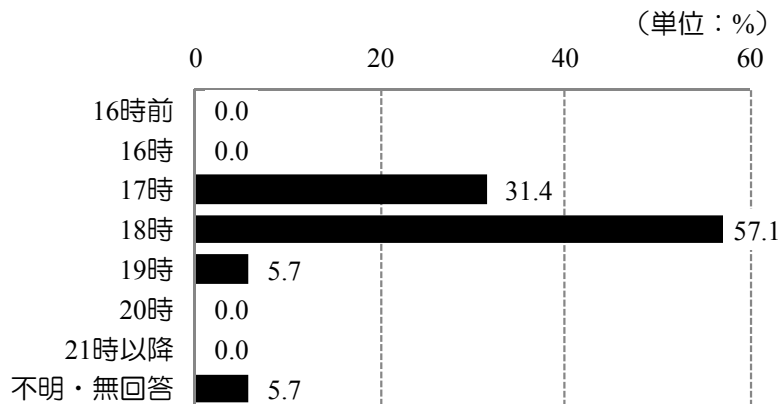


図 82 児童ホームの利用希望時間（N=35）

④児童ホームの利用希望学年（数量回答）

- 利用希望学年は、「6年生まで」が最も高くなっています（71.4%）。

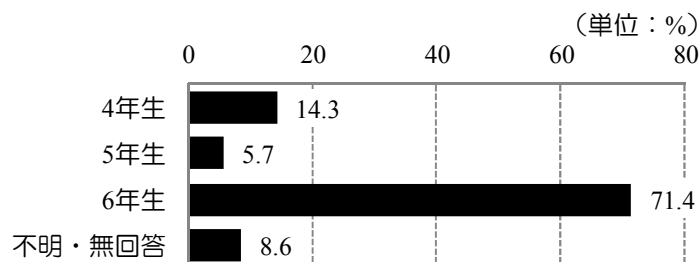


図 83 児童ホームの利用希望学年（N=35）

問30 土曜日、長期休暇中の児童ホームの利用希望

※ 問28、問29で「児童ホーム」を回答した方を集計

【土曜日】

①利用希望（単数回答）

- 土曜日の利用希望は、「低学年の間は利用したい」が最も高く（21.9%）、次いで「利用する必要はない」（20.3%）となっています。

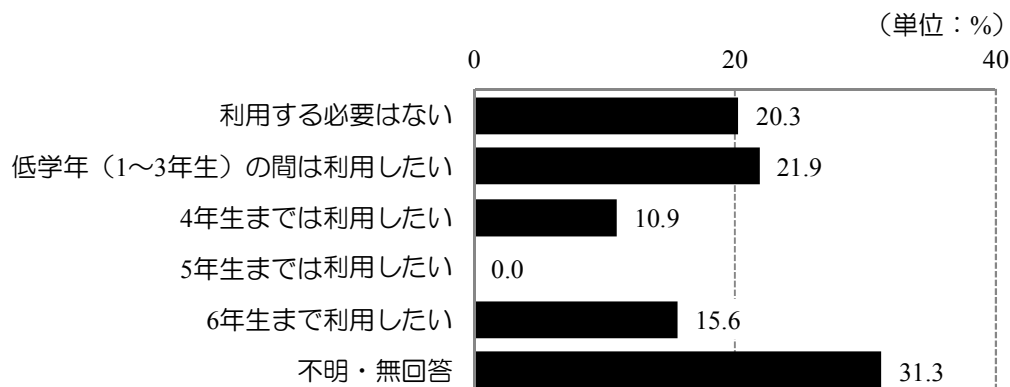


図 84 利用希望 土曜日 (N=64)

②利用希望時間帯（数量回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「9時」が最も高く（45.2%）、次いで「8時」（32.3%）となっています。
- 終了時間は、「18時」が最も高く（51.6%）、次いで「17時」（22.6%）となっています。

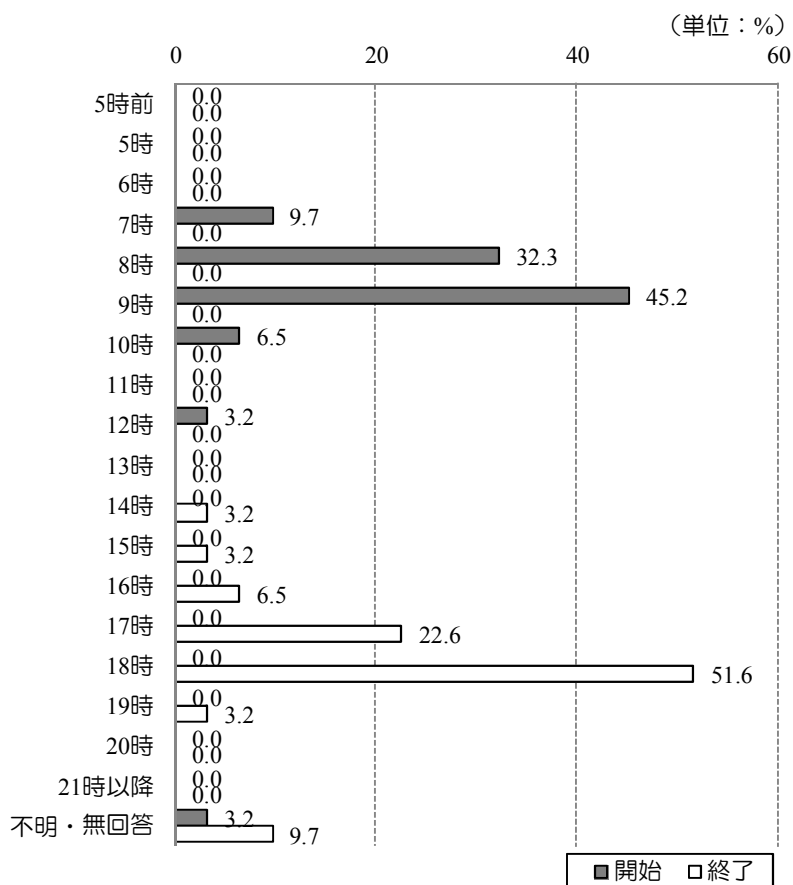


図 85 利用希望時間帯 土曜日 (N=31)

【長期休暇中】

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「低学年の間は利用したい」が最も高く（42.2%）、次いで「6年生まで利用したい」（31.3%）となっています。

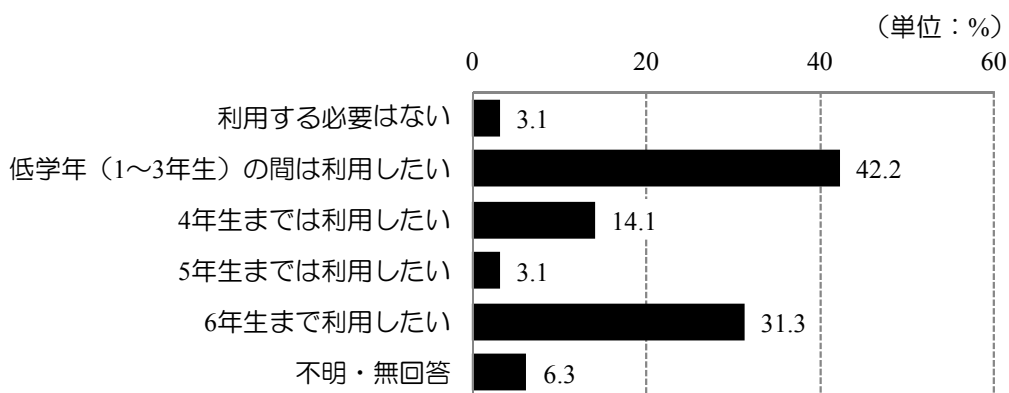


図 86 利用希望 長期休暇中（N=64）

②利用希望時間帯（数量回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「8時」が最も高く（46.6%）、次いで「9時」（37.9%）となっています。
- 終了時間は、「18時」が最も高く（44.8%）、次いで「17時」（36.2%）となっています。

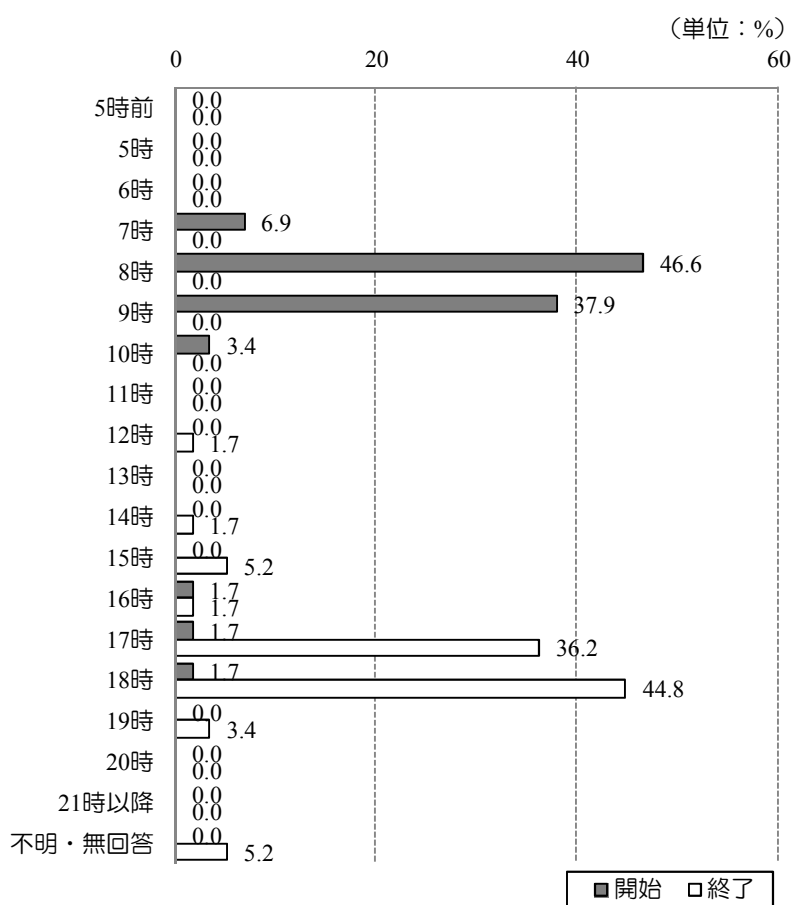


図 87 利用希望時間帯 長期休暇中（N=58）

10 母親の妊娠・出産等

問31 妊娠、出産後に母親がストレス等を感じ誰かに助けてほしいと思ったことがあったか（単数回答）

- 妊娠、出産後に母親がストレス等を感じ誰かに助けてほしいと思ったことがあったかは、「時々あった」が最も高く（42.8%）、次いで「よくあった」（21.4%）、「ほとんどなかった」（20.2%）となっています。

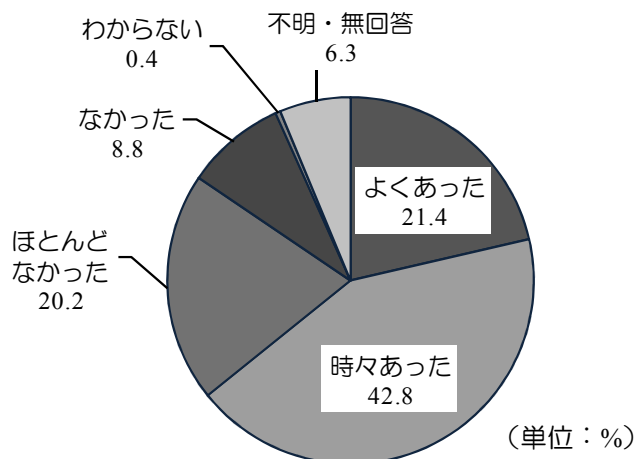


図 88 妊娠、出産後に母親がストレス等を感じ誰かに助けてほしいと思ったことがあったか(N=1,132)

問32 妊娠、出産後のサポートに必要なこと（複数回答）

- 妊娠、出産後のサポートに必要なことは、「赤ちゃんの育児相談」が最も高く（45.0%）、次いで「子育て中の人との交流」（36.1%）、「兄弟姉妹をみてるサポート」（35.3%）となっています。

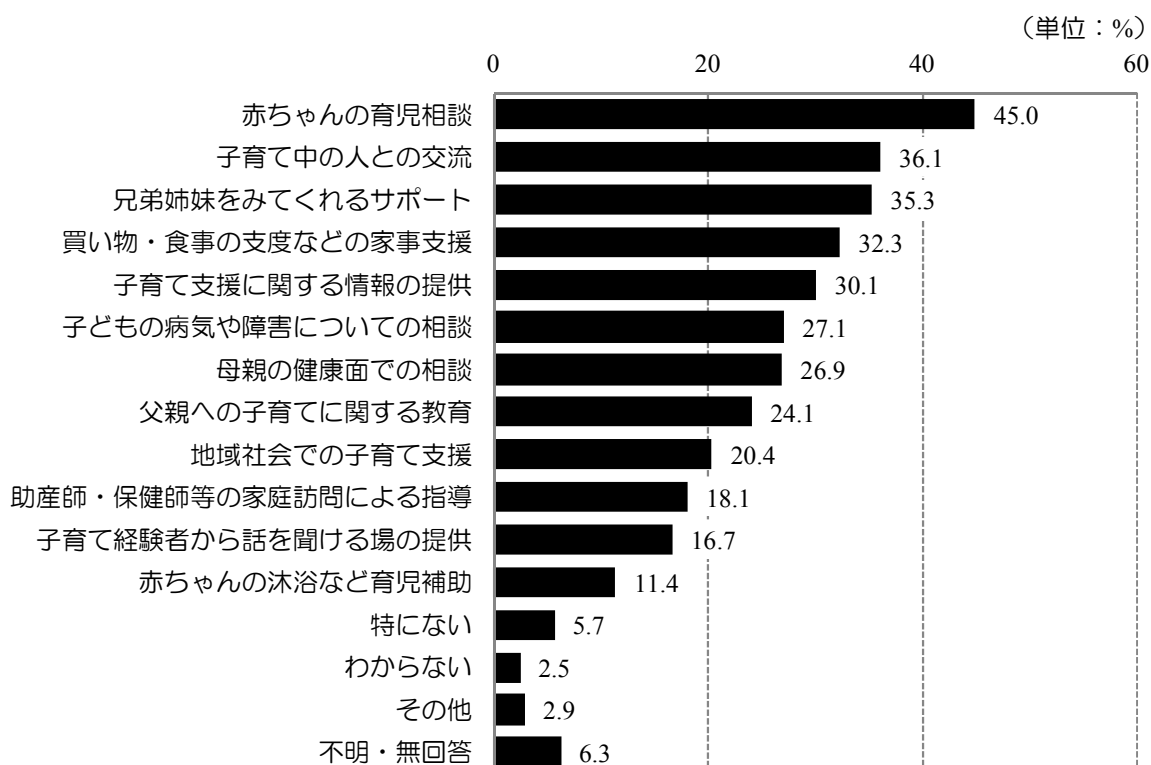


図 89 妊娠、出産後のサポートに必要なこと (N=1,132)

11 子育ての不安と悩み

問33 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になること（複数回答）

- 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になることは、「子どもの教育に関すること」が最も高く（38.1%）、次いで「子育てやしつけがうまくできていないという不安がある」（32.4%）、「自分の自由な時間が持てない」（30.9%）となっています。



図 90 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になること (N=1,132)

問34 子育てに関する悩みや不安がある場合の相談先（複数回答）

- 子育てに関する悩みや不安がある場合の相談先は、「配偶者（パートナー）」が最も高く（80.0%）、次いで「親族（親・兄弟姉妹など）」（72.4%）、「友人」（66.4%）となっています。

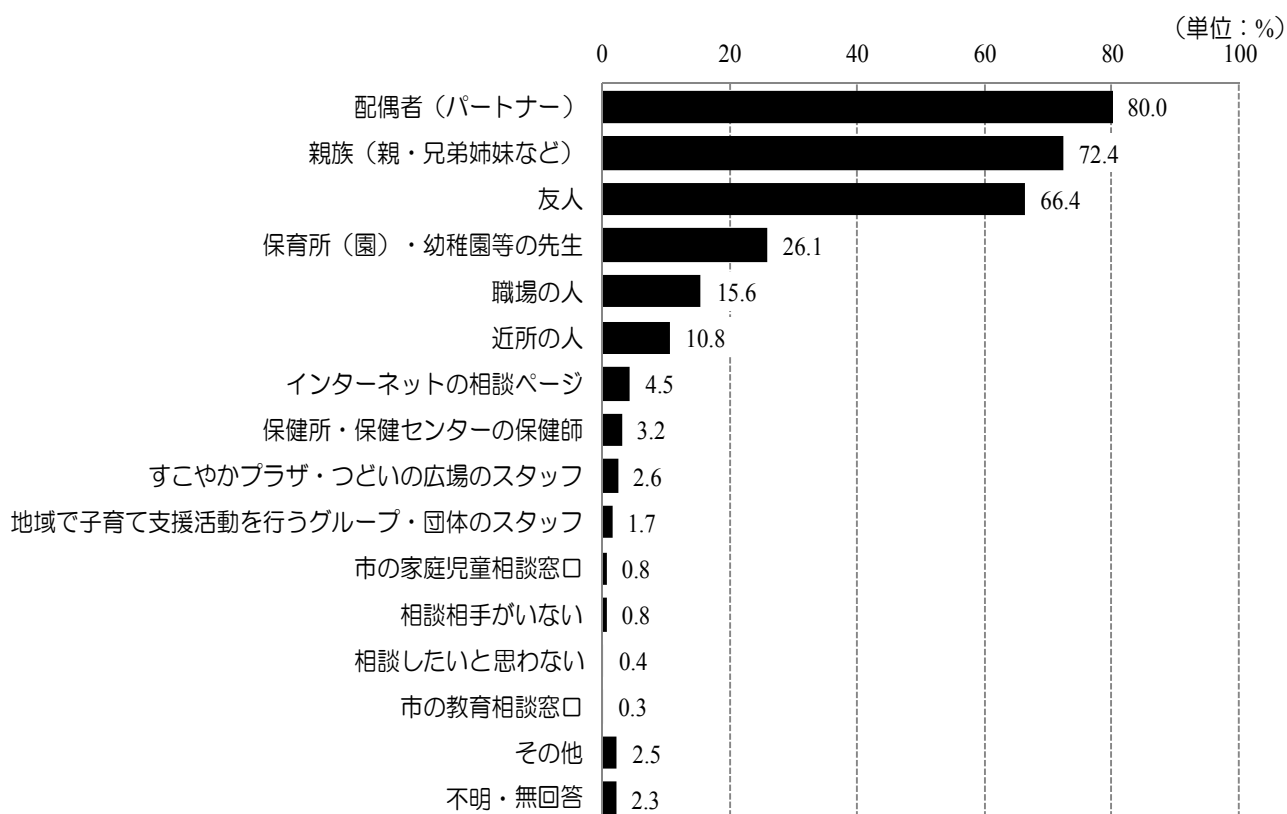


図 91 子育てに関する悩みや不安がある場合の相談先 (N=1,132)

問35 子どもの発達・発育で気になったきっかけ（複数回答）

※ 問33で「子どもの発達・発育に関すること」を回答した方を集計

- 子どもの発達・発育で気になったきっかけは、「他の子どもの発達をみて」が最も高く（61.1%）、次いで「1歳半、3歳児健診等の乳幼児健診」（20.1%）、「その他」（15.7%）となっています。

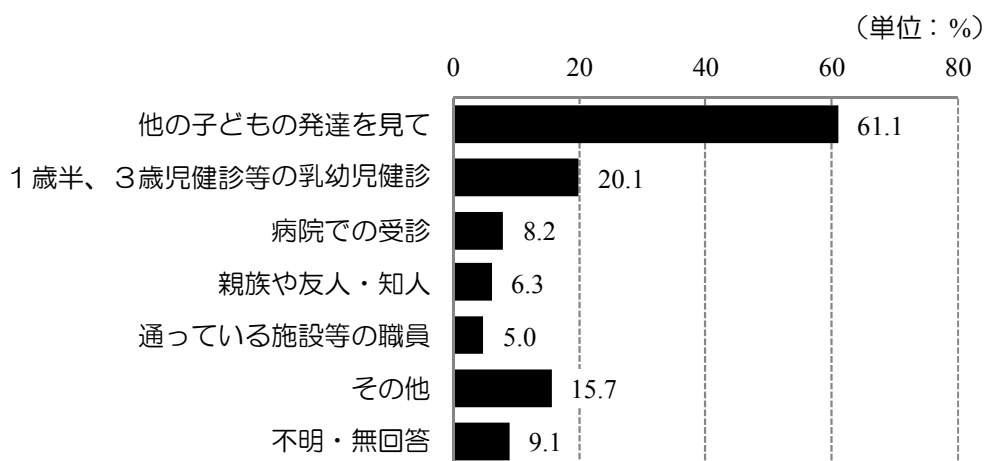


図 92 子どもの発達・発育で気になったきっかけ (N=319)

問 35-1 どのように感じたか（単数回答）

※ 問 33 で「子どもの発達・発育に関すること」を回答した方を集計

- どのように感じたかは、「しばらく様子を見ようと思った」が最も高く（63.0%）、次いで「かかりつけ医や専門の病院を受診しようと思った」（11.6%）、「どうしてよいかわからなかった」（10.0%）となっています。

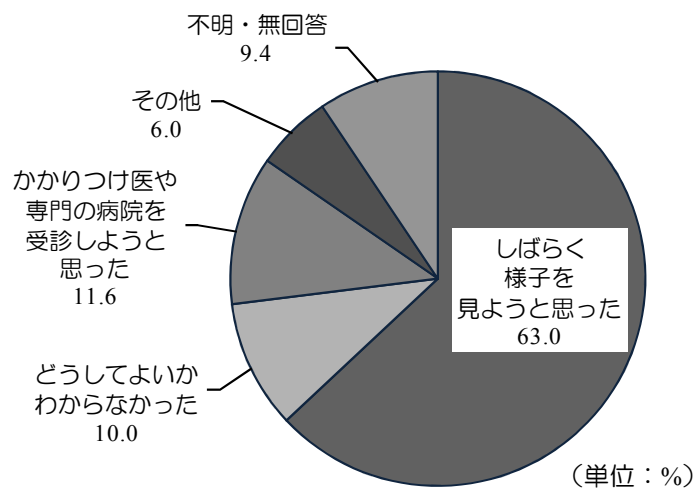


図 93 どのように感じたか (N=319)

12 子育てに関する情報・サービス・支援体制

問36 子育てに関する情報の充足度（単数回答）

- 子育てに関する情報の充足度は、「どちらかといえば十分だと思う」が最も高く（43.5%）、次いで「どちらかといえば不足している」（39.3%）となっています。

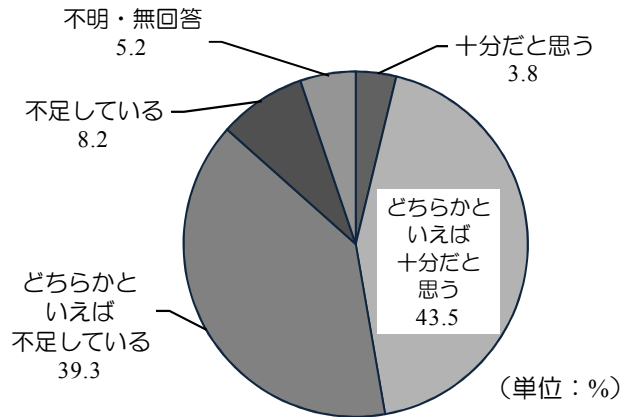


図 94 子育てに関する情報の充足度 (N=1,132)

問 36-1 どのような情報が不足しているか（複数回答）

※ 問 36 で「どちらかといえば不足している、不足している」を回答した方を集計

- 不足していると思う情報は、「子どもの遊び場について」が最も高く（50.4%）、次いで「市が行う子育て支援の事業内容について」（45.5%）、「子どもを預けられる施設やサービスについて」（42.4%）となっています。

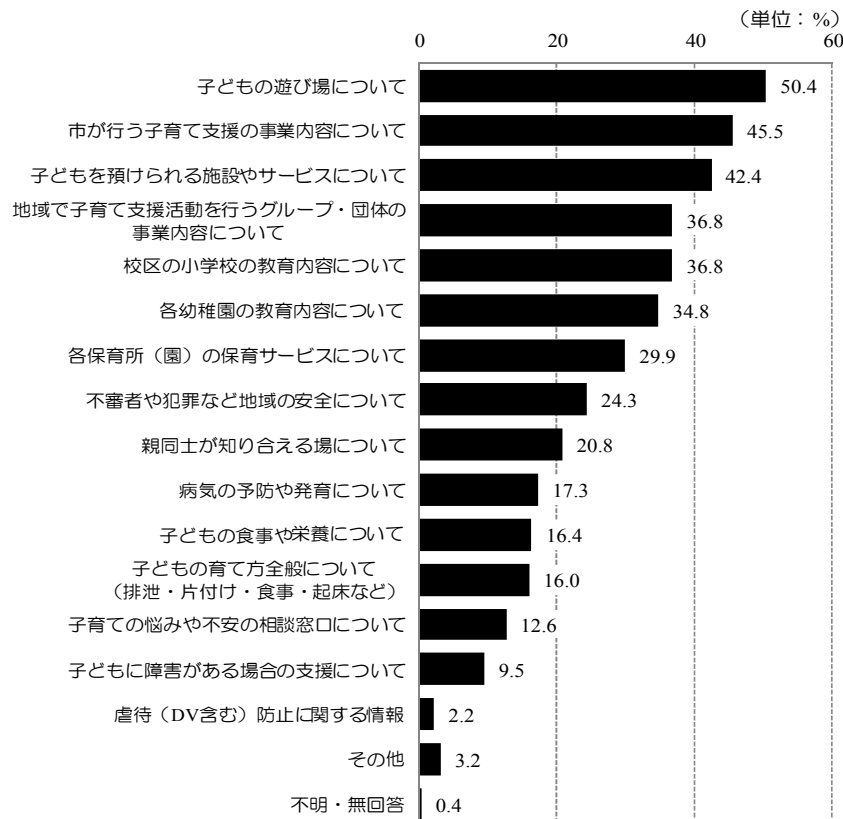


図 95 不足していると思う情報 (N=538)

問37 尼崎市からの情報をどこから（誰から）入手したいか（複数回答）

- 尼崎市からの情報入手先は、「市報あまがさき」が最も高く（84.0%）、次いで「保育所（園）・幼稚園の掲示板」（29.6%）、「保育所（園）・幼稚園の先生」（24.8%）となっています。

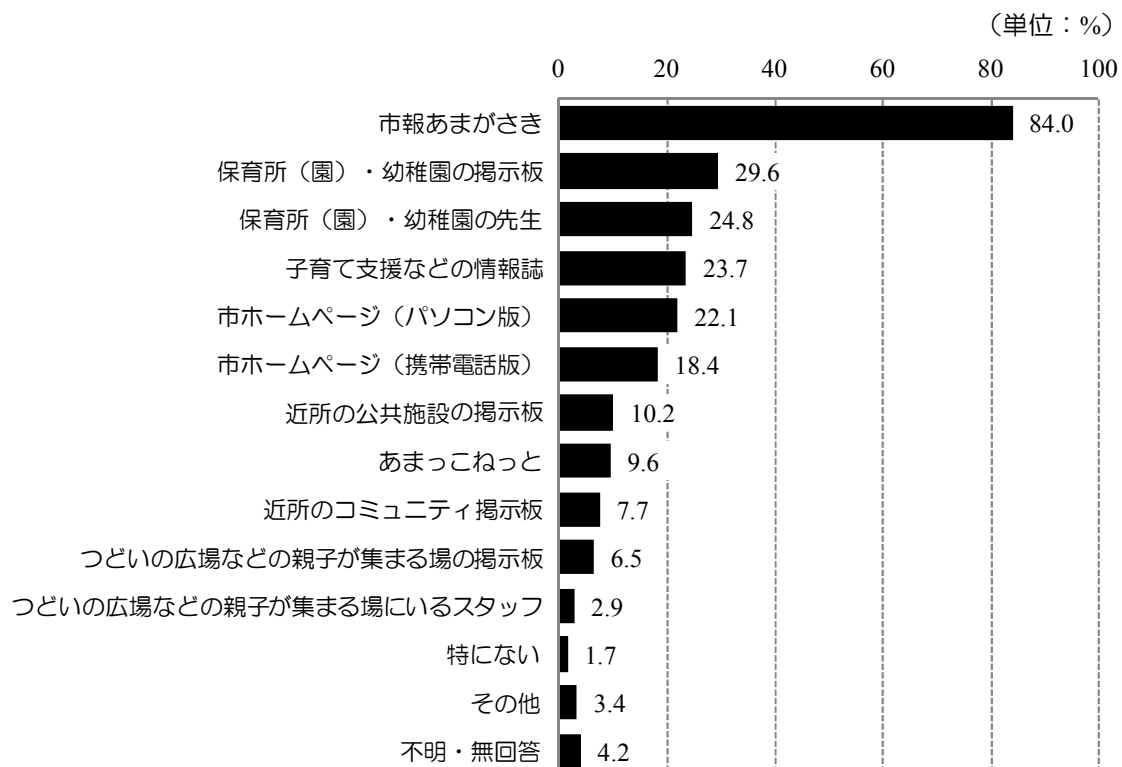


図 96 尼崎市の情報入手先（N=1,132）

13 施策全般

問38 子育て支援サービス・事業の認知度・利用経験・今後の利用意向（単数回答）

①認知度

- 認知度は、「妊婦健康診査費用の一部助成」が最も高く（89.2%）、次いで「公立保育所の子育て相談・園庭開放など」（78.9%）、「子育てサークル」（70.1%）となっています。

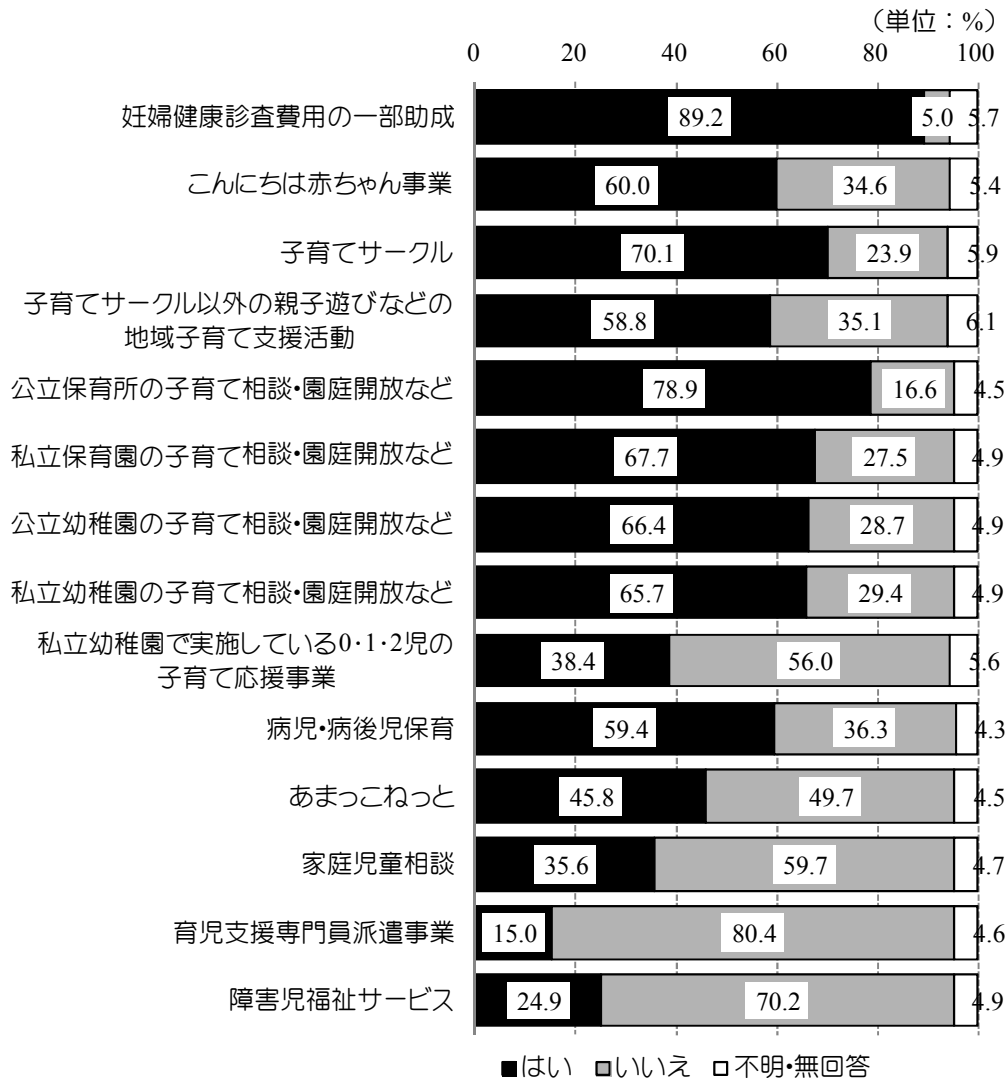


図 97 子育て支援サービス・事業の認知度（N=1,132）

②利用経験

- 利用経験は、「妊婦健康診査費用の一部助成」が最も高く（84.6%）、次いで「こんにちは赤ちゃん事業」（46.1%）、「公立保育所の子育て相談・園庭開放など」（30.6%）となっています。

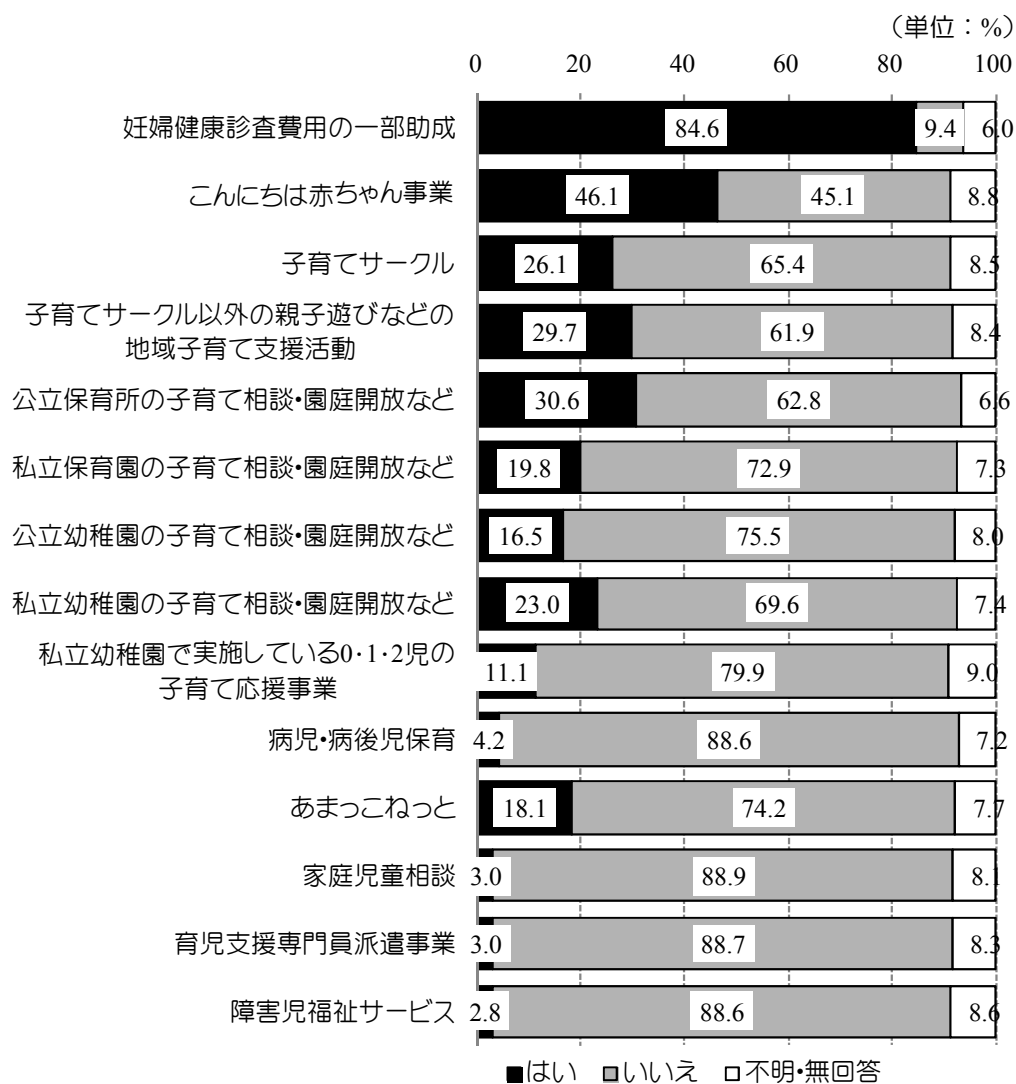


図 98 子育て支援サービス・事業の利用経験 (N=1,132)

③今後の利用意向

- 今後利用したい子育て支援サービス・事業は、「妊婦健康診査費用の一部助成」が最も高く（72.2%）、次いで「私立幼稚園の子育て相談・園庭開放など」（41.6%）、「こんにちは赤ちゃん事業」（39.0%）となっています。

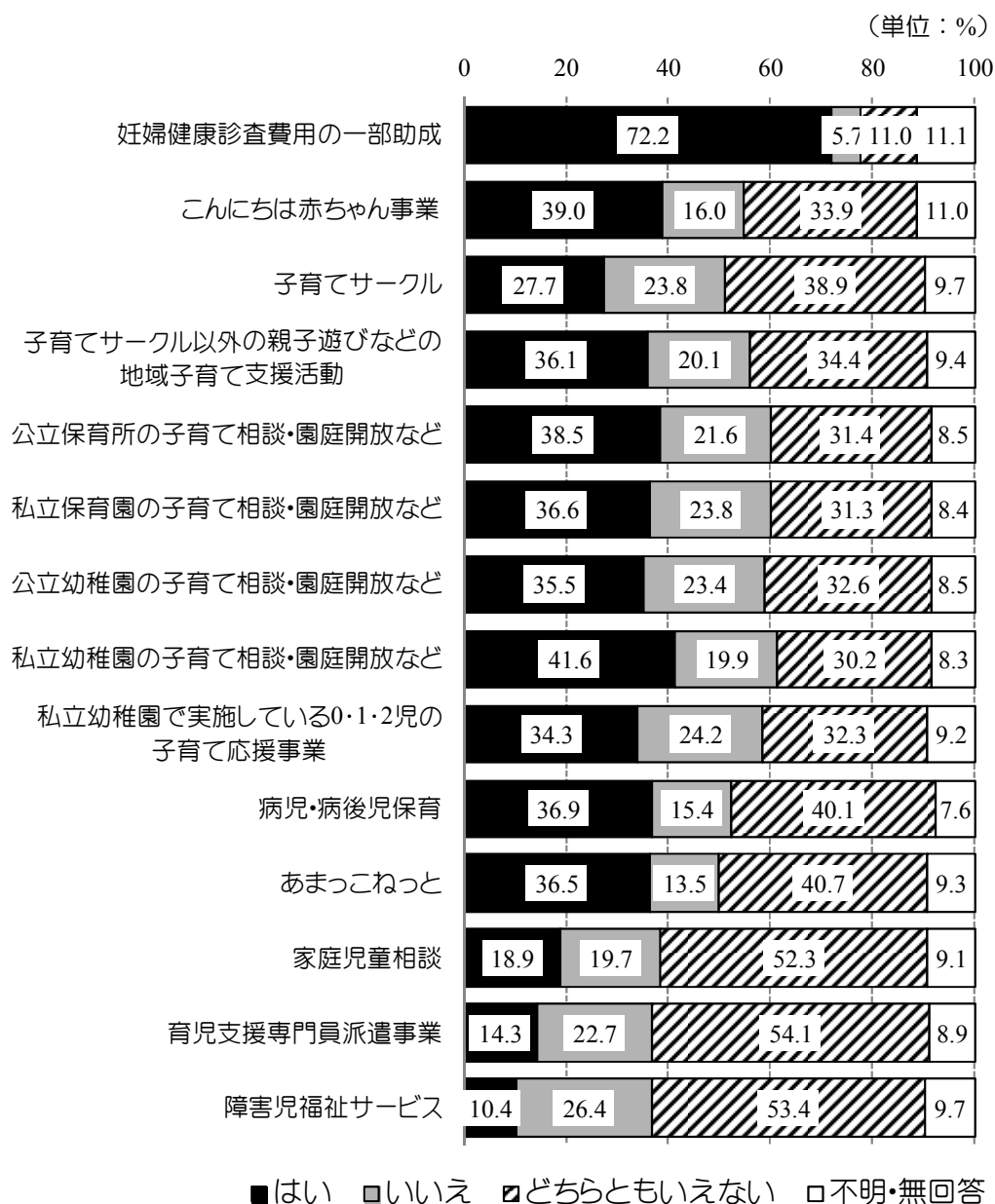


図 99 子育て支援サービス・事業の今後の利用意向 (N=1,132)

問39 問38以外で知っている事業（自由記述）

- 13件の回答があり、次の取組が挙げられています。【「①親と子のグループワーク」「②関西国際大学子育て支援センター「チャッピー」」「③保育ルーム」「④NPO 法人子育て支援クラブ」「⑤WAC ゆずり葉(NPO)」「⑥保健センターでの赤ちゃんテレホン相談」「⑦保健センターでの育児交流会」「⑧ぷくぷく」「⑨尼崎スポーツ振興支援」「⑩なかよしくラブ」「⑪わくわく幼稚園（未就園児対象）」「⑫市の体育館での体操」「⑬グループワーク 世代間交流】

問40 尼崎市の子ども・子育て施策でさらに充実させてほしいもの（複数回答）

- 尼崎市の子ども・子育て施策でさらに充実させてほしいものは、「公園などの子どもの遊び場の整備」が最も高く（57.6%）、次いで「一時的に子どもを預けられる保育サービスの充実」（40.9%）、「保育所（園）・児童ホームの待機児童対策」（37.6%）となっています。

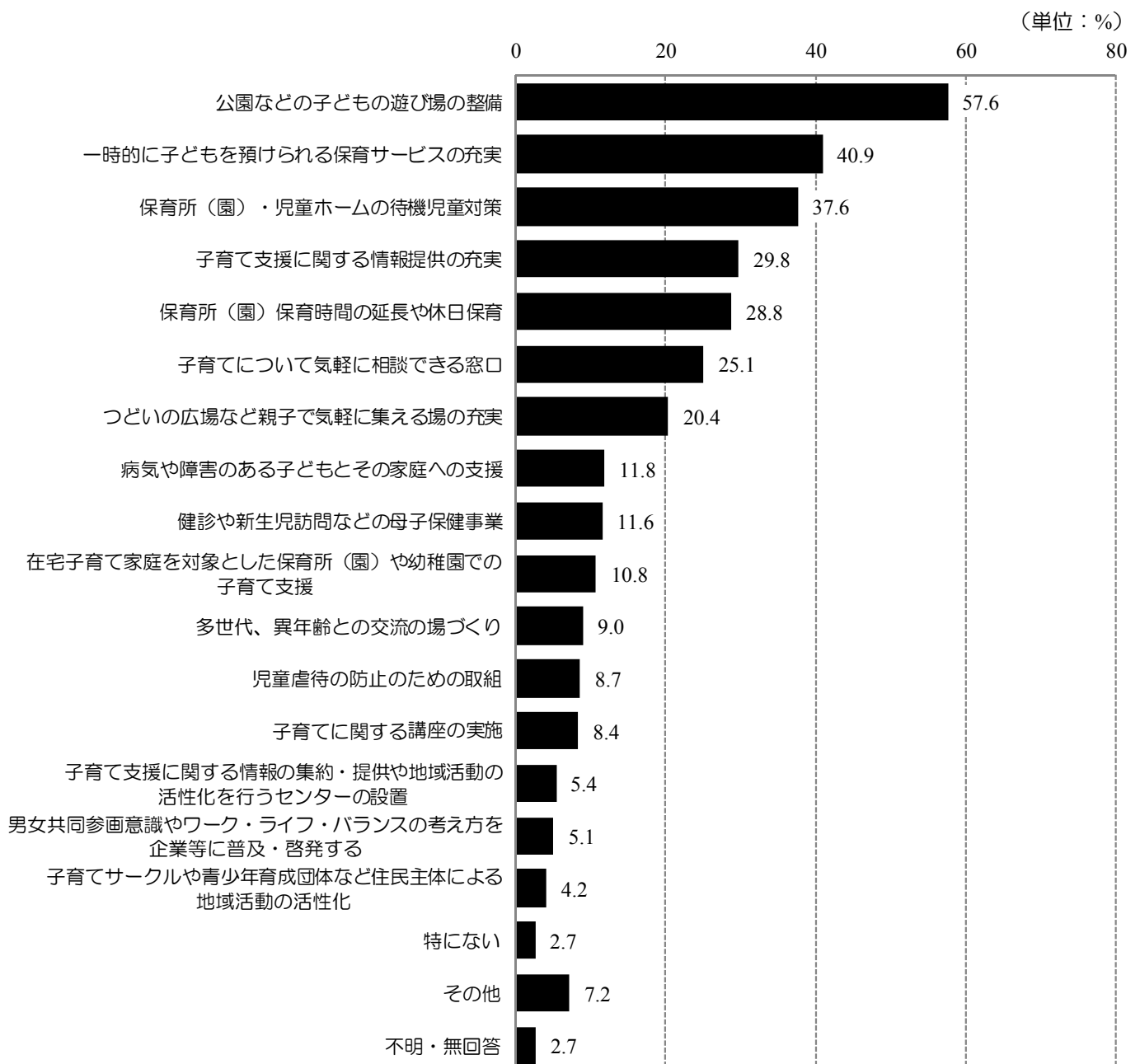


図 100 尼崎市の子ども・子育て施策でさらに充実させてほしいもの（N=1,132）

14 その他

問41 子育てしながら働き続けるのに必要なこと（複数回答）

- 子育てしながら働き続けるのに必要なことは、「職場の理解と協力体制」が最も高く（54.0%）、次いで「保育サービスの受け入れ枠の拡大」（48.2%）、「保育サービスの保育時間の拡大」（34.2%）となっています。

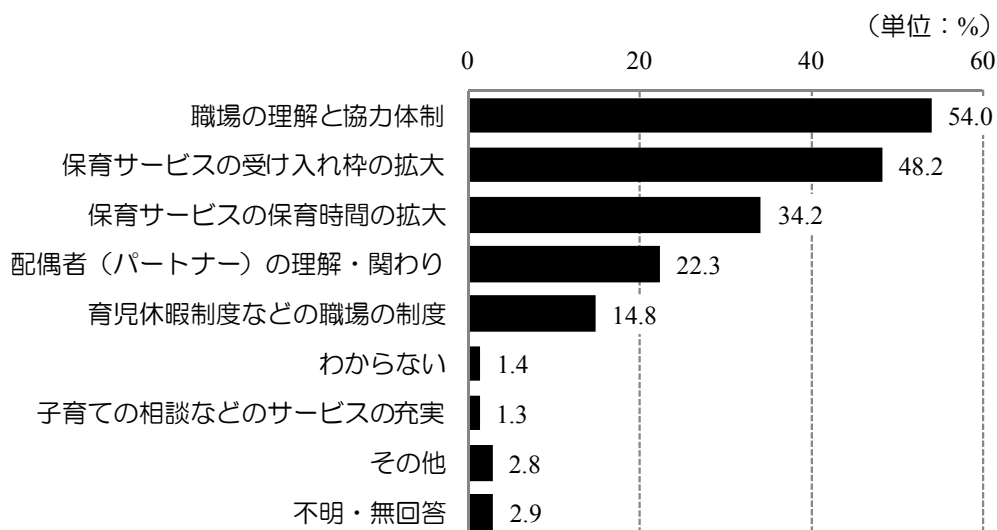


図 101 子育てしながら働き続けるのに必要なこと (N=1,132)

問42 子どもが就学した後の住まいの場所について（単数回答）

- 子どもが就学した後の住まいの場所については、「住み続けたい」が最も高くなっています（53.7%）。

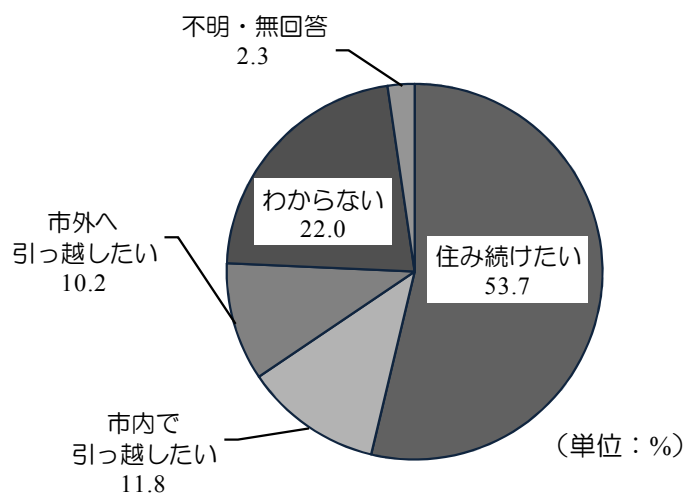


図 102 子どもが就学後の住まいの場所について (N=1,132)

問 42-1 問 42 の理由

①住み続けたい理由（自由記述）

※ 問 42 で「住み続けたい」を回答した方の意見をカテゴリー化して集計。有効回答数(N=608)の78.3%にあたる476件の回答があり、言及している分野について集計をしている。複数分野に渡る回答は、該当分野すべてについてそれぞれ集計している。

- 住み続けたい理由は、「持ち家だから」が最も多く 180 件 (29.6%)、次いで「今の住宅に満足しているから」62 件(10.2%)、「自然や空気などの環境面がよいから」49 件(8.1%)となっています。

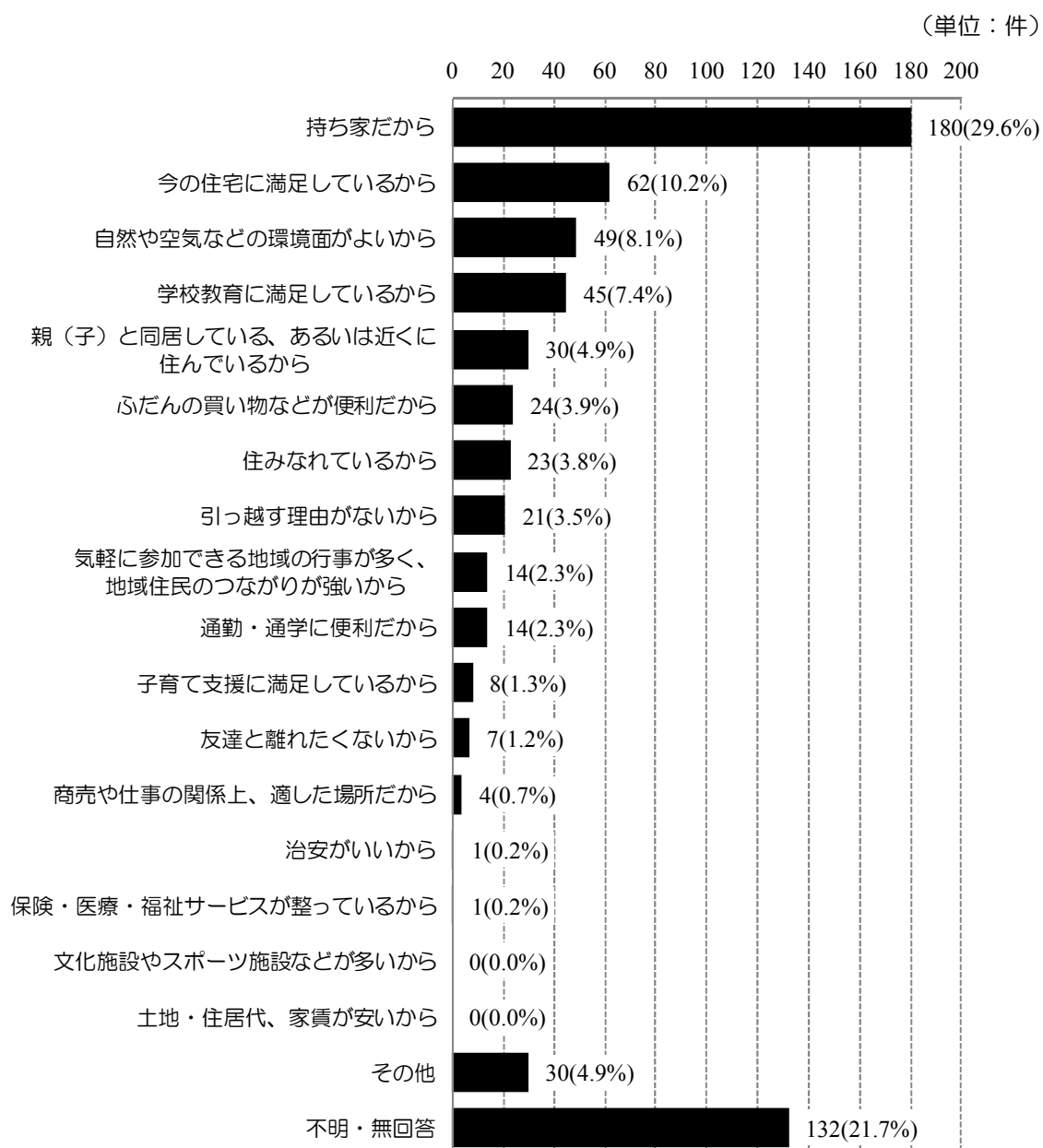


図 103 住み続けたい理由 (N=608)

②引っ越したい理由（自由記述）

※ 問 42 で「市内で引っ越したい」「市外へ引っ越したい」を回答した方の意見をカテゴリー化して集計。有効回答数（N=249）の 84.3%にあたる 210 件の回答があり、言及している分野について集計をしている。複数分野に渡る回答は、該当分野すべてについてそれぞれ集計している。

- 引っ越したい理由は、「今の住宅に不満があるから」が最も多く 71 件（28.5%）、次いで「学校教育に不満があるから」55 件（22.1%）、「いずれ親（子）と同居するから」17 件（6.8%）となっています。

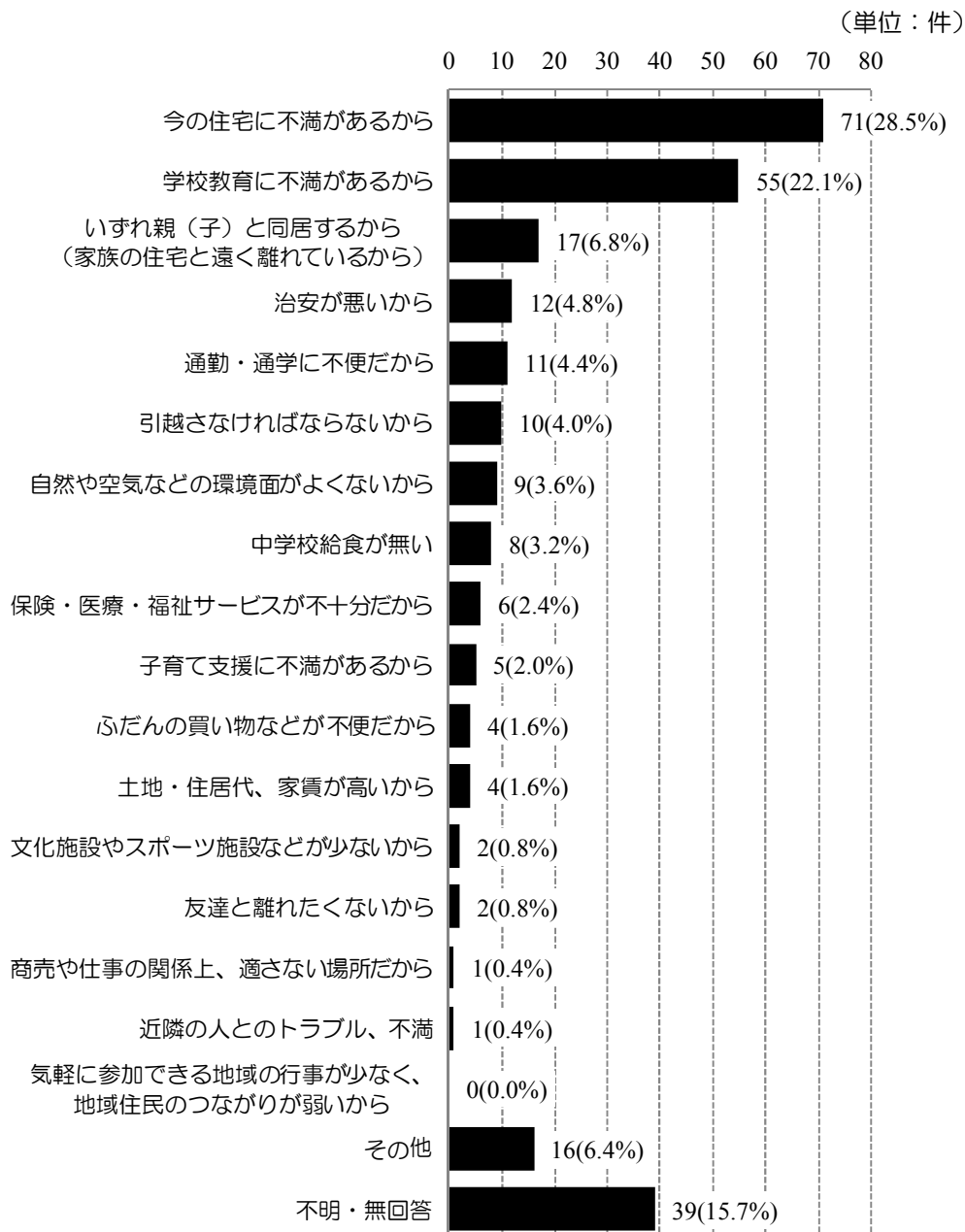


図 104 引っ越したい理由（N=249）

問4 3 住む場所を選ぶ際に重視すること（複数回答）

- 住む場所を選ぶ際に重視することは、「家賃や住宅の販売価格」が最も高く（50.4%）、次いで「住居の広さ」（38.7%）、「小・中・高の教育環境」（32.1%）となっています。

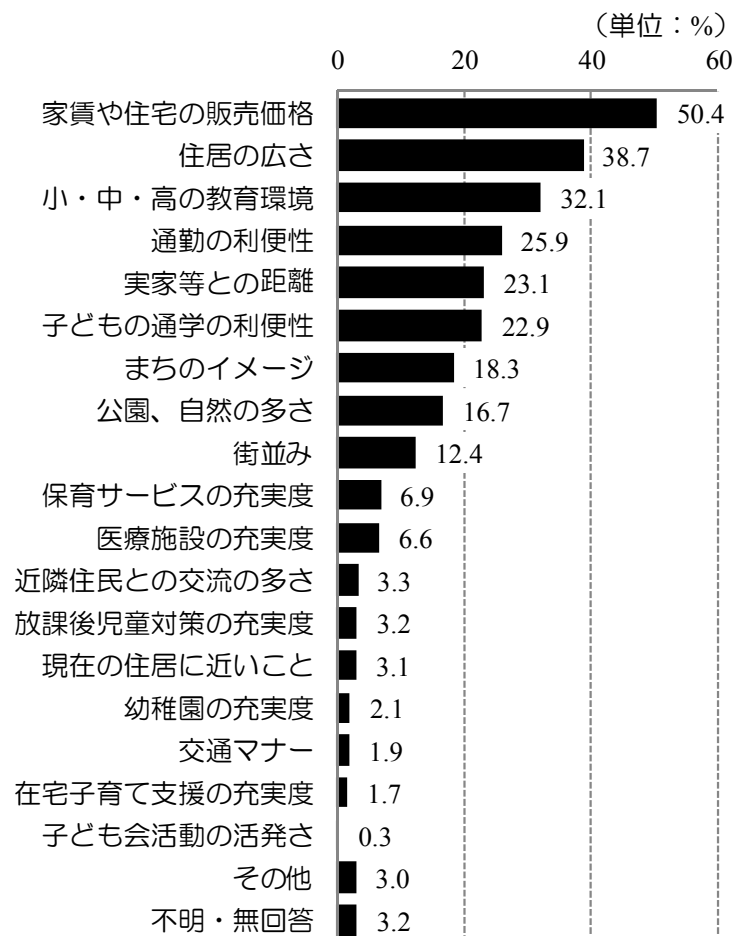


図 105 住む場所を選ぶ際に重視すること（N=1,132）

III 小学生保護者対象調査結果

1 回答者の属性

問1 調査票記入者（単数回答）

- 調査票記入者は、「母親」が最も高くなっています（90.9%）。

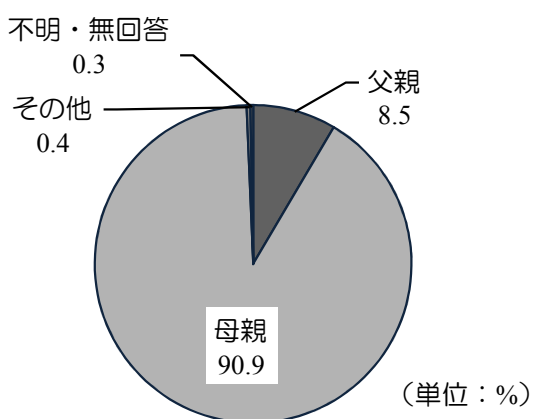


図 106 調査票記入者 (N=1,082)

問2 調査票記入者の配偶者の有無（単数回答）

- 調査票記入者の配偶者の有無は、91.9%の方が「配偶者がいる」と回答しています。

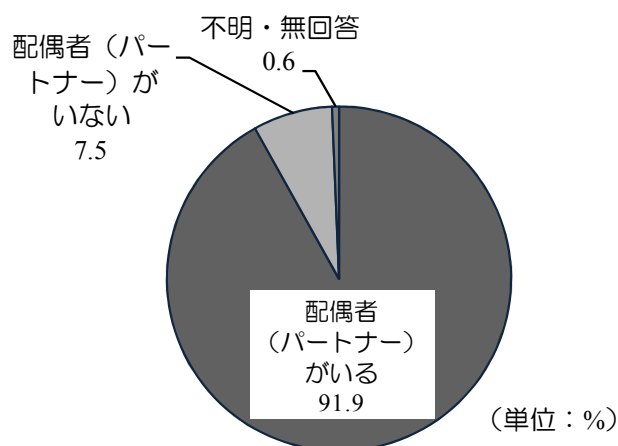


図 107 調査票記入者の配偶者の有無 (N=1,082)

2 家族の状況

問3 対象の子どもの学年（数量回答）

- 子どもの学年は、「3年生」が最も高く（20.3%）、次いで「2年生」（17.9%）、「6年生」（15.7%）となっています。

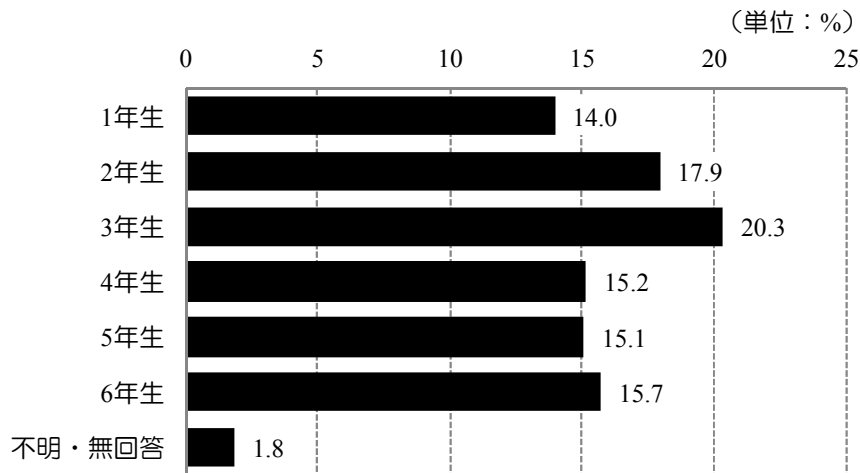


図 108 子どもの学年 (N=1,082)

問4 子どもの人数及び末子の年齢（数量回答）

- 子どもの人数は、「2人」が最も高くなっています（45.7%）。
- 2人以上の場合、末子の年齢は、「8歳(H16.10~H17.9)」が最も高くなっています（14.9%）。

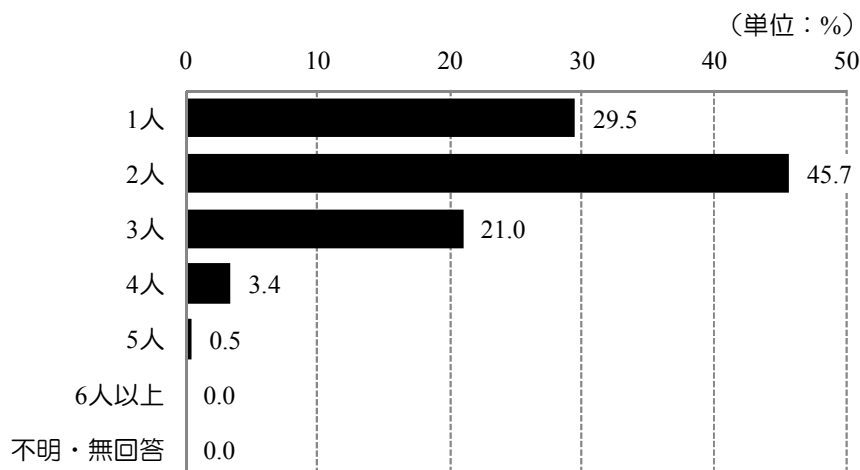


図 109 子どもの人数 (N=1,082)

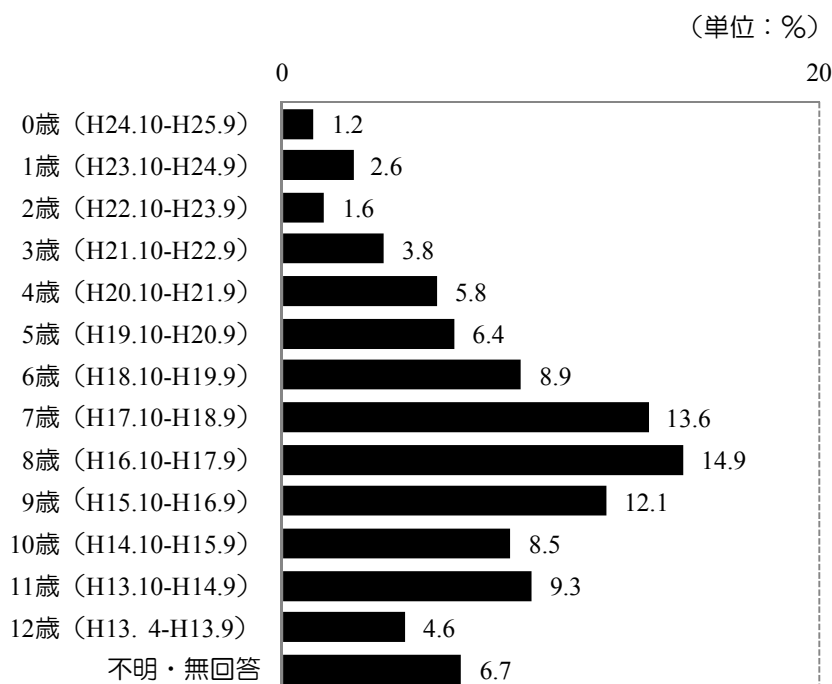


図 110 末子の年齢 (N=763)

問5 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人（単数回答）

- 子どもの子育て（教育含む）を主に行っている人は、「父母ともに」が最も高くなっています。(52.1%)。

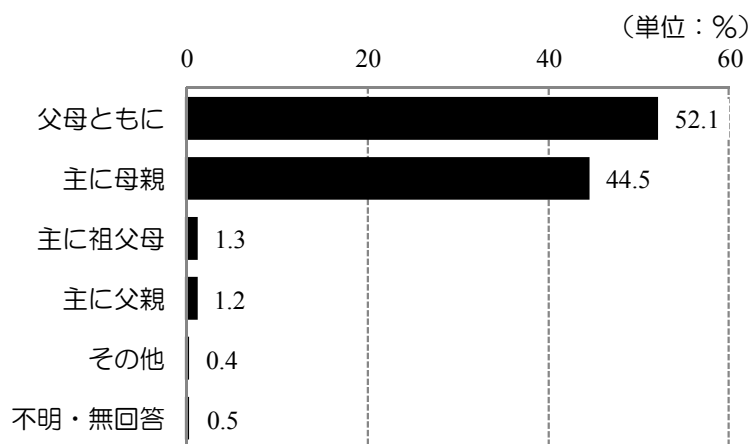


図 111 子どもの子育てを主に行っている人 (N=1,082)

問6 子どもが通っている学校の種別（単数回答）

- 子どもが通っている学校の種別は、「市内の公立」が最も高くなっています（97.1%）。

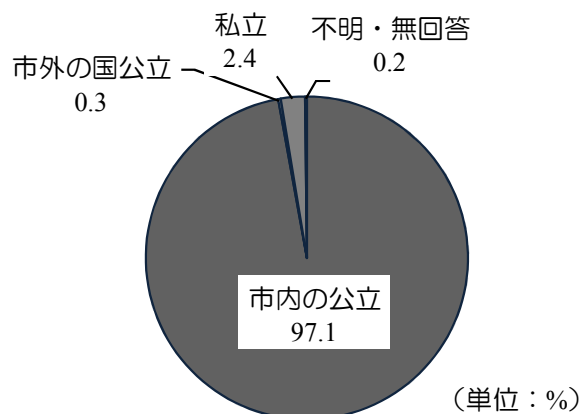


図 112 子どもが通っている学校の種別 (N=1,082)

問7 子どもが就学前に通っていた施設（単数回答）

- 子どもが就学前に通っていた施設は、「私立幼稚園（認定こども園含む）」が最も高く（50.7%）、次いで「私立保育園」（18.0%）、「公立幼稚園」（16.0%）となっています。

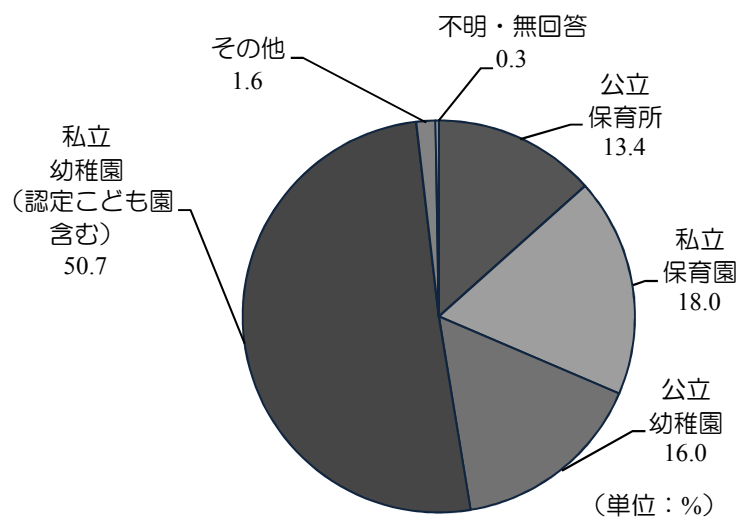


図 113 子どもが就学前に通っていた施設 (N=1,082)

3 居住地域等

問8 居住地区（単数回答）

- 居住地区は、「立花地区」が最も高く（22.1%）、次いで「園田地区」（22.0%）、「武庫地区」（17.7%）となっています。

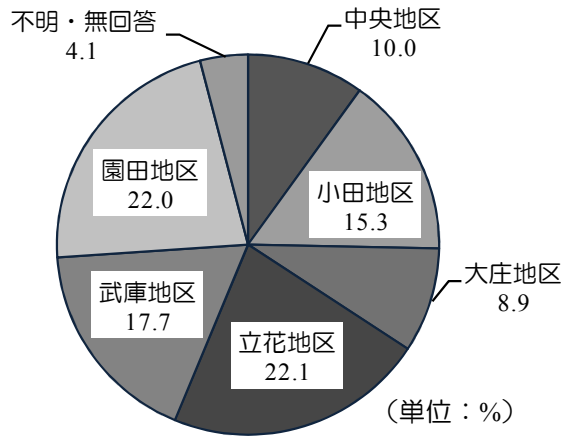


図 114 居住地区 (N=1,082)

問9 居住年数（単数回答）

- 居住年数は、「20年以上」が最も高く（31.5%）、次いで「10年以上15年未満」（30.7%）、「5年以上10年未満」（18.5%）となっています。

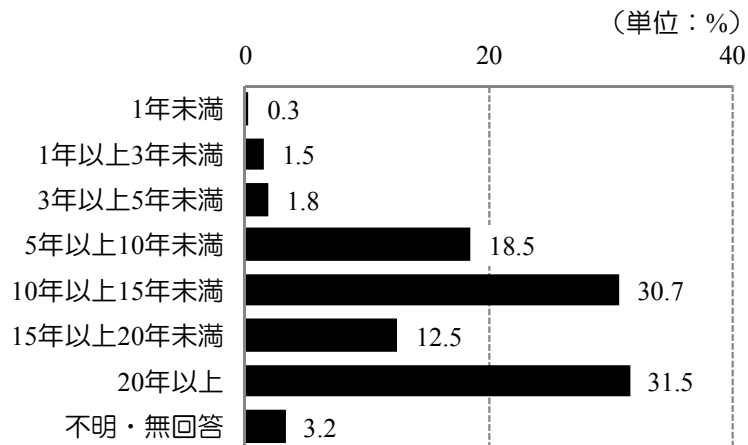


図 115 居住年数 (N=1,082)

問10 住宅の所有形態（単数回答）

- 住宅の所有形態は、「持ち家」が最も高くなっています（75.9%）。

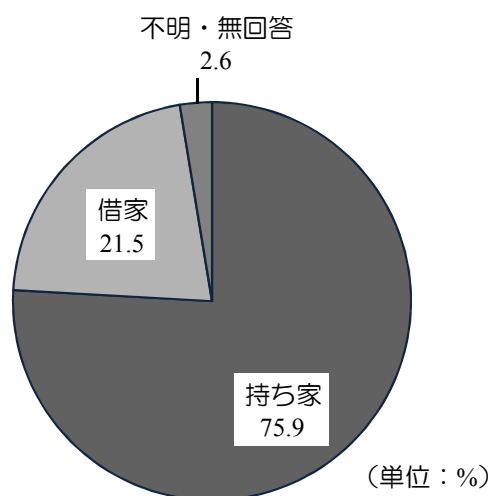


図 116 住宅の所有形態 (N=1,082)

問11 緊急時・用事の際に、子どもをみてくれる人の有無（複数回答）

- 緊急時等に、子どもをみてくれる人の有無は、「祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高くなっています（75.0%）。

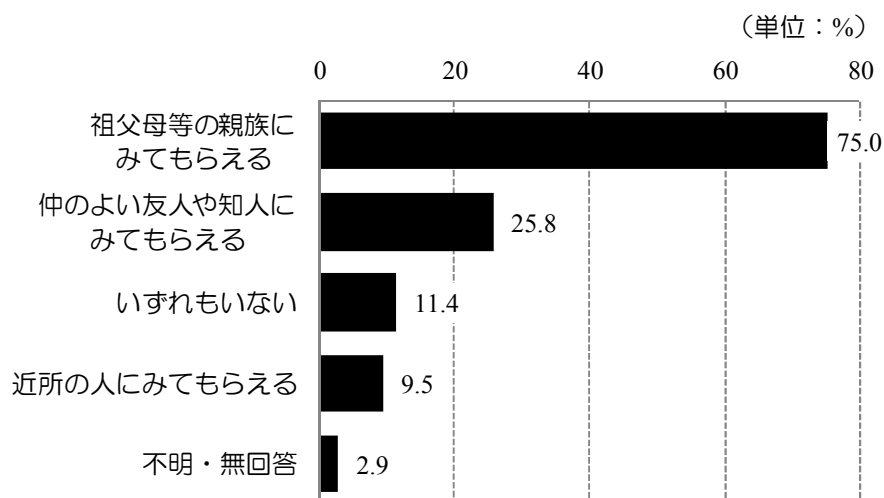


図 117 子どもをみてくれる人の有無 (N=1,082)

4 保護者の就労状況

問12 母親・父親の就労状況（単数回答）

- 母親の就労状況は、「フルタイム以外で就労中」が最も高くなっています（29.0%）
- 父親の就労状況は、「フルタイムで就労中」が最も高くなっています（88.9%）。

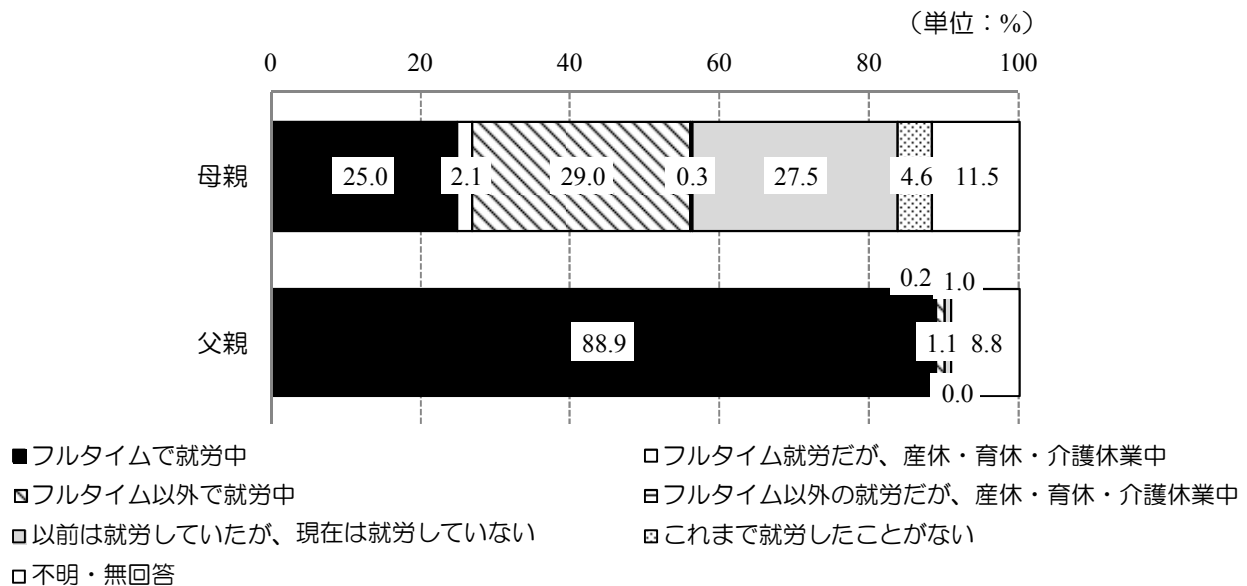


図 118 就労状況[母親 (N=1,055)、父親 (N=1,006)]

問12-1 勤務地と通勤時間

※ 問12で「フルタイムで就労中」「フルタイム就労だが産休・育休・介護休業中」「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計

①勤務地（単数回答）

- 母親の勤務地は、約7割（69.9%）が「尼崎市内」となっています。
- 父親の勤務地は、過6割（62.2%）が「尼崎市外」となっています。

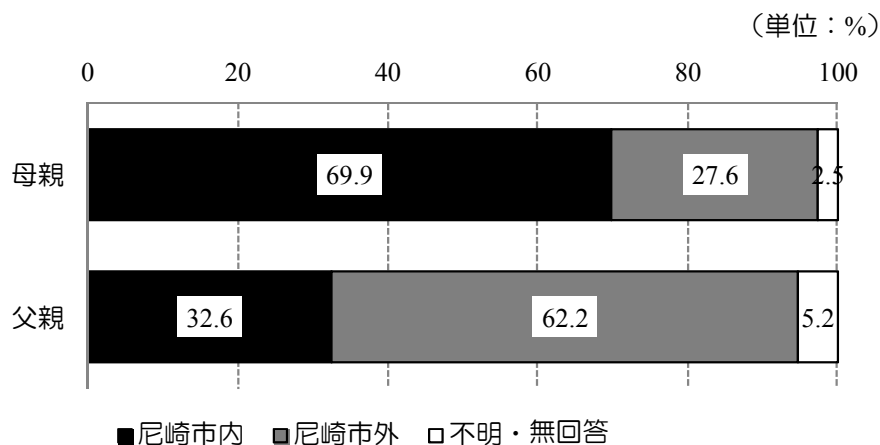


図 119 勤務地[母親 (N=595)、父親 (N=907)]

回答者全体のうち、父親の回答は8.5%で、かつ約9割がフルタイム就労であり、フルタイム以外の就労の回答数は極めて少ないため、問12-1及び問12-2の就労形態別の分析は、母親に限ってしています。

表 13 母親の就労形態別勤務地

上段：回答数 下段：%	尼崎市内	尼崎市外	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=264)	157 59.5	105 39.8	2 0.8
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=22)	15 68.2	6 27.3	1 4.5
フルタイム以外で就労中 (N=306)	241 78.8	53 17.3	12 3.9
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=3)	3 100.0	0 0.0	0 0.0

②市外勤務地（自由記述）

- 母親の市外勤務地は、「大阪市」が最も高く（49.4%）、次いで「西宮市」（17.1%）、「伊丹市」（11.6%）となっています。
- 父親の市外勤務地は、「大阪市」が最も高く（45.7%）、次いで「神戸市」（8.3%）、「西宮市」（7.6%）となっています。

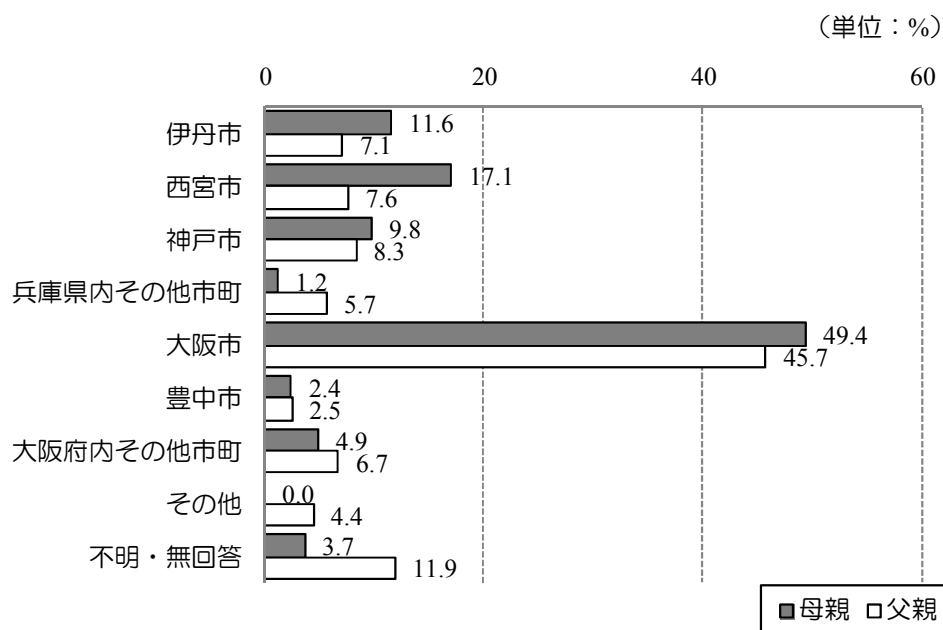


図 120 市外の勤務地[母親 (N=164)、父親 (N=564)]

③通勤（片道）時間（数量回答）

- 母親の通勤（片道）時間は、「15分未満」が最も高く（33.1%）、次いで「15分以上30分未満」（29.9%）、「30分以上45分未満」（18.2%）となっています。
- 父親の通勤（片道）時間は、「30分以上45分未満」が最も高く（30.5%）、次いで「1時間以上1時間30分未満」（19.1%）、「15分以上30分未満」（16.0%）となっています。

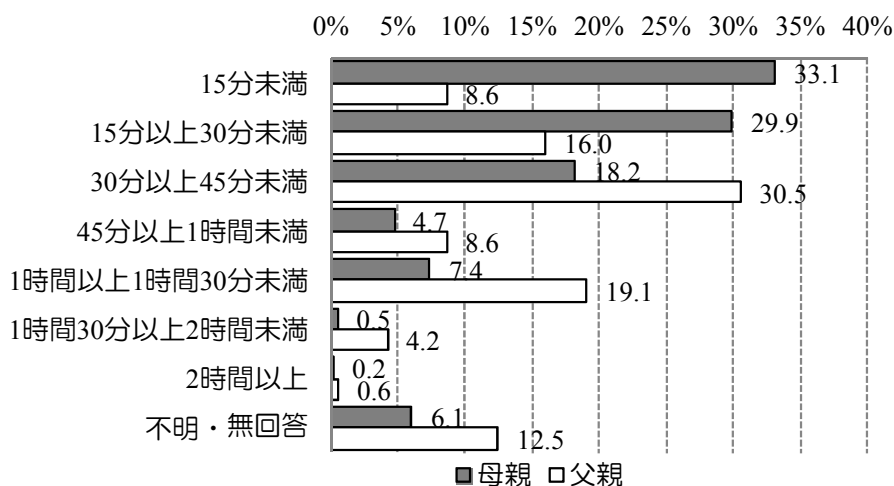


図 121 通勤時間[母親 (N=595)、父親 (N=907)]

表 14 母親の就労形態別通勤時間

上段：回答数 下段：%	15分未満	15分以上30分未満	30分以上45分未満	45分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上2時間未満	2時間以上	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=264)	54 20.5	72 27.3	62 23.5	21 8.0	38 14.4	2 0.8	0 0.0	15 5.7
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=22)	5 22.7	10 45.5	4 18.2	0 0.0	2 9.1	0 0.0	0 0.0	1 4.5
フルタイム以外で就労中 (N=306)	138 45.1	93 30.4	42 13.7	7 2.3	4 1.3	1 0.3	1 0.3	20 6.5
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=3)	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 12-2 就労日数/週、土曜・日曜就労の有無、就労時間/日、出宅時間

※ 問 12 で「フルタイムで就労中」「フルタイム就労だが産休・育休・介護休業中」「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計

① 就労日数/週（数量回答）

- 母親の 1 週当たりの就労日数は、「5 日」が最も高く（59.2%）、次いで「4 日」（16.8%）、「3 日」（9.6%）となっています。
- 父親の 1 週当たりの就労日数は、「5 日」が最も高く（58.4%）、次いで「6 日」（34.7%）、「7 日」（2.0%）となっています。

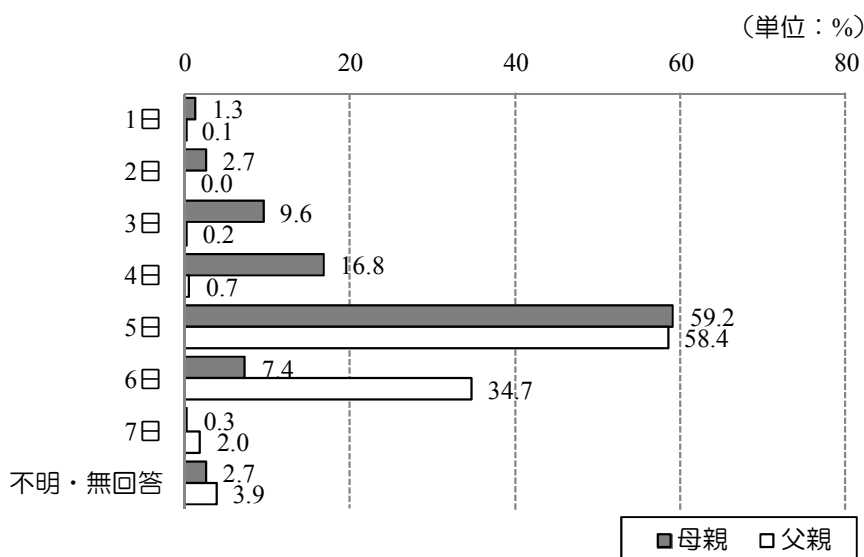


図 122 就労日数/週 [母親 (N=595)、父親 (N=907)]

表 15 母親の就労形態別就労日数/週

上段：回答数 下段：%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・ 無回答
フルタイムで就労中 (N=264)	0 0.0	0 0.0	1 0.4	4 1.5	219 83.0	36 13.6	2 0.8	2 0.8
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=22)	2 9.1	0 0.0	3 13.6	4 18.2	11 50.0	1 4.5	0 0.0	1 4.5
フルタイム以外で就労中 (N=306)	6 2.0	15 4.9	53 17.3	92 30.1	120 39.2	7 2.3	0 0.0	13 4.2
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=3)	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

②土曜・日曜就労の有無（複数回答）

- 母親の土曜・日曜就労は、「土曜日」（37.8%）、「日曜日」（17.6%）となっています。
- 父親の土曜・日曜就労は、「土曜日」（53.0%）、「日曜日」（23.4%）となっています。

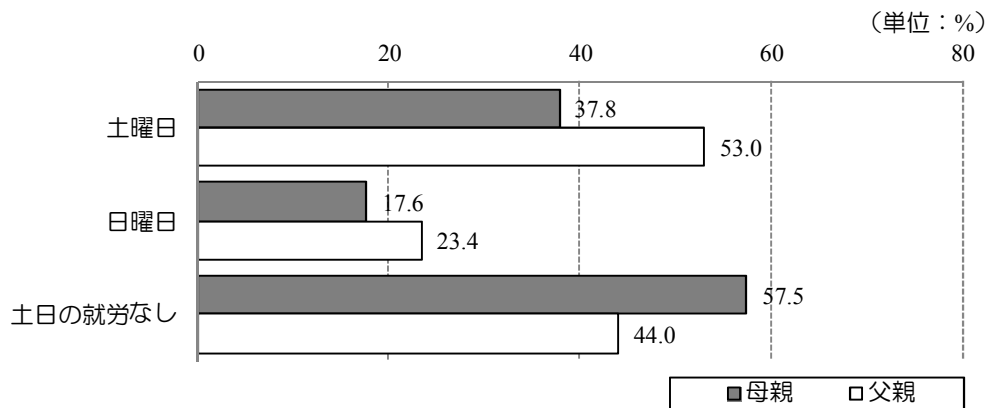


図 123 土曜・日曜就労の有無[母親 (N=595)、父親 (N=907)]

表 16 母親の就労形態別土曜・日曜就労の有無

上段：回答数 下段：%	土曜日	日曜日	土日の 就労なし
フルタイムで就労中 (N=264)	115 43.6	47 17.8	140 53.0
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=22)	12 54.5	5 22.7	10 45.5
フルタイム以外で就労中 (N=306)	98 32.0	53 17.3	189 61.8
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中 (N=3)	0 0.0	0 0.0	3 100.0

③就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日当たりの就労時間は、「8時間以上」が最も高く（37.0%）、次いで「4時間」（16.8%）、「5時間」（15.5%）となっています。
- 父親の1日当たりの就労時間は、「8時間以上」が最も高くなっています（89.9%）。

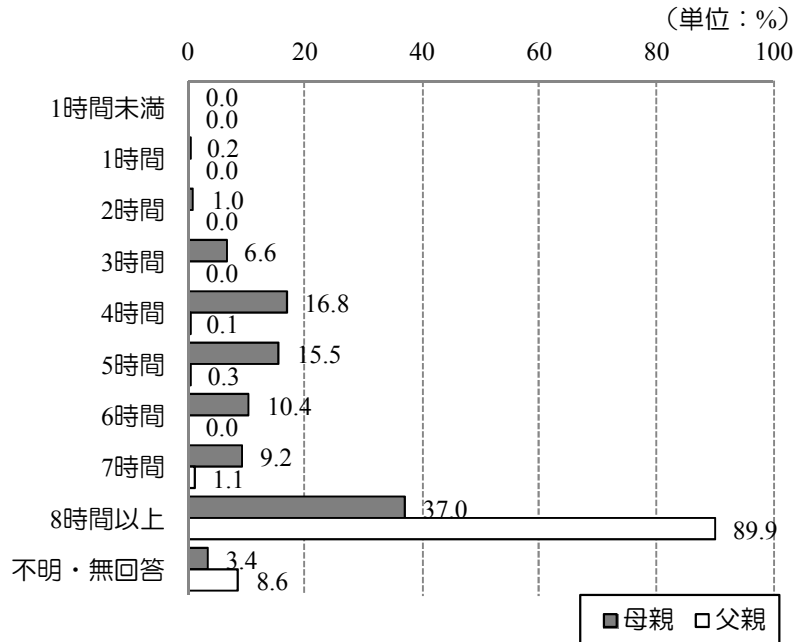


図 124 就労時間/日 [母親 (N=595)、父親 (N=907)]

表 17 母親の就労形態別就労時間/日

上段：回答数 下段：%	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=264)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	6 2.3	12 4.5	35 13.3	207 78.4	2 0.8
フルタイム就労だが、産 休・育休・介護休業中(N=22)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 27.3	5 22.7	3 13.6	1 4.5	1 4.5	4 18.2	2 9.1
フルタイム以外で就労中 (N=306)	0 0.0	1 0.3	5 1.6	32 10.5	93 30.4	83 27.1	48 15.7	19 6.2	9 2.9	16 5.2
フルタイム以外の就労だが、産 休・育休・介護休業中(N=3)	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

④出宅時間（数量回答）

- 母親の出宅時間は、「8時」が最も高く（48.9%）、次いで「7時」（20.5%）となっています。
- 父親の出宅時間は、「7時」が最も高く（43.9%）、次いで「7時前」（23.2%）となっています。

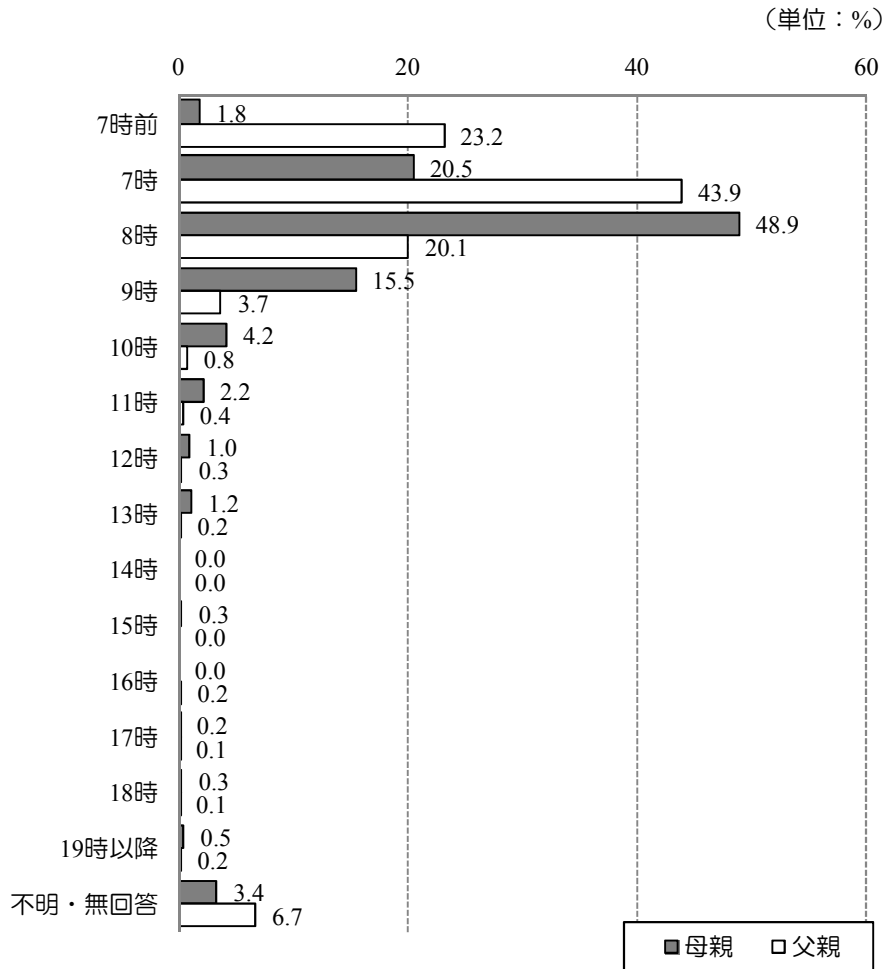


図 125 出宅時間[母親 (N=595)、父親 (N=907)]

表 18 母親の就労形態別出宅時間

上段：回答数 下段：％	7時前	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時以降	不明・無回答
フルタイムで就労中 (N=264)	6 2.3	94 35.6	133 50.4	19 7.2	5 1.9	3 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	3 1.1
フルタイム就労だが、産休・育休・介護休業中(N=22)	0 0.0	4 18.2	12 54.5	3 13.6	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1
フルタイム以外で就労中 (N=306)	5 1.6	24 7.8	146 47.7	68 22.2	18 5.9	10 3.3	6 2.0	7 2.3	0 0.0	2 0.7	0 0.0	1 0.3	1 0.3	3 1.0	15 4.9
フルタイム以外の就労だが、産休・育休・介護休業中(N=3)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 12-3 フルタイム就労への転換希望等（単数回答）

※ 問 12 で「フルタイム以外で就労中」「フルタイム以外の就労だが産休・育休・介護休業中」と回答した方を集計

- 母親のフルタイム就労への転換希望は、「フルタイム以外での就労を続けることを希望」が最も高くなっています（63.4%）。
- 父親のフルタイム就労への転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みなし」が最も高くなっています（36.4%）。

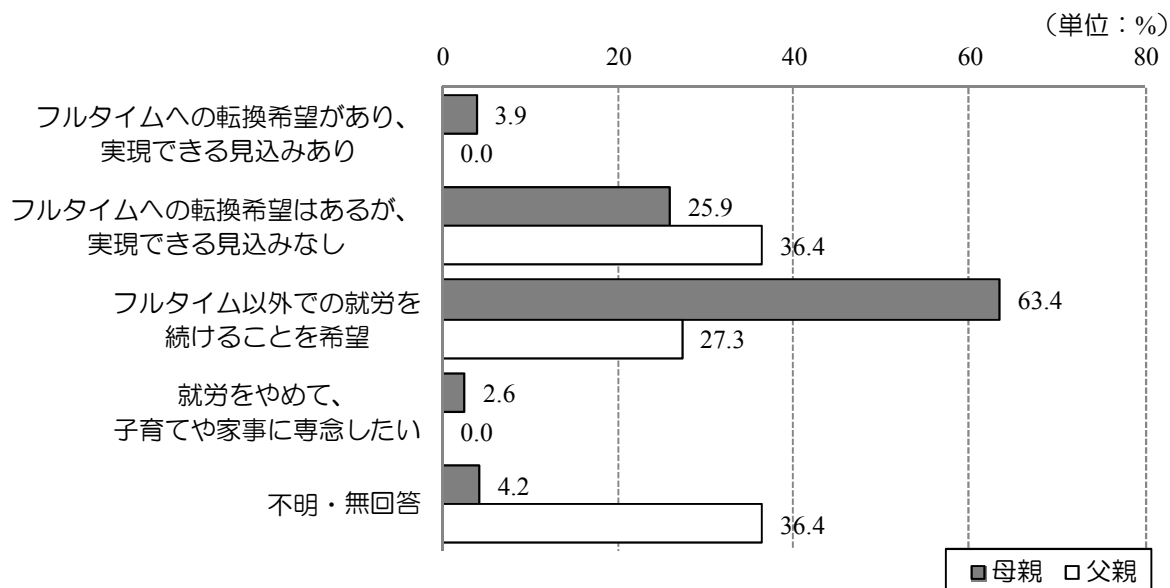


図 126 フルタイム就労への転換希望[母親 (N=309)、父親 (N=11)]

問 13 母親・父親の就労についての希望（単数回答）

※ 問 12 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した方を集計

- 母親の就労希望は、「就労の予定はない」が最も高くなっています（38.6%）。
- 父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も高くなっています（70.0%）。

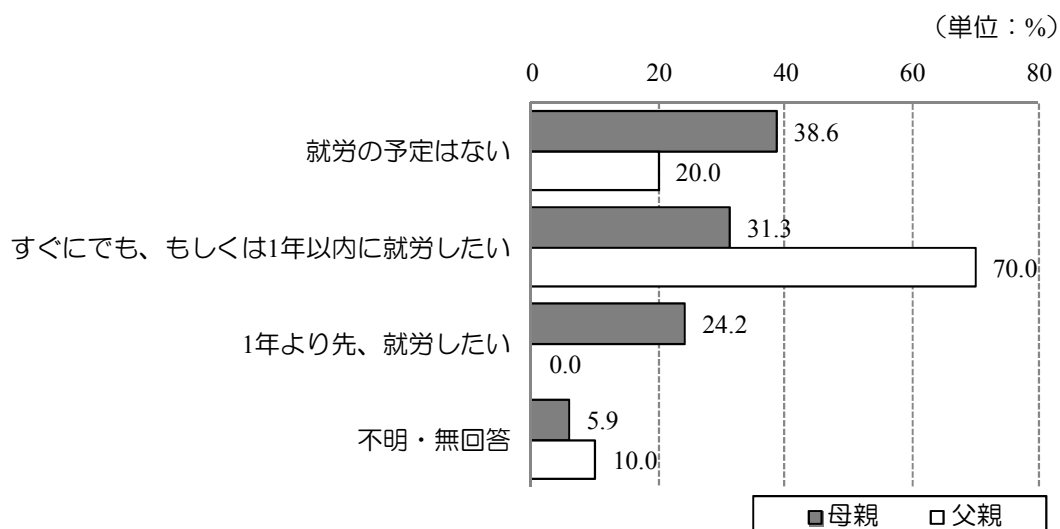


図 127 就労についての希望[母親 (N=339)、父親 (N=10)]

問 13-1 希望就労日数/週、土曜・日曜就労希望の有無、希望就労時間/日

※ 問 13 で「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」「1 年より先、就労したい」と回答した方を集計

①希望就労日数/週（数量回答）

- 母親の 1 週当たりの希望就労日数は、「3 日」が最も高く（34.0%）、次いで「5 日」（23.9%）、「4 日」（22.9%）となっています。
- 父親の 1 週当たりの希望就労日数は、「5 日」が最も高くなっています（85.7%）。

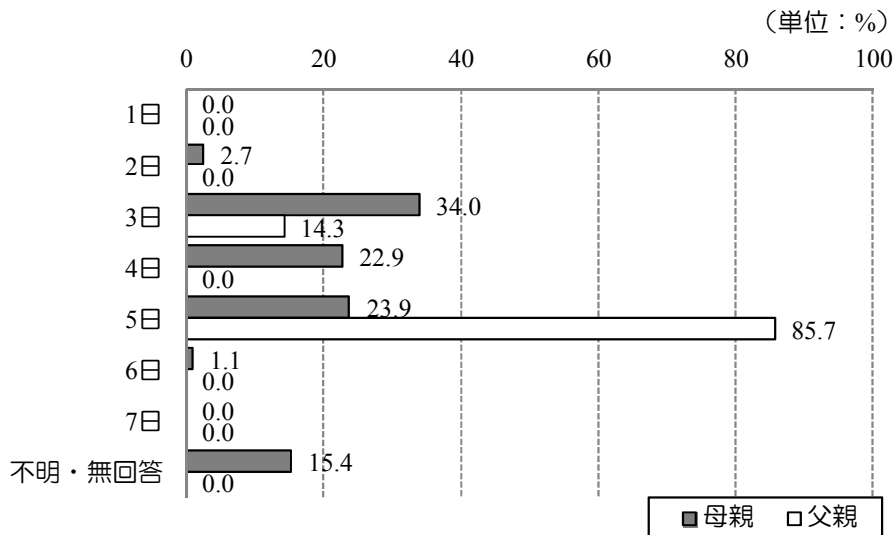


図 128 希望就労日数/週[母親 (N=188)、父親 (N=7)]

②土曜・日曜就労希望の有無（複数回答）

- 母親の土曜・日曜就労希望は、「土曜日」（8.0%）、「日曜日」（4.8%）となっています。
- 父親の土曜・日曜就労希望は、無回答となっています。

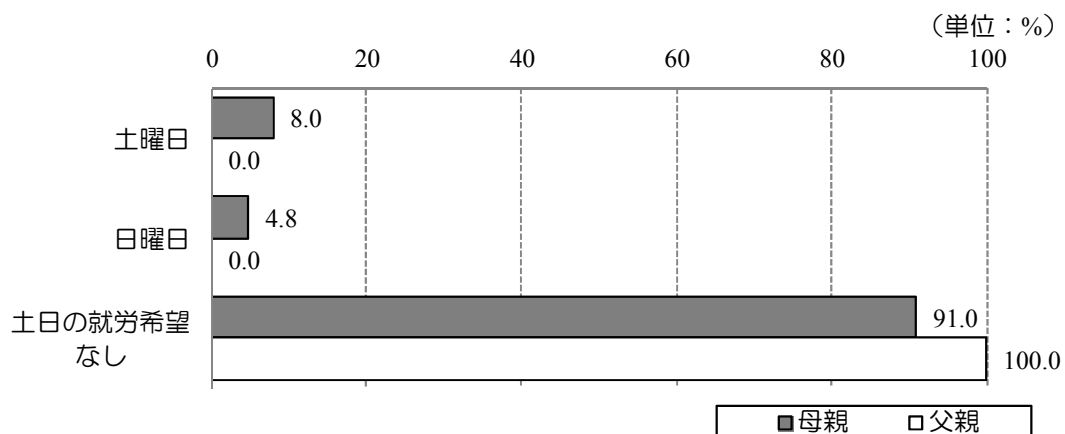


図 129 土曜・日曜就労希望の有無[母親 (N=188)、父親 (N=7)]

③希望就労時間/日（数量回答）

- 母親の1日当たりの希望就労時間は、「5時間」が最も高く（34.6%）、次いで「4時間」（26.6%）となっています。
- 父親の1日当たりの希望就労時間は、「8時間以上」が最も高くなっています（85.7%）。

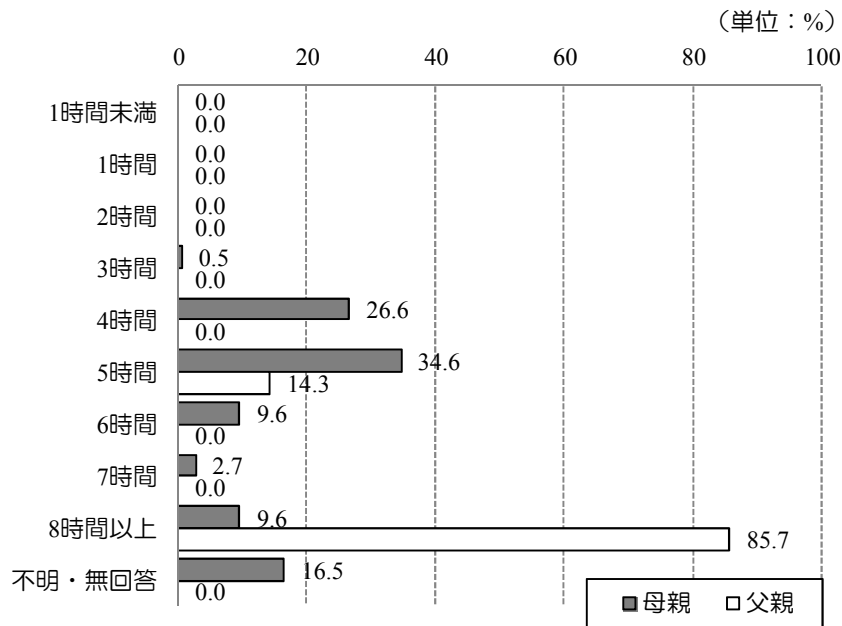


図 130 希望就労時間/日[母親 (N=188)、父親 (N=7)]

問 13-2 就労開始時期（数量回答）

※ 問 13 で「1年より先、就労したい」と回答した方を集計

- 母親の就労開始時期は、子どもの年齢が「7歳」が最も高く（15.9%）、次いで「8歳」（13.4%）となっています。※父親は該当回答者がいません。

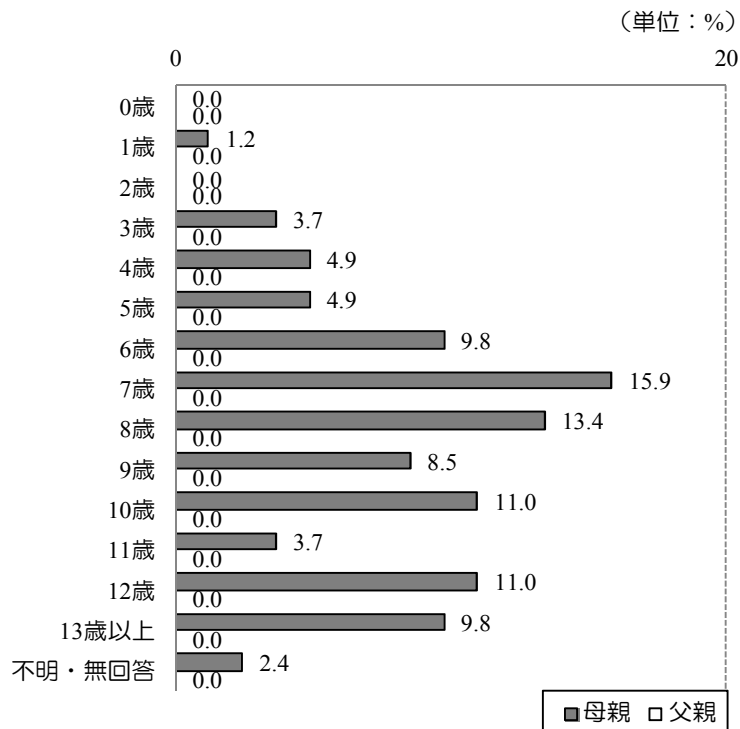


図 131 就労開始時期[母親 (N=82)]

5 放課後の過ごし方

問14 習い事等の状況（単数回答）

①【16：00～18：00】

- 「木曜日」が最も高くなっています（35.4%）。

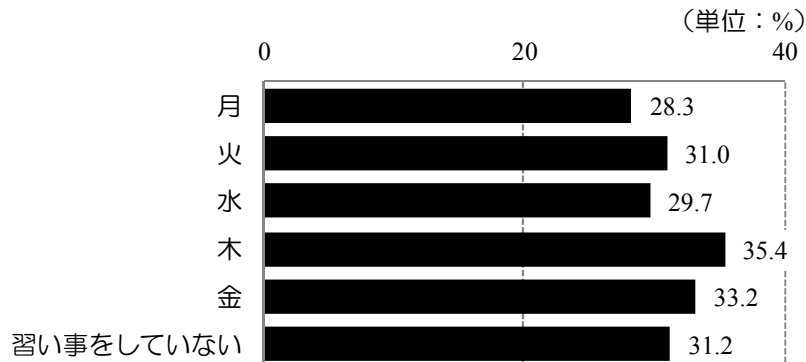


図 132 習い事の状況【16：00～18：00】(N=1,082)

②【18：00以降】

- 「金曜日」が最も高く（16.1%）、各曜日とも1割前後となっています。

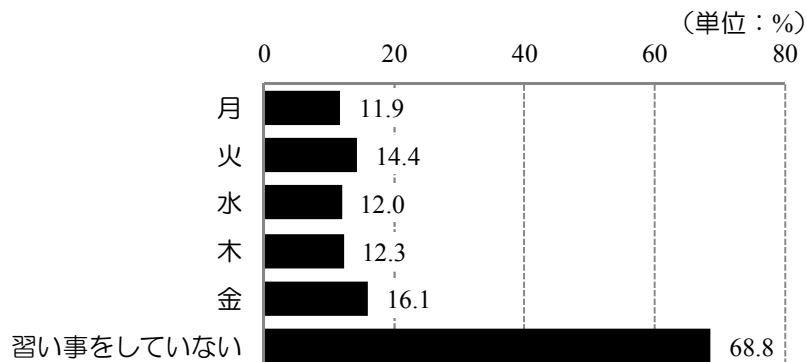


図 133 習い事の状況【18：00以降】(N=1,082)

問15 児童ホームの利用状況（単数回答）

- 「児童ホーム」を利用している方は、約1割（10.8%）となっています。

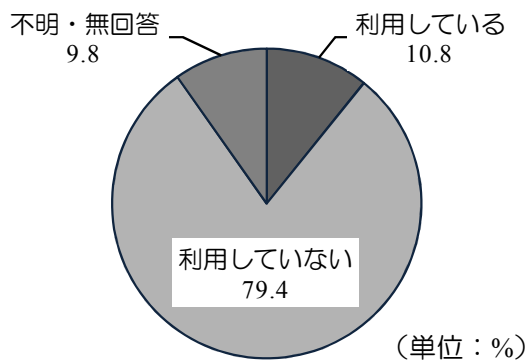


図 134 児童ホームの利用状況 (N=1,082)

問 15-1 児童ホームの利用頻度

※ 問 15 で「利用している」と回答した方を集計

①利用日数/週（数量回答）

- 1 週当たりの利用日数は、「5 日」が最も高く（75.2%）、次いで「4 日」（9.4%）となっています。

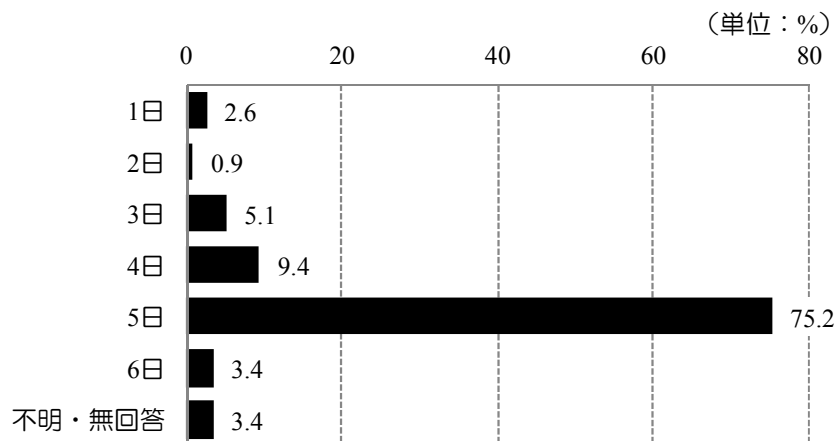


図 135 利用日数/週 (N=117)

②土曜利用の有無（単数回答）

- 土曜日の利用は、約 2 割（16.2%）となっています。

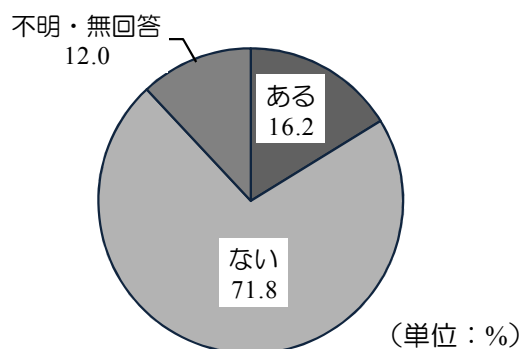


図 136 土曜利用の有無 (N=117)

問 15-2 児童ホームを利用している理由（単数回答）

※ 問 15 で「利用している」と回答した方を集計

- 児童ホームを利用している理由は、「現在就労している」が最も高くなっています(94.9%)。

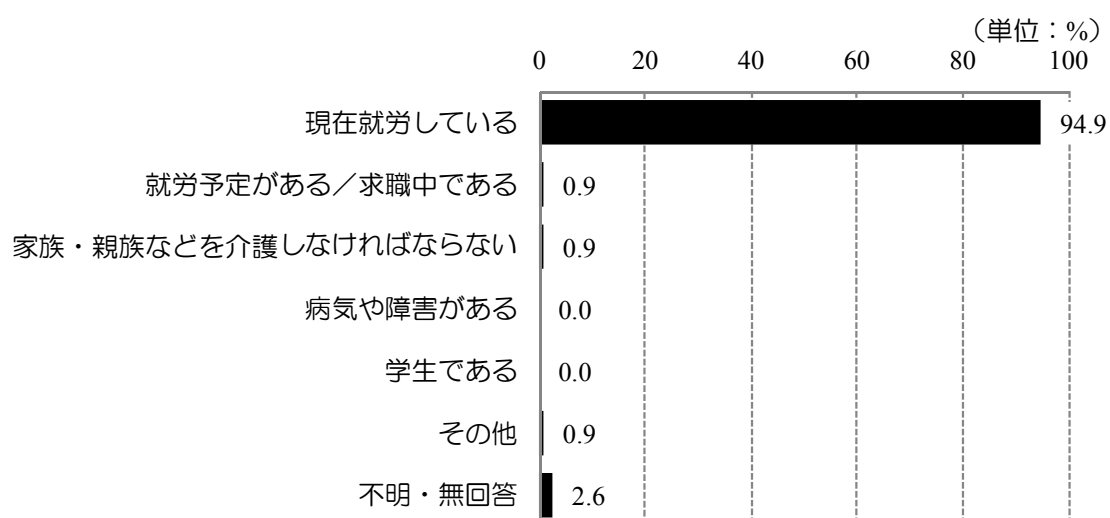


図 137 児童ホームを利用している理由 (N=117)

問 15-3 児童ホームを利用していない理由（単数回答）

※ 問 15 で「利用していない」と回答した方を集計

- 児童ホームを利用していない理由は、「必要がないから（働いていないから）」が最も高く（37.5%）、次いで「必要がないから（働いているが、子どもだけでも大丈夫と思うから）」（19.3%）、「利用できる対象年齢ではないから」（14.4%）となっています。

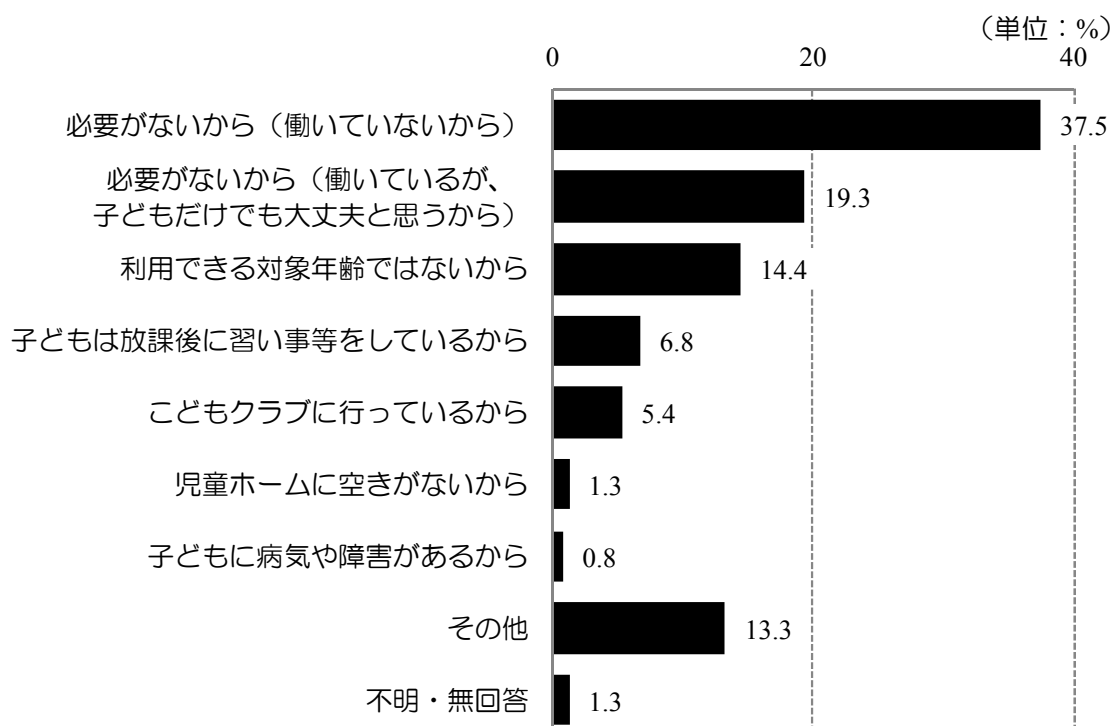


図 138 児童ホームを利用していない理由 (N=859)

問16 児童ホームの利用希望

【平日】

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（62.7%）。

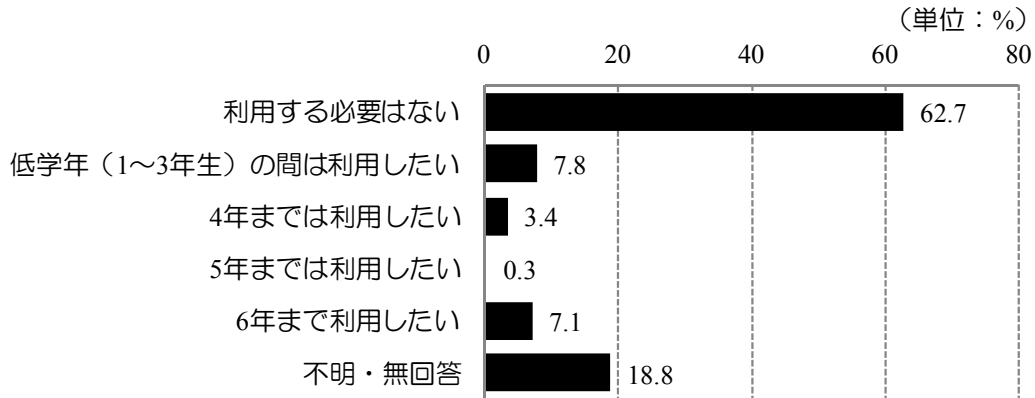


図 139 利用希望 平日 (N=1,082)

②利用希望時間帯（数量回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「8時」が最も高く（28.9%）、次いで「15時」（21.4%）となっています。
- 終了時間は、「17時」が最も高く（51.7%）、次いで「18時」（24.9%）となっています。

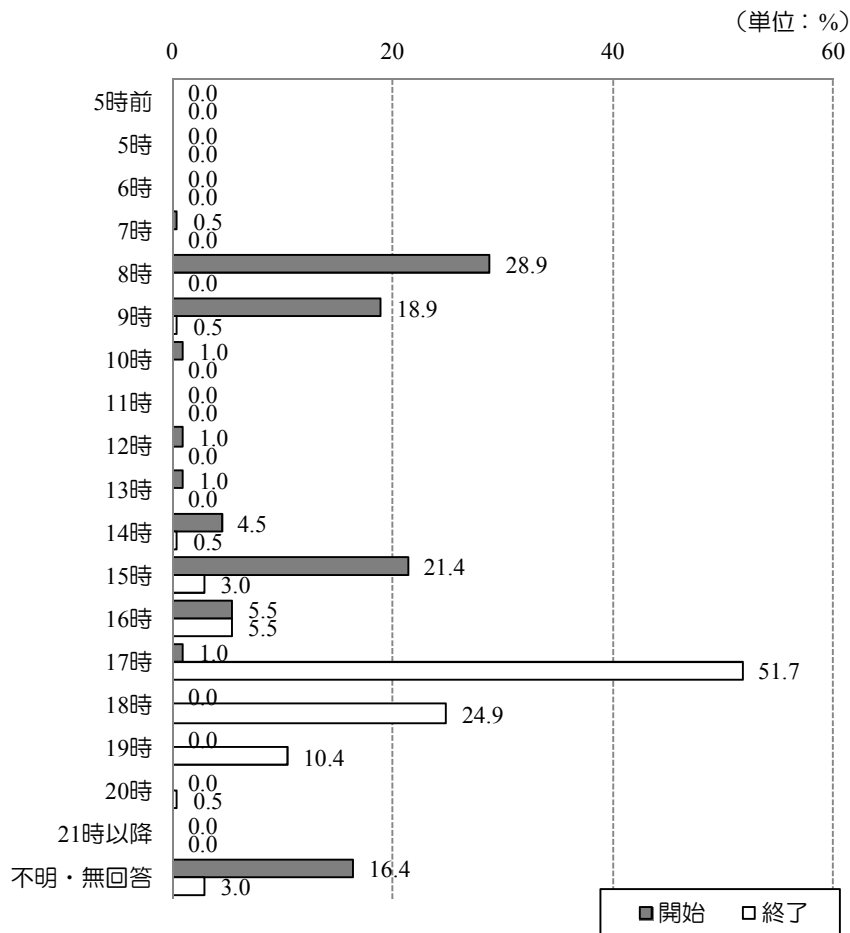


図 140 利用希望時間帯 平日 (N=201)

【土曜日】

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（62.8%）。

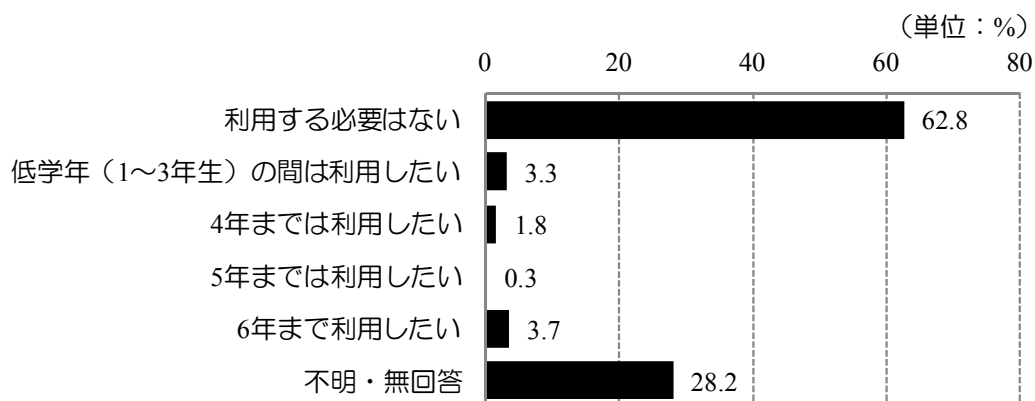


図 141 利用希望 土曜日 (N=1,082)

②利用希望時間帯（数量回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「9時」が最も高く（42.9%）、次いで「8時」（41.8%）となっています。
- 終了時間は、「17時」が最も高く（39.8%）、次いで「18時」（22.4%）となっています。

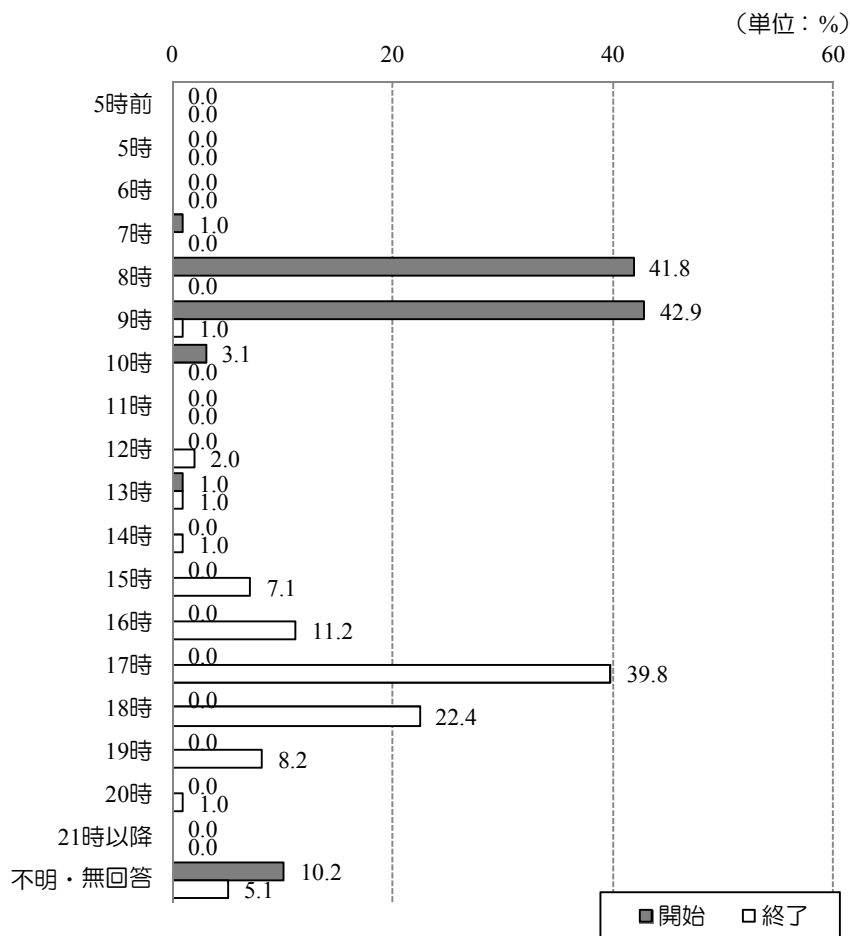


図 142 利用希望時間帯 土曜日 (N=98)

【長期休暇中】

①利用希望（単数回答）

- 利用希望は、「利用する必要はない」が最も高くなっています（57.2%）。

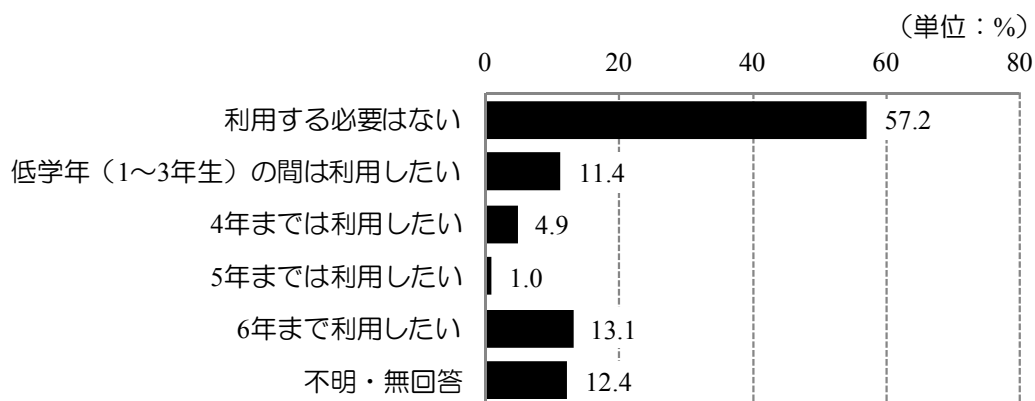


図 143 利用希望 長期休暇中 (N=1,082)

②利用希望時間帯（数量回答）

※ ①で「利用したい」と回答した方を集計

- 開始時間は「9時」が最も高く（48.6%）、次いで「8時」（43.5%）となっています。
- 終了時間は、「17時」が最も高く（49.5%）、次いで「18時」（16.1%）となっています。

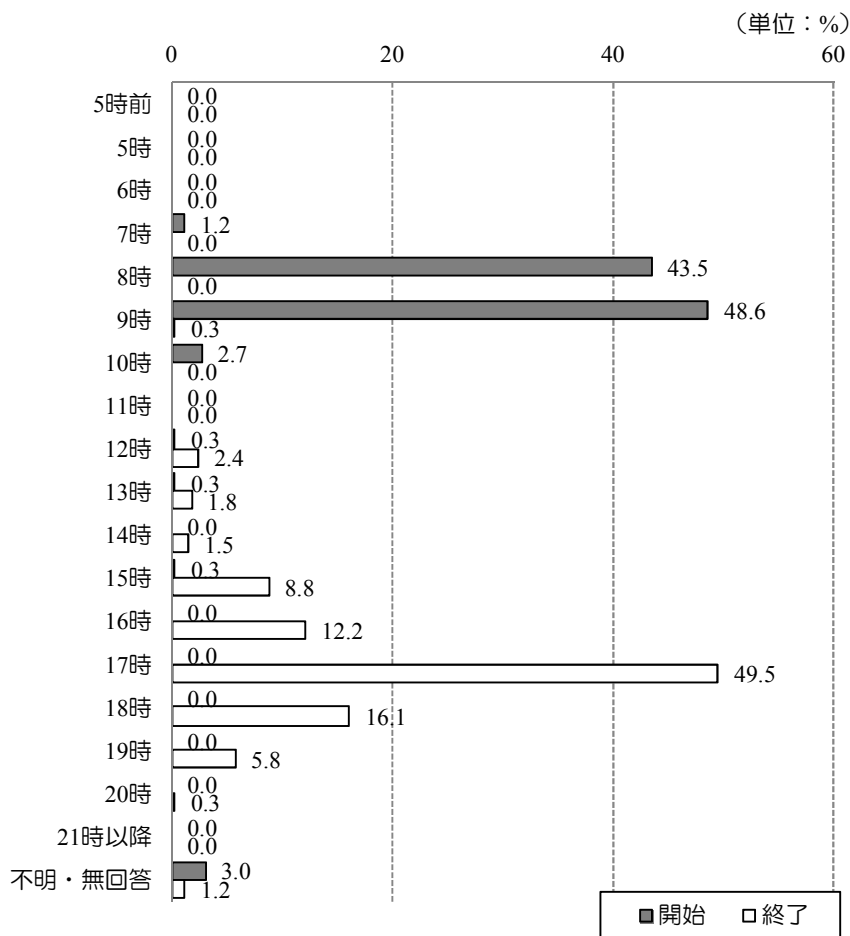


図 144 利用希望時間帯 長期休暇中 (N=329)

6 居住地域との関わり

問17 近所の方々との関わり方（複数回答）

- 近所の方々との関わり方は、「挨拶をしてもらっている」が最も高く（88.1%）、次いで「行いをほめたり、注意したりしてもらっている」（34.5%）、「困っているときに手助けしてもらっている」（26.7%）となっています。

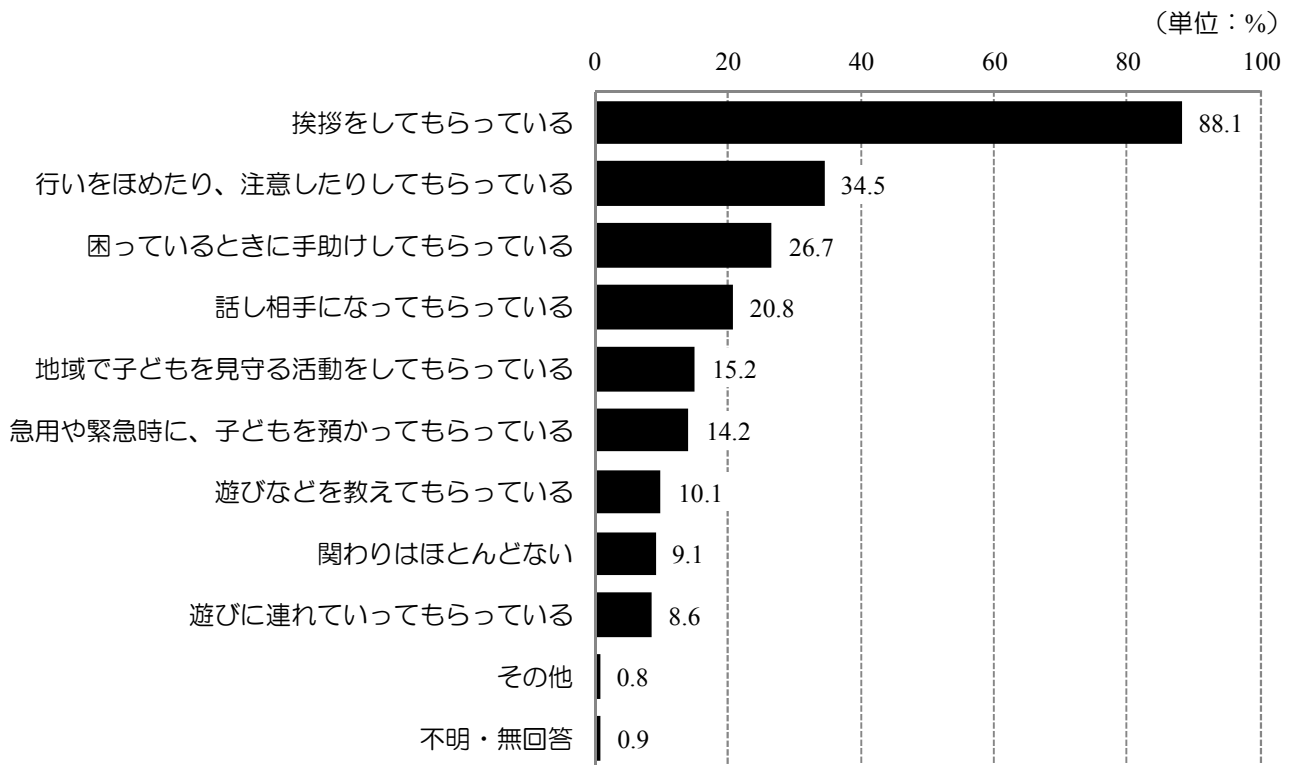


図 145 近所の方々との関わり方 (N=1,082)

問18 地域で生活を送る上での満足度（単数回答）

- 満足度（「満足」「まあ満足」の合計）が高い項目は、「ガードレールや歩道など道路が安全な状態に整備されている」が最も高く（56.7%）、次いで「小学生が安心して安全に遊べる場所がある」（54.1%）、「夜間に安心して通行するための対策がとられている」（45.1%）となっています。

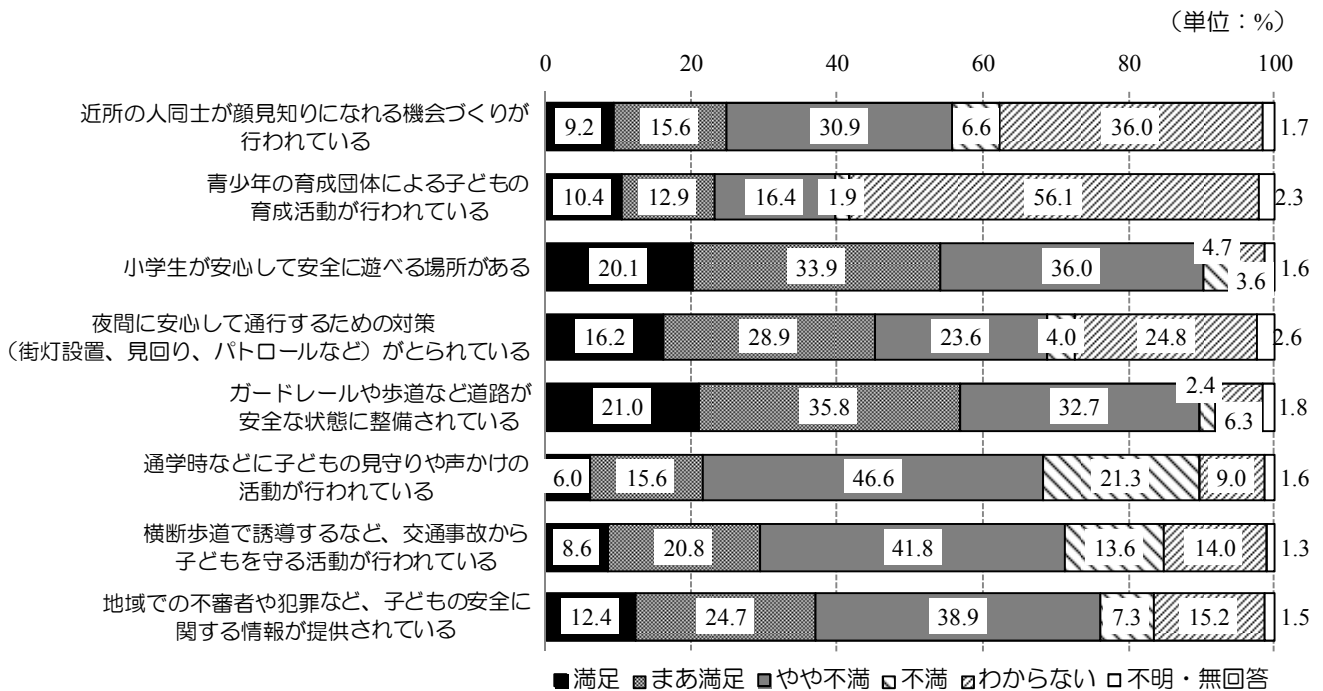


図 146 地域で生活を送る上での満足度 (N=1,082)

問19 地域で青少年の育成を行う団体に期待すること（複数回答）

- 地域で青少年の育成を行う団体に期待することは、「子どもが気軽に集まることができる場所の提供」が最も高く（62.3%）、次いで「子どもへの遊びや工作などの体験機会の提供」（40.8%）、「子どもへのスポーツ指導」（36.9%）となっています。

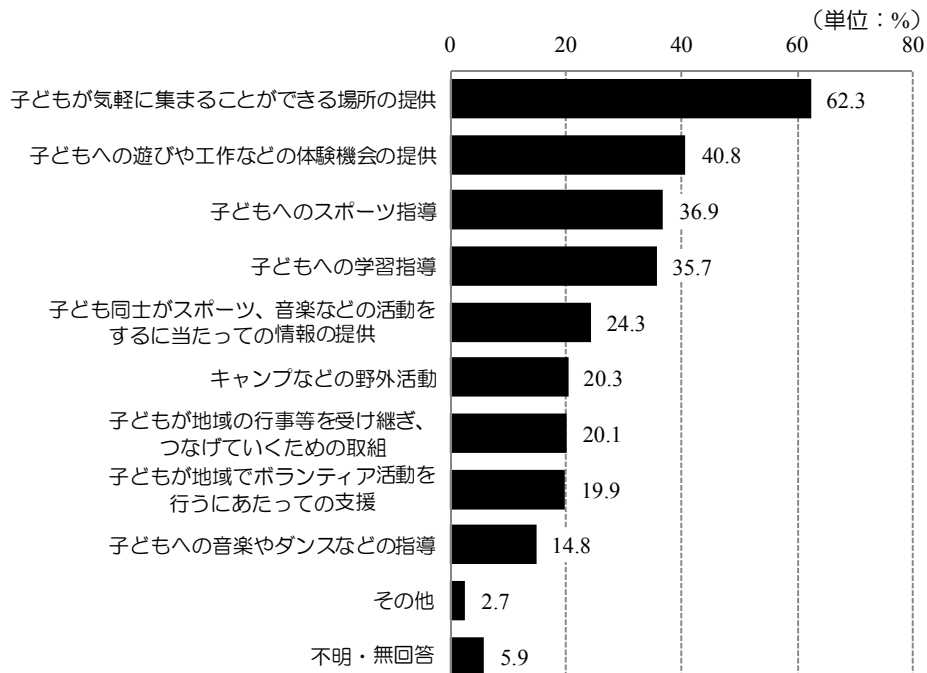


図 147 地域で青少年の育成を行う団体に期待すること (N=1,082)

問20 地域で青少年の育成を行う団体へ参画したいか（単数回答）

- 地域で青少年の育成を行う団体へ参画したいかは、「わからない」が最も高くなっています（45.1%）。

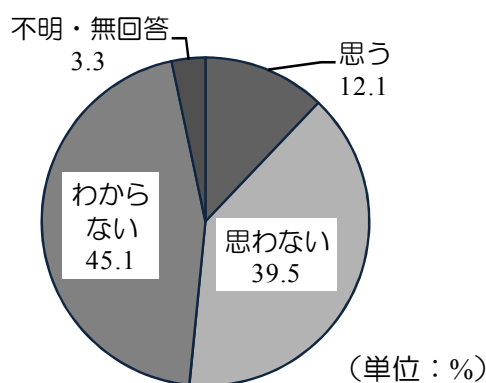


図 148 地域で青少年の育成を行う団体へ参画したいか (N=1,082)

問20-1 参画したくない理由（複数回答）

※ 問20で「思わない」と回答した方を集計

- 参画したくない理由は、「仕事が忙しく時間がない」が最も高く（54.6%）、次いで「家事が忙しく時間がない」（34.0%）、「世話役になるのが大変」（31.9%）となっています。

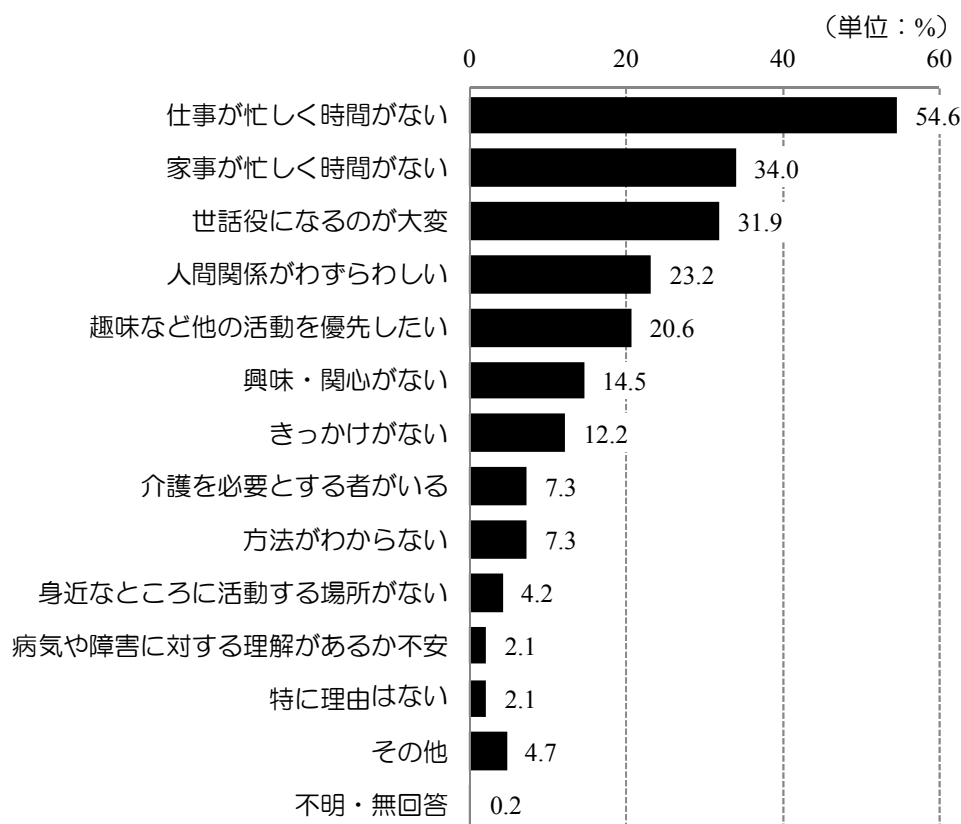


図 149 参画したくない理由 (N=427)

7 子どもの成長

問21 子どもにどのような人に成長してほしいか（複数回答）

- 子どもにどのような人に成長してほしいかは、「思いやりのある豊かな心をもった人」が最も高く（86.7%）、次いで「基本的なルールやマナーが守れる人」（86.0%）、「自ら進んで学び考えて行動する人」（67.1%）となっています。

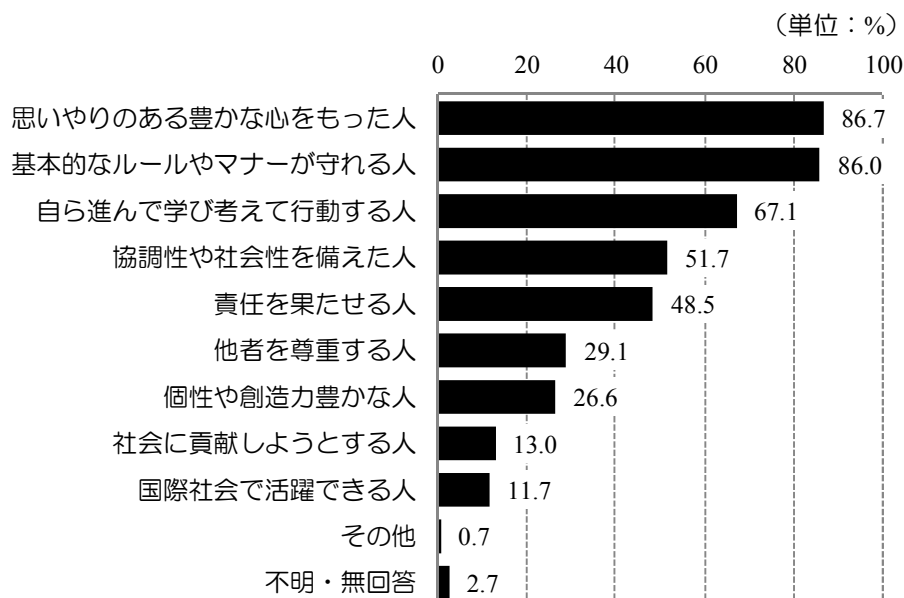


図 150 子どもにどのような人に成長してほしいか (N=1,082)

問22 家庭が子どもの教育について担う役割（複数回答）

- 家庭が子どもの教育について担う役割は、「子どもに愛情を注ぎ、向き合うこと」が最も高く（90.8%）、次いで「しつけやマナーを教えること」（84.8%）、「健やかな心と体を育成すること」（76.8%）となっています。

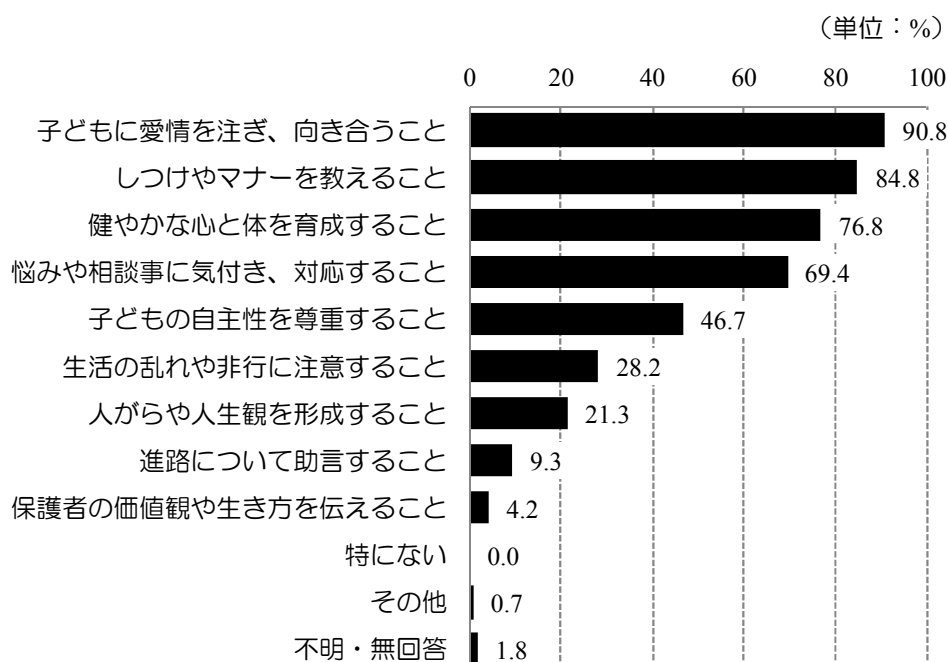


図 151 家庭が子どもの教育について担う役割 (N=1,082)

問23 家庭においてしつけや教育する力が低下している主な理由（複数回答）

- 家庭においてしつけや教育する力が低下している主な理由は、「核家族化や地域社会における人間関係の希薄化を背景に、保護者が孤立しやすい」が最も高く（57.8%）、次いで「幼いときから、子育てに身近にかかわる機会がないままに親になり、過保護、過干渉、放任などが生じる」（44.0%）、「子どもを親以外の大人（祖父母や近所の人など）とふれあわせる機会が少ない」（35.2%）となっています。

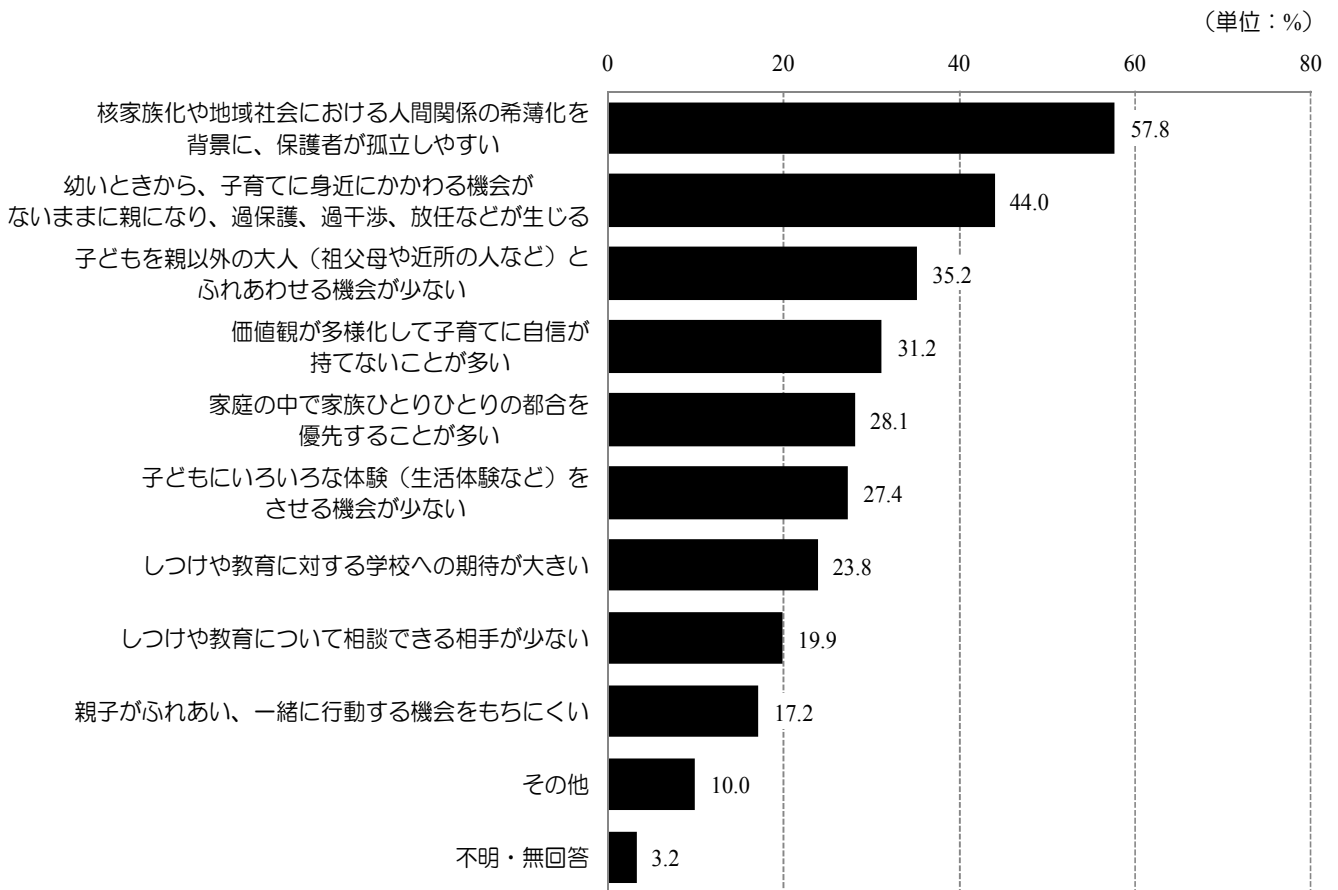


図 152 家庭においてしつけや教育する力が低下している主な理由（N=1,082）

問24 就学に当たっての不安感の有無（単数回答）

- 就学に当たっての不安感の有無は、約5割（51.2%）の方が「不安はなかった」と回答しています。

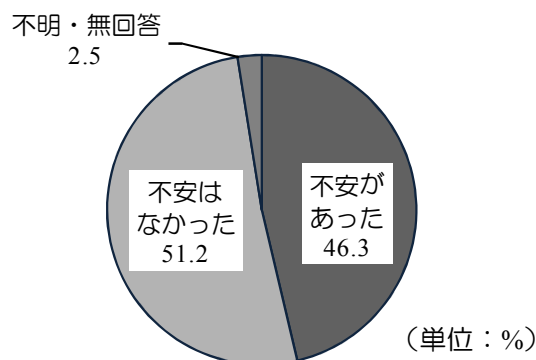


図 153 就学に当たっての不安感の有無（N=1,082）

問 24-1 最も大きな不安の種類（単数回答）

※ 問 24 で「不安があった」と回答した方を集計

- 不安の種類は、「友だち関係の不安」が最も高く（43.1%）、次いで「通学に関する不安」（18.0%）、「勉強や学力面の不安」（16.6%）となっています。

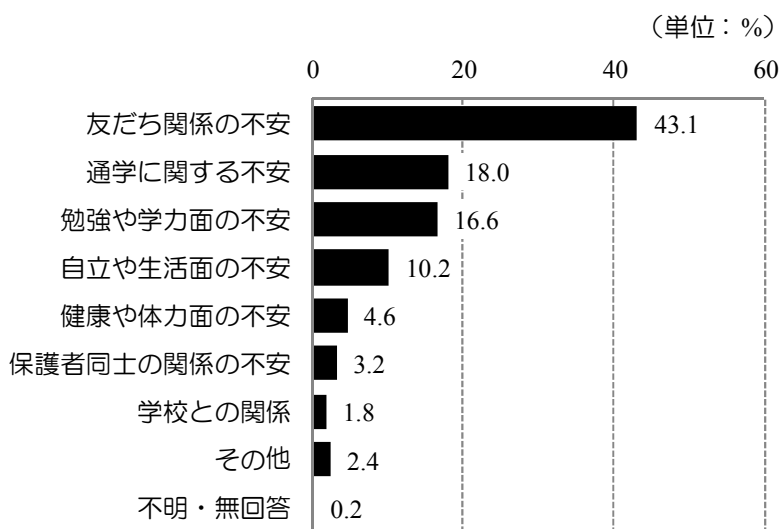
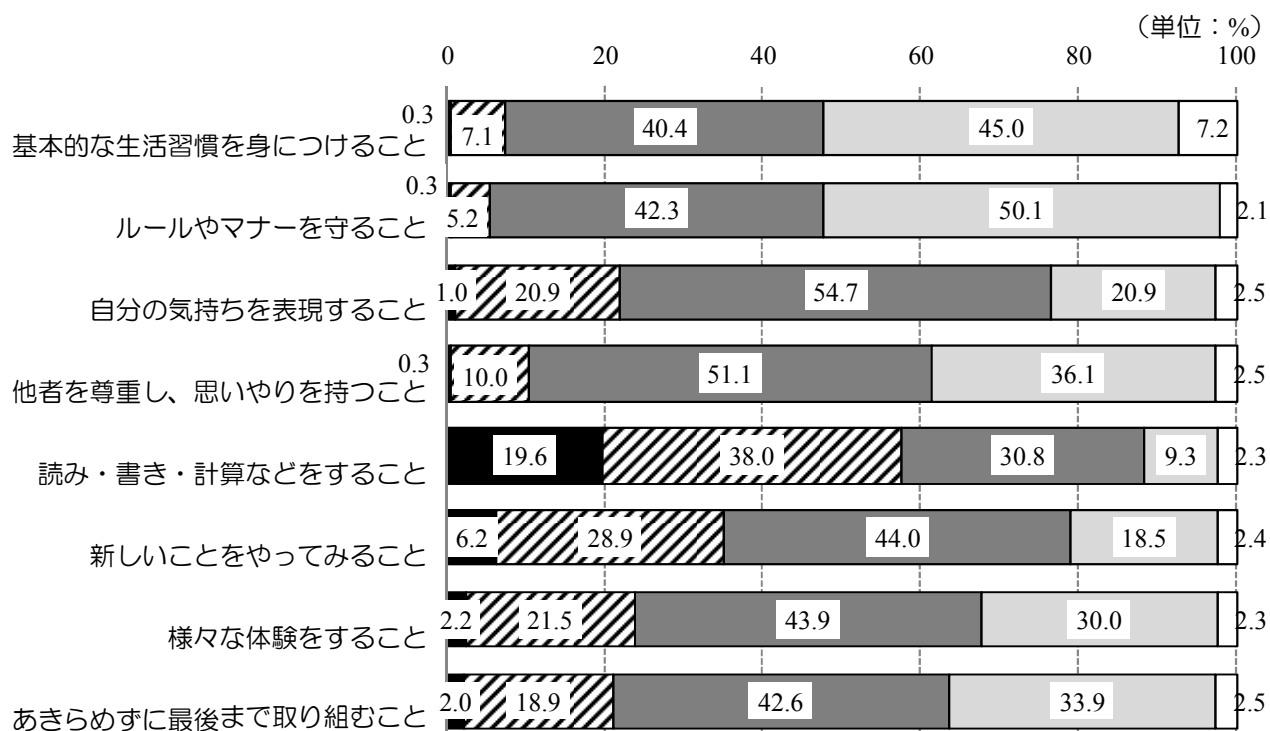


図 154 最も大きな不安の種類（N=501）

問 25 子どもが就学するまでに重視すべきこと（単数回答）

- 就学するまでに重視すべきこと（「特に重視する」「重視する」「どちらかといえば重視する」の合計）は、「読み・書き・計算などをする事」が最も高く（88.4%）、次いで「新しいことをやってみる事」（79.1%）、「自分の気持ちを表現すること」（76.6%）となっています。



■ 特に重視する □ 重視する ■ どちらかといえば重視する □ 余り重視しない □ 不明・無回答

図 155 子どもが就学するまでに、重視すべきこと（N=1,082）

問 25-1 問 25 以外で重視すべきこと（自由記述）

※ 回答者の意見をカテゴリー化して集計。有効回答数（N=1,082）の 13.6%にあたる 147 件の回答があり、言及している分野について集計をしている。複数分野に渡る回答は、該当分野すべてについてそれぞれ集計している。

- 問 25 以外で重視すべきことは、「良好な親子関係を持つ事」が最も多く 26 件（17.7%）、次いで「基本的な生活習慣を身につけること」18 件（12.2%）、「ルールやマナーを守ること」「他者とのコミュニケーションができること（友達関係含む）」「様々な体験をすること」16 件（10.9%）となっています。

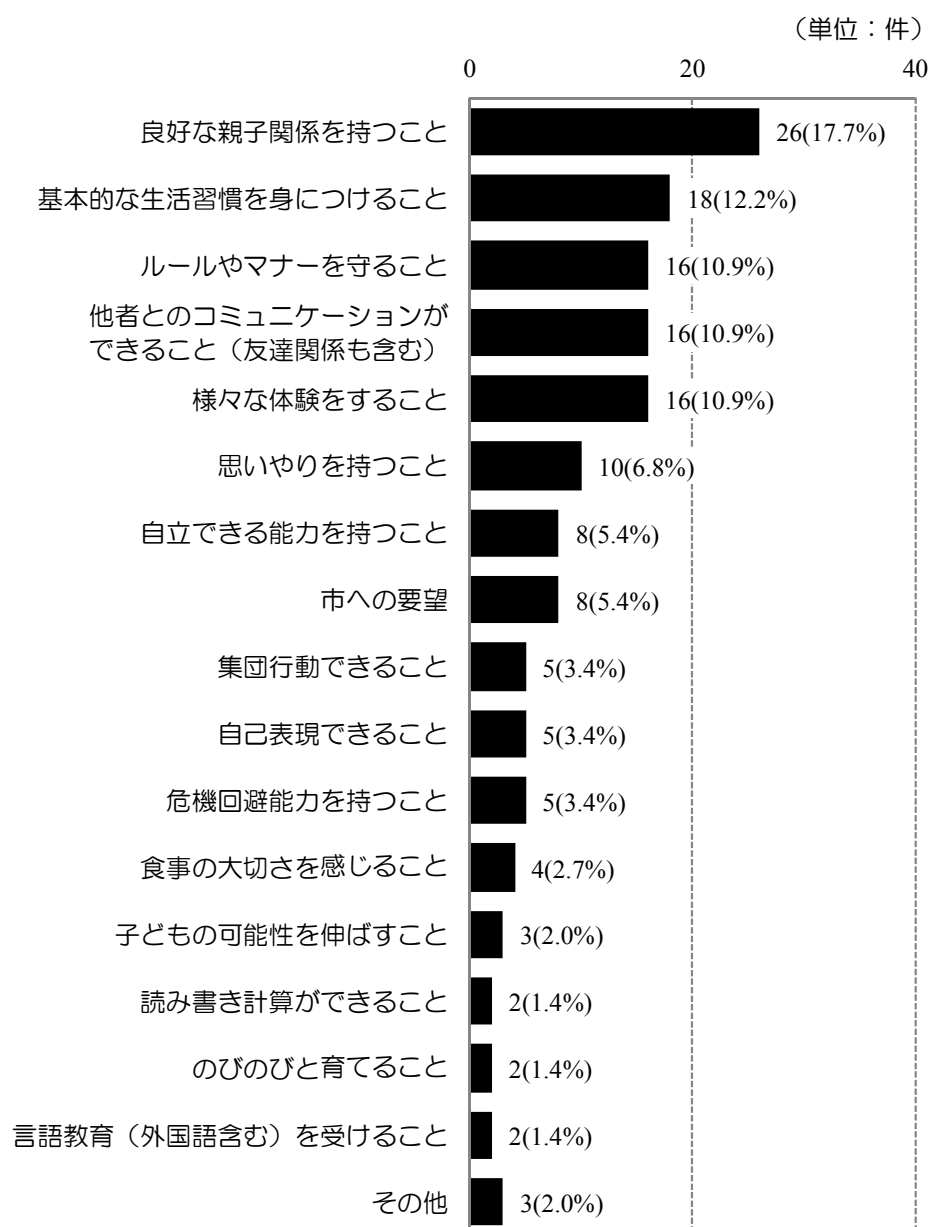


図 156 問 25 以外で重視すべきこと（N=147）

8 子育ての不安と悩み

問26 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になること（複数回答）

- 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になることは、「子どもの教育に関すること」が最も高く（38.5%）、次いで「子育てにかかる出費がかさむ」（36.2%）、「子どもの安全に関すること」（32.7%）となっています。

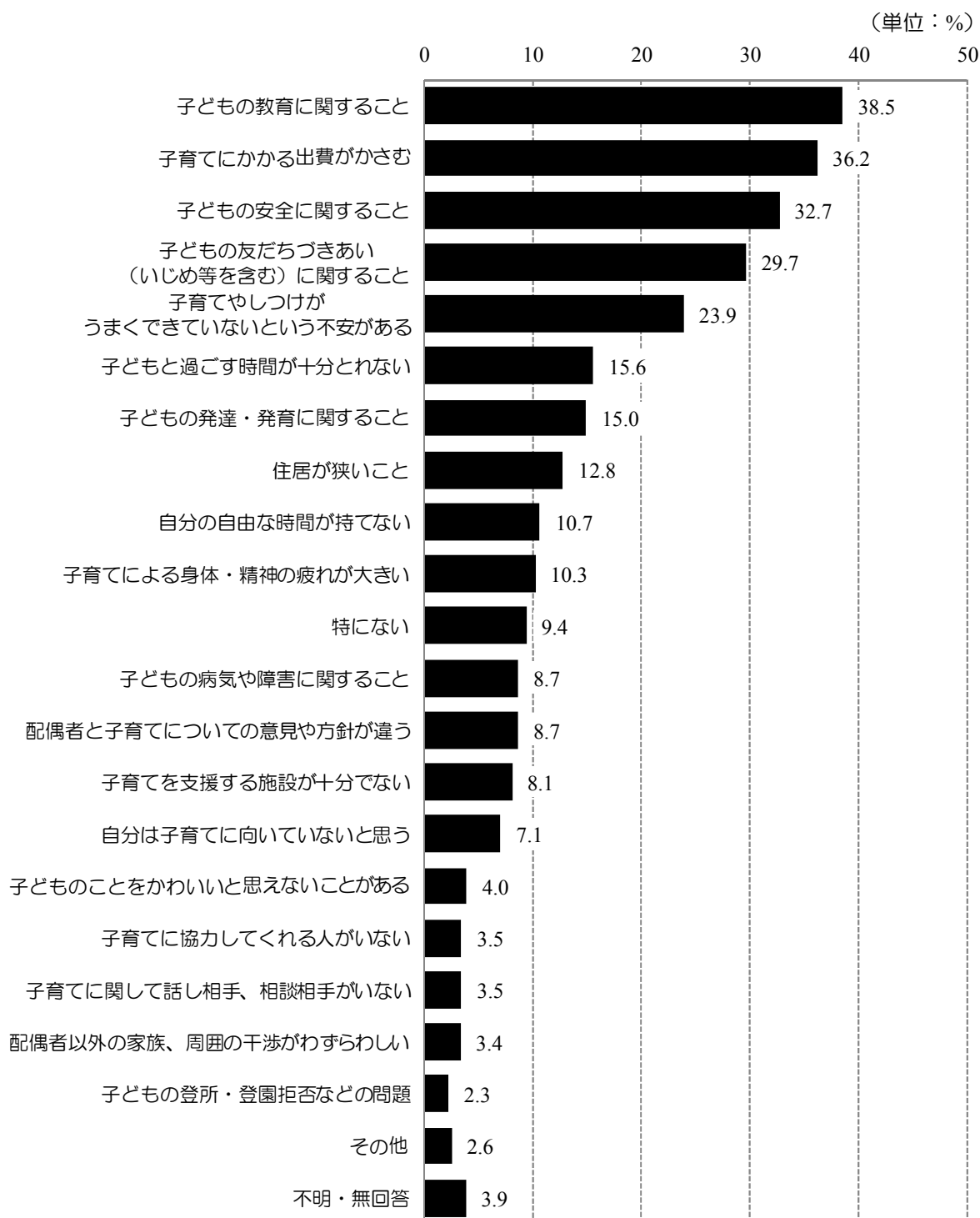


図 157 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になること (N=1,082)

問27 子育てに関する悩みや不安がある場合の相談先（複数回答）

- 子育てに関する悩みや不安がある場合の相談先は、「配偶者（パートナー）」が最も高く（76.7%）、次いで「友人」（65.7%）、「親族（親・兄弟姉妹など）」（65.0%）となっています。

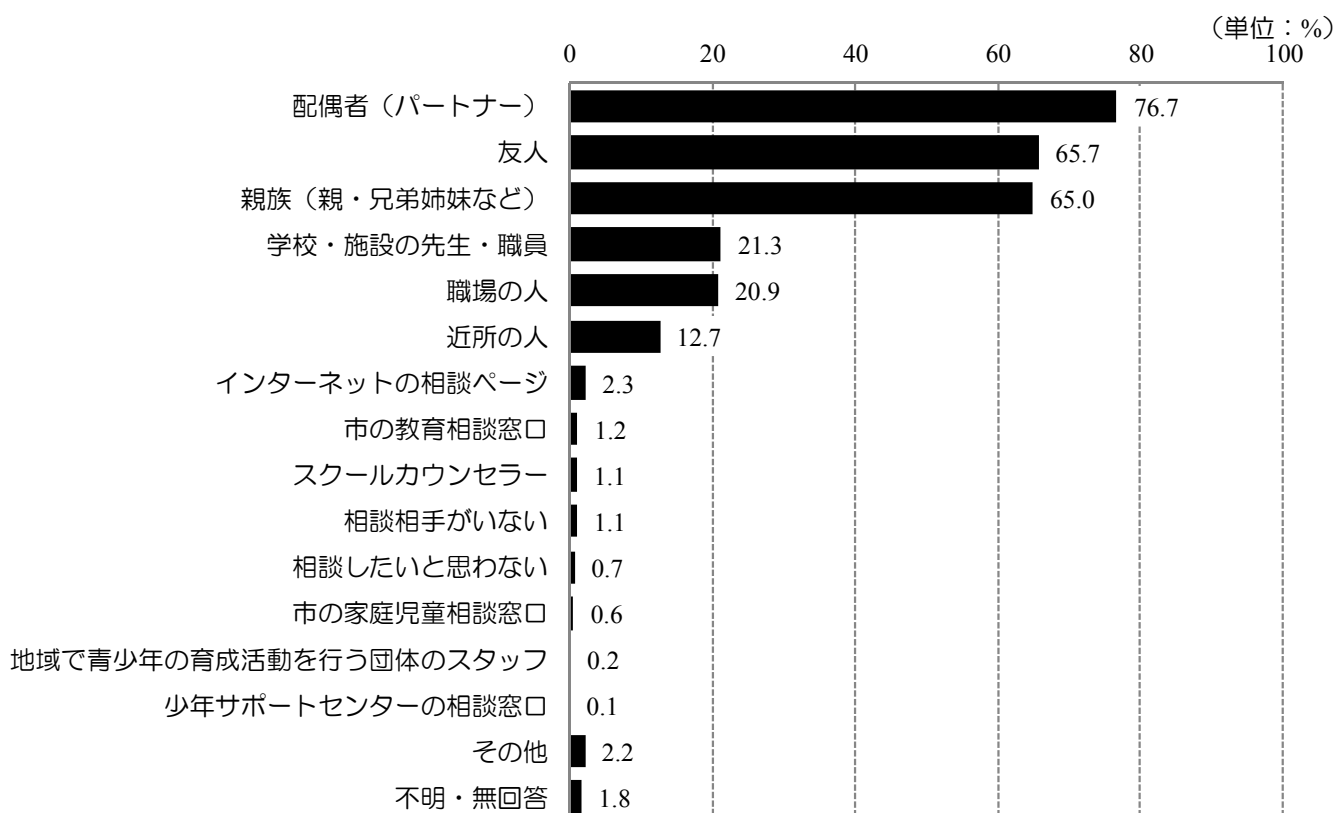


図 158 子育てに関する悩みや不安がある場合の相談先 (N=1,082)

問28 子どもの発達・発育で気になったきっかけ（複数回答）

※ 問26で「子どもの発達・発育に関すること」を回答した方を集計

- 子どもの発達・発育で気になったきっかけは、「他の子どもの発達をみて」が最も高く（59.3%）、次いで「病院での受診」（16.0%）となっています。

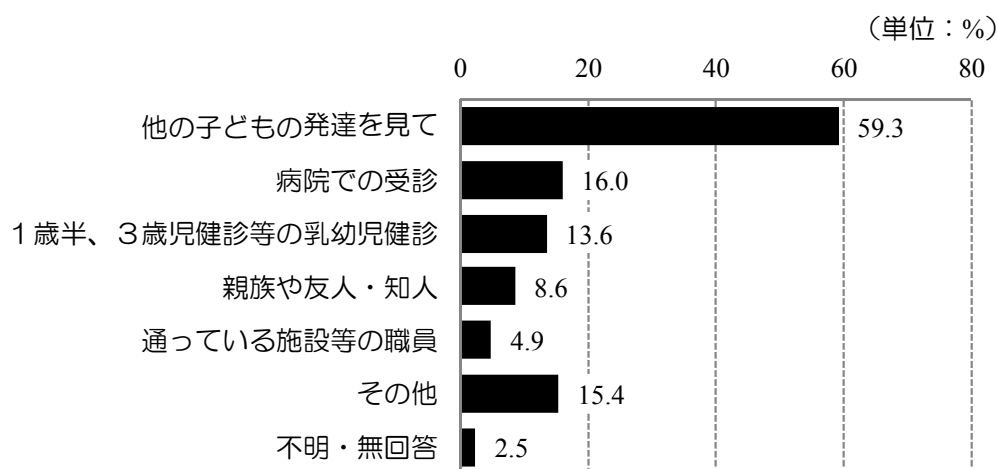


図 159 子どもの発達・発育で気になったきっかけ (N=162)

問 28-1 どのように感じたか（単数回答）

※ 問 26 で「子どもの発達・発育に関すること」を回答した方を集計

- どのように感じたかは、「しばらく様子を見ようと思った」が最も高く（56.8%）、次いで「かかりつけ医や専門の病院を受診しようと思った」（20.4%）となっています。

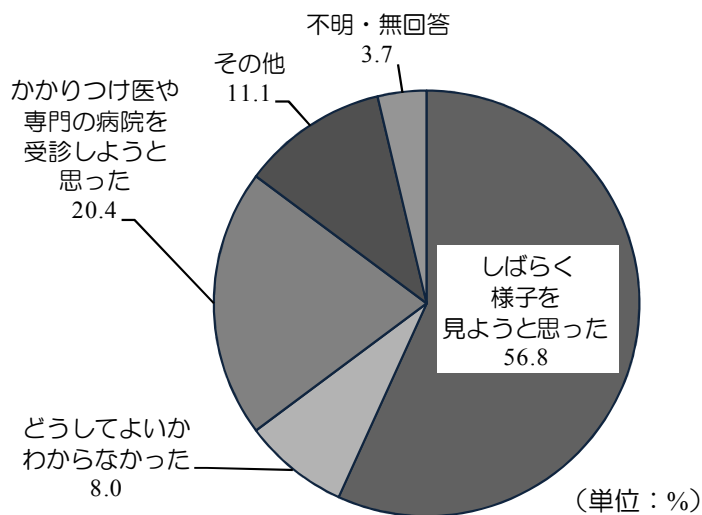


図 160 どのように感じたか (N=162)

9 子育てに関する情報・サービス・支援体制

問29 子育てに関する情報の充足度（単数回答）

- 子育てに関する情報の充足度は、「どちらかといえば十分だと思う」が最も高く（44.7%）、次いで「どちらかといえば不足している」（37.7%）となっています。

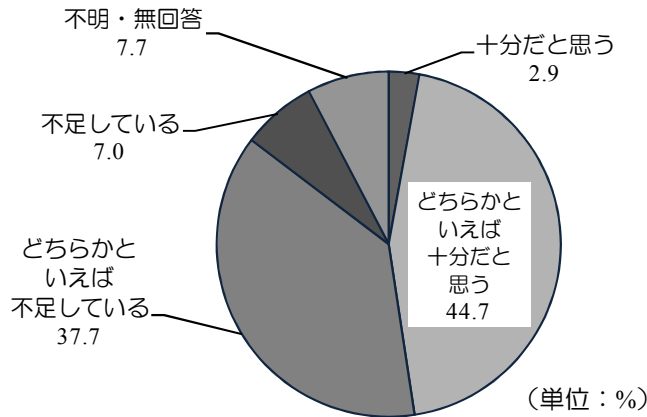


図 161 子育てに関する情報の充足度 (N=1,082)

問 29-1 どのような情報が不足しているか（複数回答）

※ 問 29 で「どちらかといえば不足している」「不足している」を回答した方を集計

- 不足していると思う情報は、「小学生の遊び場について」が最も高く（56.6%）、次いで「進学予定の学校の教育内容について」（48.1%）、「思春期の子どもへの関わり方について」（39.9%）となっています。

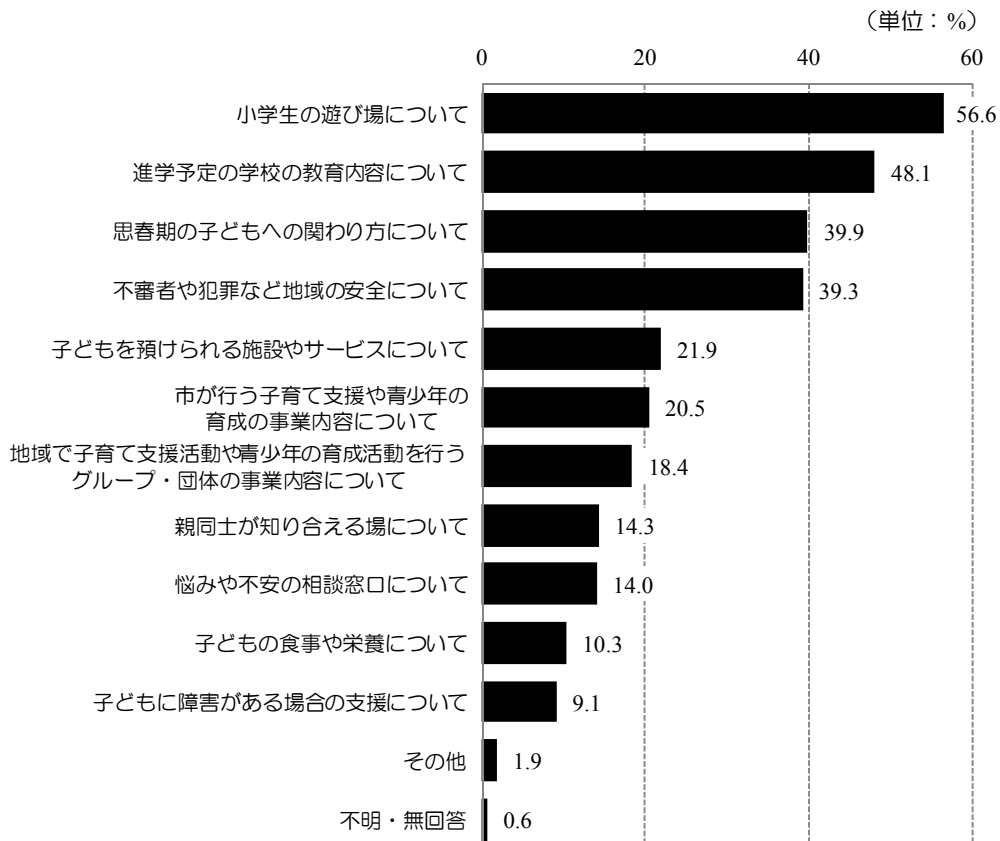


図 162 不足していると思う情報 (N=484)

問30 尼崎市からの情報をどこから（誰から）入手したいか（複数回答）

- 尼崎市からの情報入手先は、「市報あまがさき」が最も高く（79.9%）、次いで「学校の配布物」（73.9%）、「市ホームページ（パソコン版）」（20.7%）となっています。

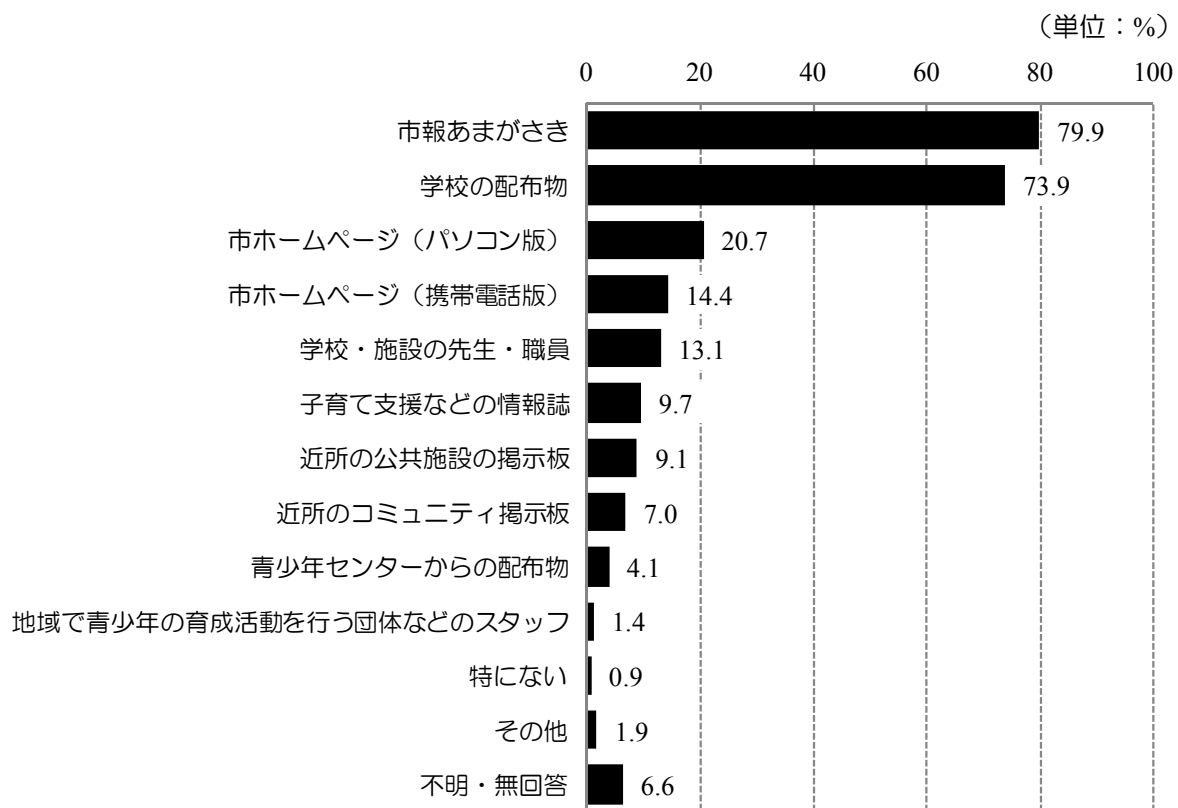


図 163 尼崎市の情報入手先 (N=1,082)

10 施策全般

問31 子育て支援サービス・事業の認知度・利用状況・今後の利用意向（単数回答）

①認知度

- 認知度は、「こどもクラブ」が最も高く（86.3%）、次いで「子ども会」（67.9%）、「スクールカウンセラー」（62.6%）となっています。

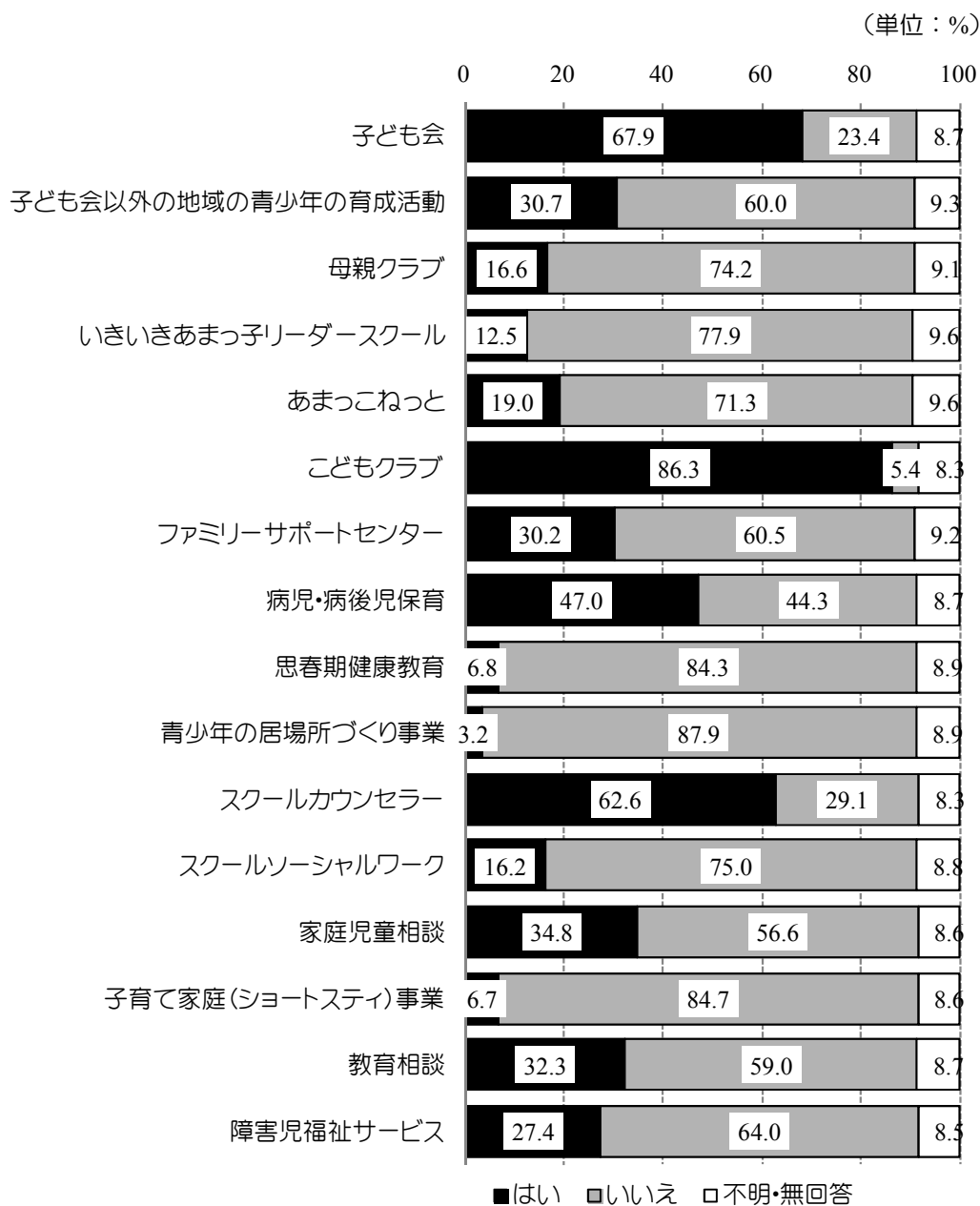


図 164 子育て支援サービス・事業の認知度 (N=1,082)

②利用経験

- 利用経験は、「こどもクラブ」が最も高く（68.7%）、次いで「子ども会」（28.8%）、「子ども会以外の地域の青少年育成活動」（11.5%）となっています。

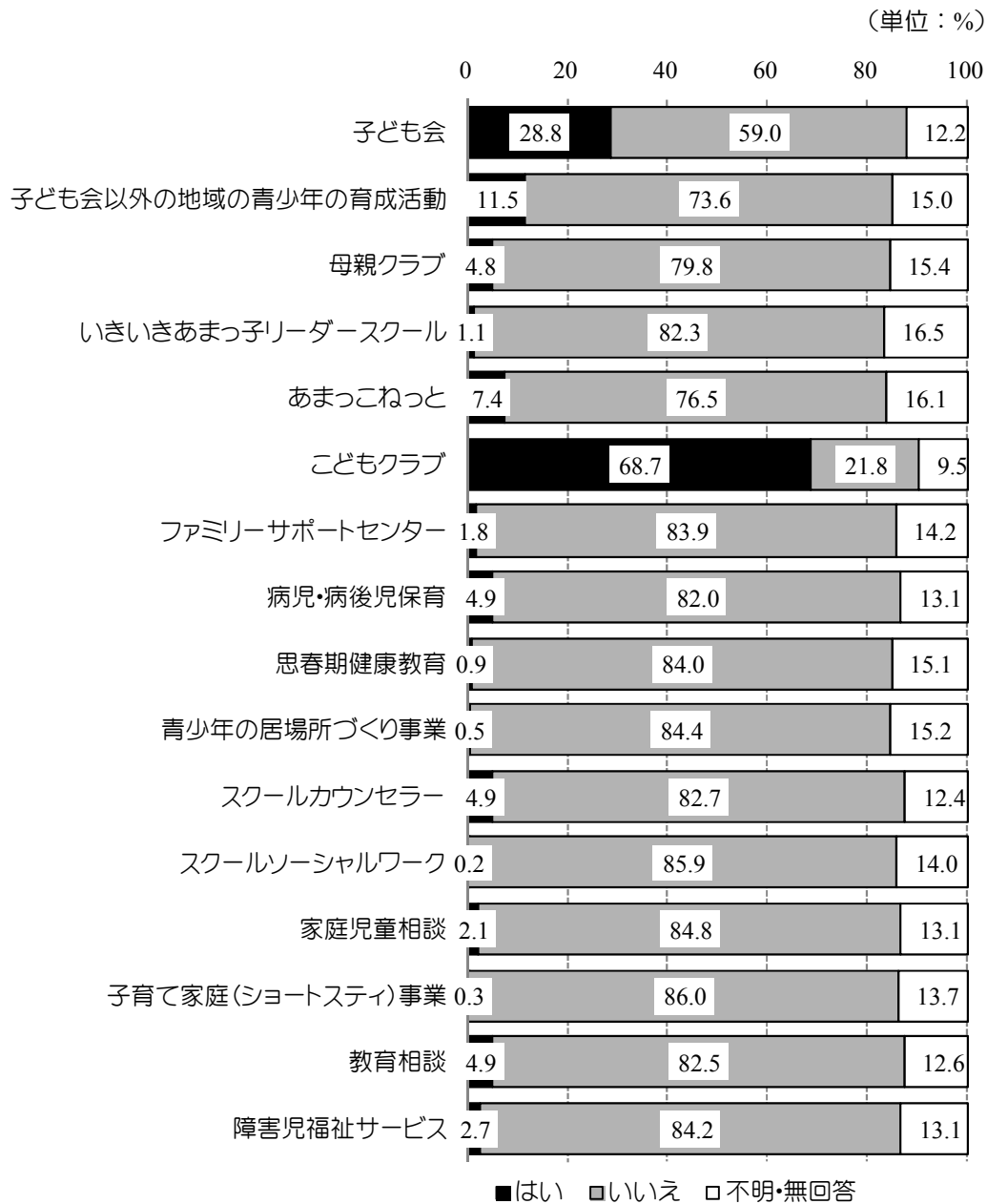


図 165 子育て支援サービス・事業の利用経験 (N=1,082)

③今後の利用意向

- 今後利用したい子育て支援サービス・事業は、「こどもクラブ」が最も高く（42.3%）、次いで「子ども会」（23.7%）、「思春期健康教育」（20.3%）となっています。

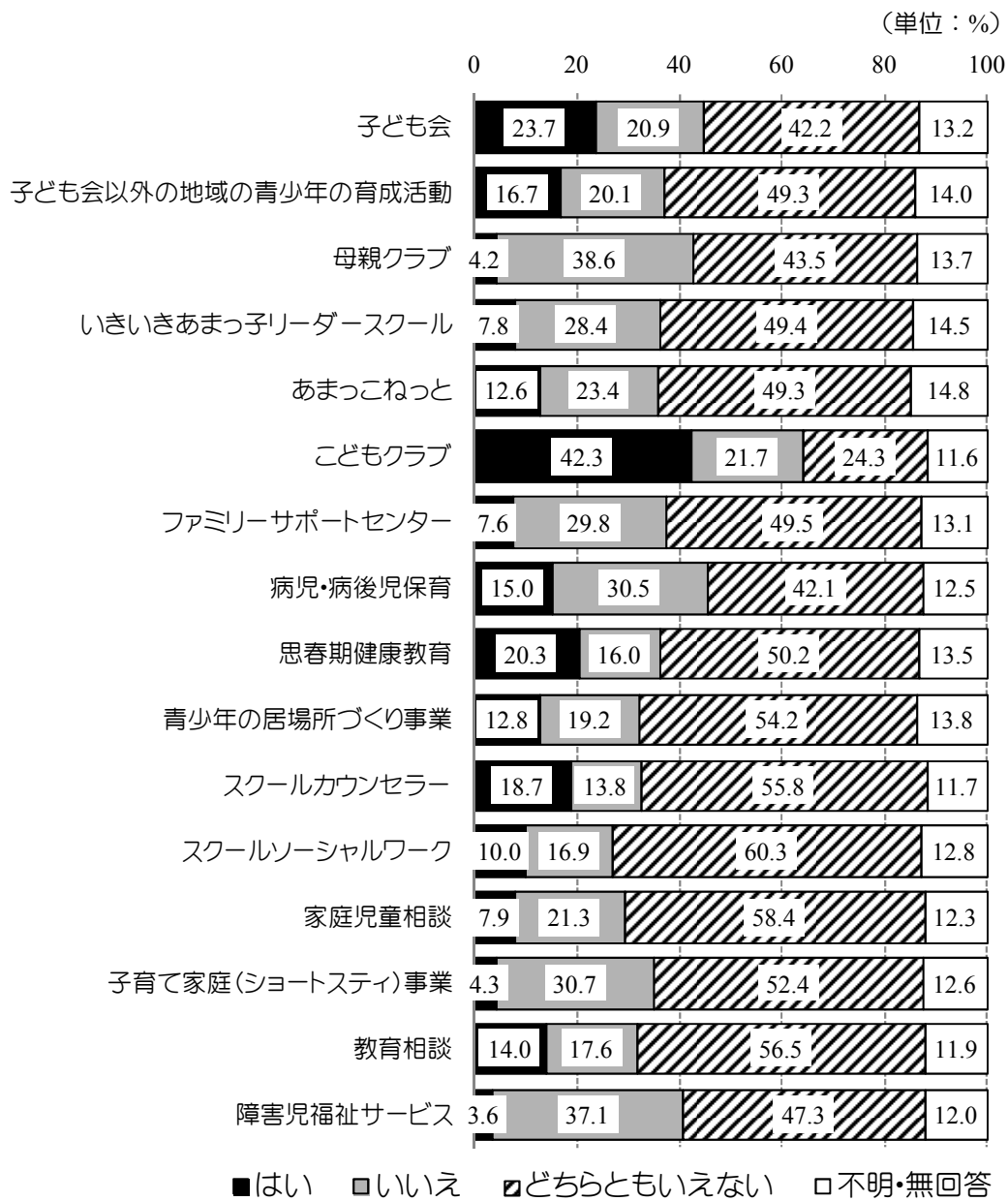


図 166 子育て支援サービス・事業の今後の利用意向 (N=1,082)

問 31-1 子どもが病気やケガの時の対応（単数回答）

- 子どもが病気やケガの時の対応は、「できる限り保護者がみたい」が最も高く（59.5%）、次いで「できる限り保護者か親族でみたい」（31.6%）となっています。

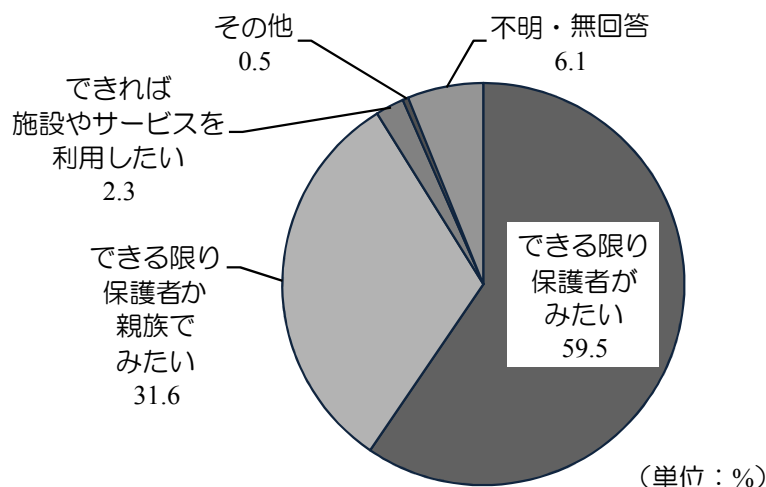


図 167 子どもが病気やケガの時の対応 (N=1,082)

問 31-2 子どもが病気やケガの時の保護者の状況（単数回答）

- 子どもが病気やケガの時の保護者の状況は、「普段から就労していない親族等が自宅かその付近にいる」が最も高く（42.1%）、次いで「子どもが病気やケガの場合は、父母のどちらかがある程度は仕事を休むことができる」（39.9%）となっています。

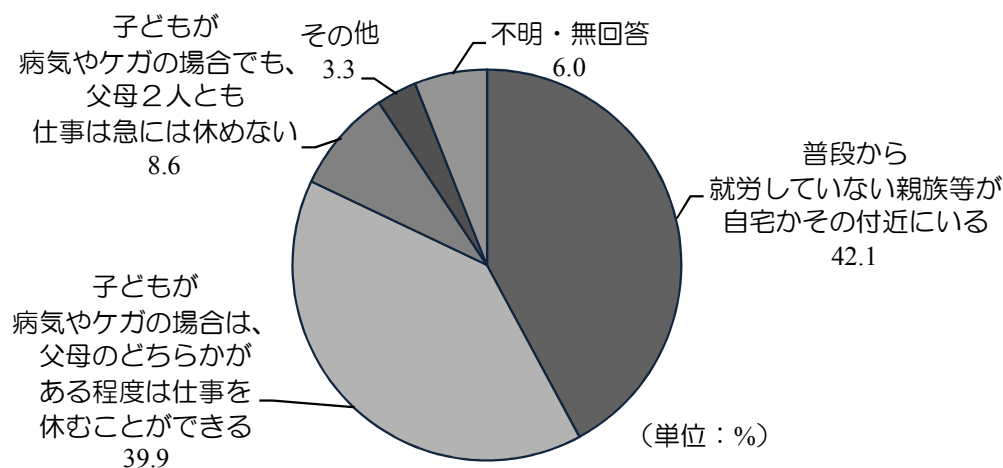


図 168 子どもが病気やケガの時の保護者の状況 (N=1,082)

問3 2 尼崎市の子ども・子育て施策でさらに充実させてほしいもの（複数回答）

- 尼崎市の子ども・子育て施策でさらに充実させてほしいものは、「子どもが安心して安全に生活できるための地域での防犯対策」が最も高く（57.4%）、次いで「学力向上に向けた取組」（52.6%）、「子育て支援に関する情報提供の充実」（24.5%）となっています。

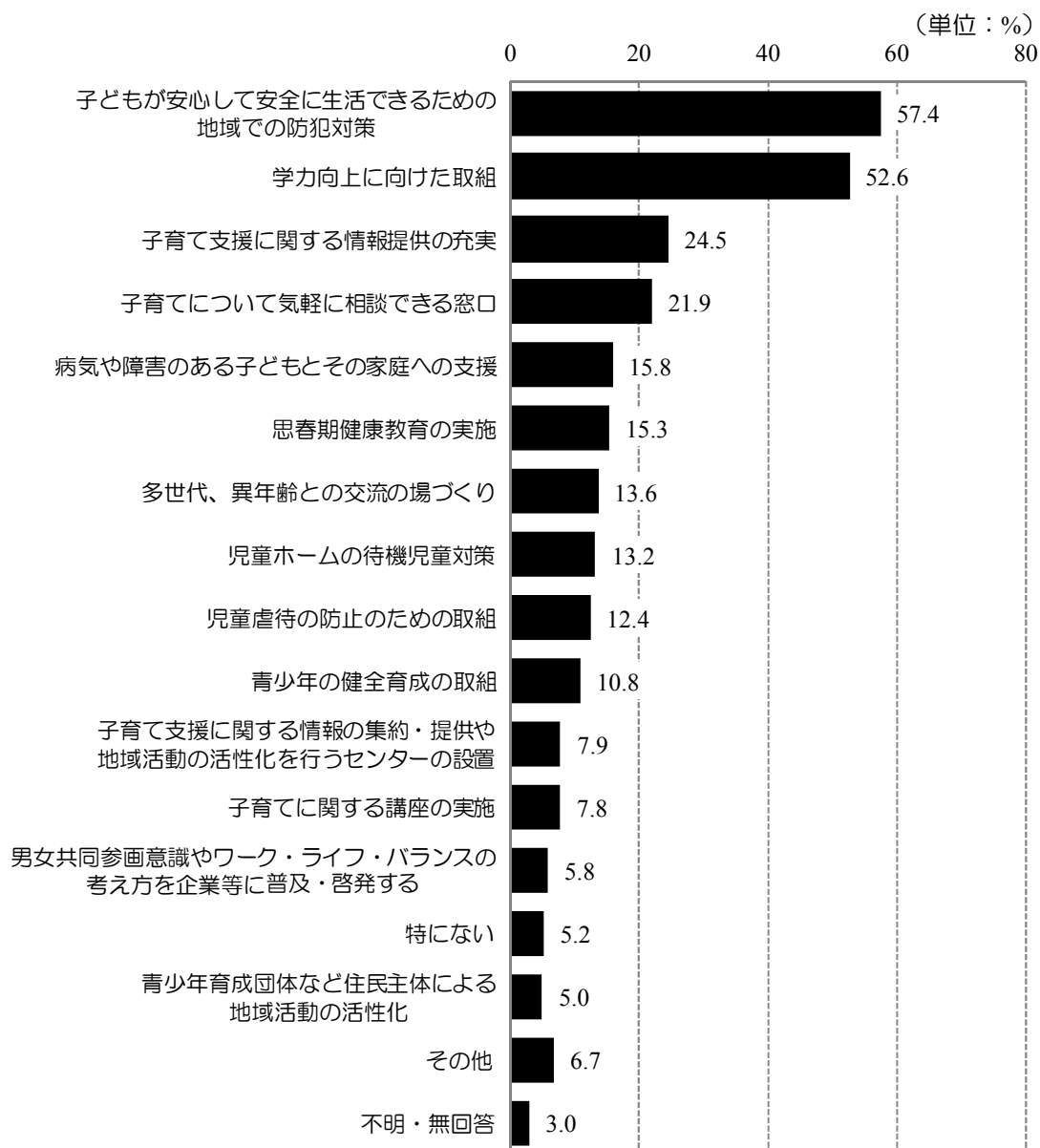


図 169 尼崎市の子ども・子育て施策でさらに充実させてほしいもの（N=1,082）

11 その他

問33 子育てしながら働き続けるのに必要なこと（複数回答）

- 子育てしながら働き続けるのに必要なことは、「職場の理解と協力体制」が最も高く（61.2%）、次いで「配偶者（パートナー）の理解・関わり」（34.8%）、「保育サービスの受け入れ枠の拡大」（32.4%）となっています。

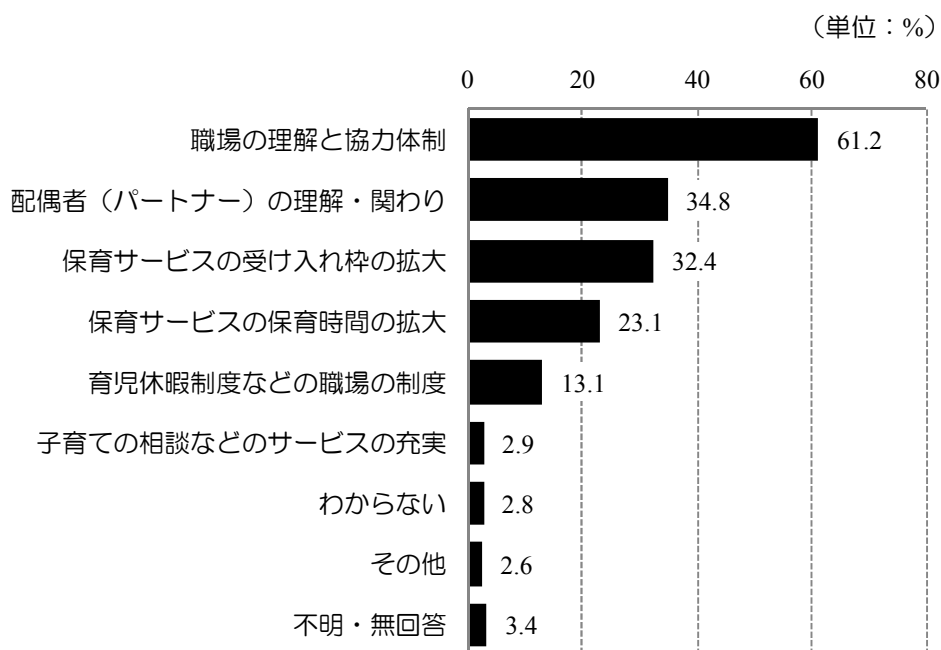


図 170 子育てしながら働き続けるのに必要なこと (N=1,082)

問34 今後の居留意向について（単数回答）

- 今後の居留意向については、「住み続けたい」が最も高くなっています（61.1%）。

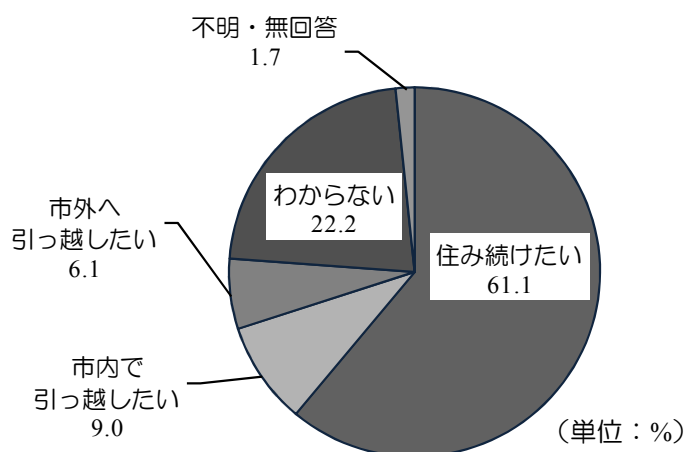


図 171 子どもが就学後の住まいの場所について (N=1,082)

問 34-1 問 34 の理由

①住み続けたい理由（自由記述）

※ 問 34 で「住み続けたい」を回答した方の意見をカテゴリー化して集計。有効回答数(N=661)の75.8%にあたる501件の回答があり、言及している分野について集計をしている。複数分野に渡る回答は、該当分野すべてについてそれぞれ集計している。

- 住み続けたい理由は、「持ち家だから」が最も多く98件(14.8%)、次いで「自然や空気などの環境面がよいから」77件(11.6%)、「住みなれているから」60件(9.1%)となっています。

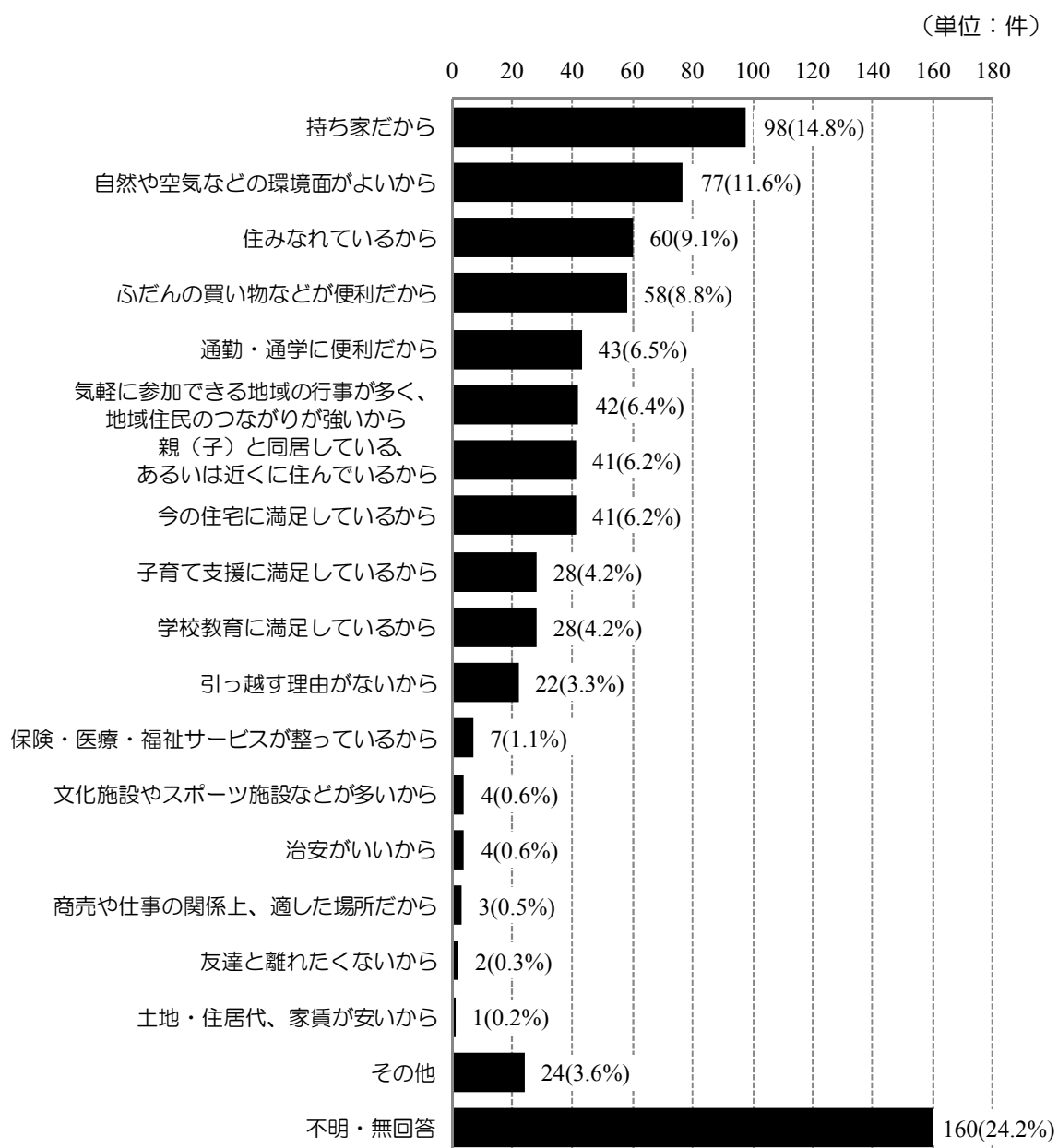


図 172 住み続けたい理由 (N=661)

②引っ越したい理由（自由記述）

※ 問 34 で「市内で引っ越したい」「市外へ引っ越したい」を回答した方の意見をカテゴリー化して集計。有効回答数（N=163）の 84.7%にあたる 138 件の回答があり、言及している分野について集計をしている。複数分野に渡る回答は、該当分野すべてについてそれぞれ集計している。

- 引っ越したい理由は、「今の住宅に不満があるから」が最も多く 49 件（30.1%）、次いで「学校教育に不満があるから」24 件（14.7%）となっています。

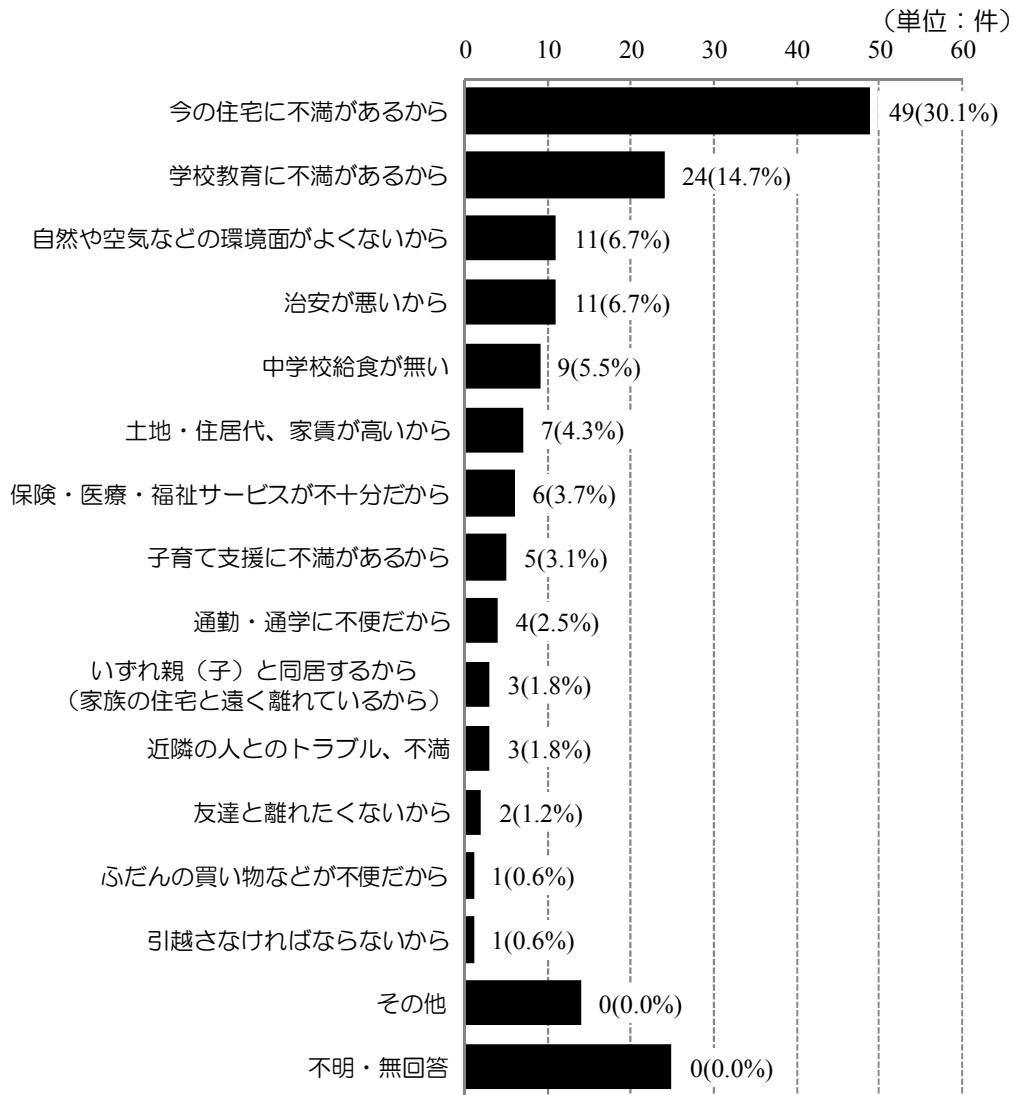


図 173 引っ越したい理由（N=163）

問35 住む場所を選ぶ際に重視すること（複数回答）

- 住む場所を選ぶ際に重視することは、「家賃や住宅の販売価格」が最も高く（46.0%）、次いで「小・中・高の教育環境」（36.3%）、「住居の広さ」（35.6%）となっています。

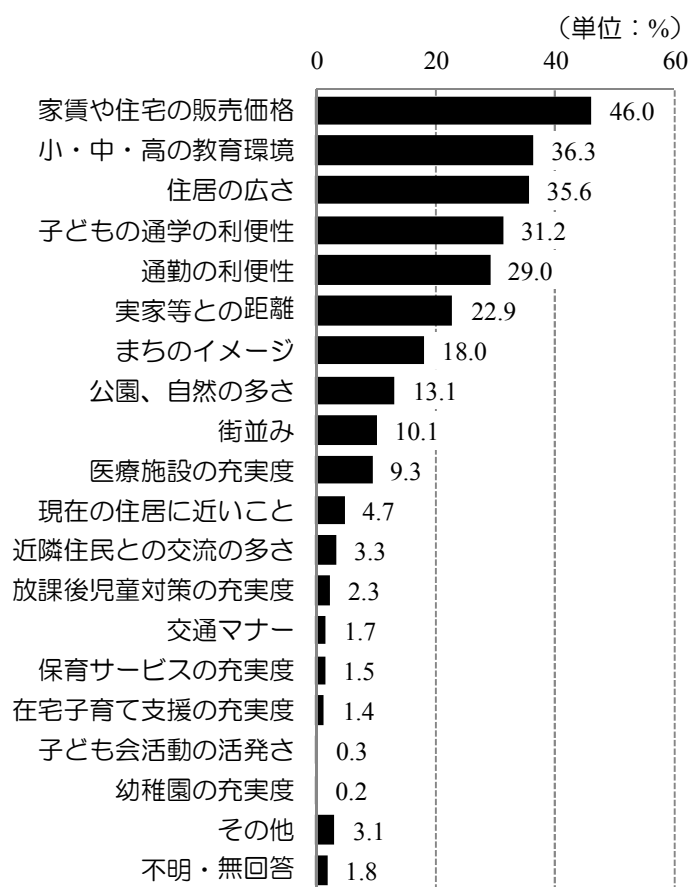


図 174 住む場所を選ぶ際に重視すること（N=1,082）